

(2024 (令和6) 年7月～8月実施)

第51回

市民アンケート調査報告書

—— あなたと市政を結ぶ ——



浜松市

目 次

I 調査概要

1 調査目的	1
2 調査内容	1
3 調査の設計	1
4 回収結果	1
5 報告書内のデータの記述について	2
6 図表の数値の統計的な見方	2
7 回答者の属性	4

II 調査結果

1 「市政運営」について	6
2 あなたはご存じですか？	13
3 S D G s の達成に向けて	23
3-1 ごみ減量について	23
3-2 多文化共生について	30
3-3 カーボンニュートラルについて	36
3-4 人権について	42
3-5 デジタルを活用したまちづくりについて	48
3-6 みちづくりについて	56
3-7 F S C® 森林認証について	62
3-8 ユニバーサルデザイン・男女共同参画について	67
3-9 環境活動の実践について	76
3-10 消費生活について	81
3-11 水道料金について	91
4 浜松市戦略計画 2024 について	95

付録 調査票

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、社会情勢の変化に伴う市民の生活意識や市政に対する関心・ニーズなどを把握するため実施し、1970（昭和 45）年度から始まり、本年度で 51 回目※になります。調査結果は、今後の市政運営に関わるさまざまな基礎資料として活用しています。

※1970（昭和 45）年度 1 回目、1973（昭和 48）年度 2 回目、1975（昭和 50）年度 3 回目、
1977（昭和 52）年度 4 回目（以降毎年実施）

2 調査内容

- （１）「市政運営」について
- （２）あなたはご存じですか？
- （３）SDGs の達成に向けて
 - （３-１）ごみ減量について
 - （３-２）多文化共生について
 - （３-３）カーボンニュートラルについて
 - （３-４）人権について
 - （３-５）デジタルを活用したまちづくりについて
 - （３-６）みちづくりについて
 - （３-７）FSC 森林認証について
 - （３-８）ユニバーサルデザイン・男女共同参画について
 - （３-９）環境活動の実践について
 - （３-10）消費生活について
 - （３-11）水道料金について
- （４）浜松市戦略計画 2024 について

3 調査の設計

- （１）調査地域 浜松市全域
- （２）調査対象 満 18 歳以上の市民 3,000 人
- （３）抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- （４）調査方法 質問紙郵送、郵送回答および Web 回答の併用
- （５）調査期間 2024（令和 6）年 7 月 22 日～8 月 19 日
- （６）委託機関 株式会社 東京商工リサーチ

4 回収結果

発送数 3,000 人
有効回収数 1,501 人（50.0%）

5 報告書内のデータの記述について

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数とすべき実数は、図表中に「n」として記載した。比率はこの基数を100%として算出している。
- (3) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超える。
- (4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューター処理の都合上、省略している箇所がある。
- (5) クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

6 図表の数値の統計的な見方

《本報告書の調査対象者は市民 669,710 人》

本調査は、住民基本台帳による満18歳以上の浜松市在住の人口 669,710 人（＝母集団、2024（令和6）年6月1日現在）を対象としている。ただ、全員の意識や実態を調べる全数調査には莫大な費用や労力、時間がかかることから、実際に調査したのは無作為に抽出した 3,000 人である。無作為に標本を抽出する理由は、得られた標本が、調査対象者 669,710 人の性別、年齢別、居住区別などの属性でみた場合、どこかの属性に回答が偏らず、その「縮図」になるようにするためである。有効回答数は 1,501 人だった。

《報告書の調査結果に付随する標本誤差について》

この報告書の集計結果は、あくまで調査対象者の一部を調べた結果であることから、調査対象者である母集団 669,710 人全員の意識や実態の真の値に対してプラスマイナスの誤差（標本誤差）を含んでいる。標本調査は、母集団の真の値を知ることはできないが、標本調査の理論では、得られた標本の値が真の値に対してどれだけの範囲の誤差を伴っているかを明らかにすることができる。

標本誤差の計算式は、次のとおり。

標本誤差の計算式

$$\pm 1.96 \times \sqrt{\frac{\text{母集団数} - \text{回答者数}}{\text{母集団数} - 1} \times \frac{\text{回答割合}(\%) \times (1 - \text{回答割合}(\%))}{\text{回答者数}}}$$

※母集団数は、住民基本台帳による満18歳以上の浜松市の人口 669,710 人（2024（令和6）年6月1日現在）、回答者数は、図表中に「n」として記載

標本誤差の計算式では、回答者の数（回答者数）、調べたい設問に対する回答者の回答比率（回答割合）などによって誤差が変わることが分かる。【参考表】は、回答者数と回答割合の2つの要素を考慮した場合、調査結果に対する標本誤差が母集団の真の値に対してどの程度の誤差を持っているのかを示した表である。

《標本誤差の範囲設定の信頼度について》

また、標本誤差の計算式の冒頭にある「1.96」という値は、各集計結果に含まれる【参考表】で示した標本誤差の範囲設定の信頼度を95%にするための係数である。この係数によって、100回同じ調査を繰り返しても95回は母集団の真の値が、集計結果の±の誤差の範囲の中に存在することを意味している。信頼度を95%に設定することは、国や都道府県などの公的機関や大学など研究機関が行う各種社会調査で通常最もよく用いられている設定値である。

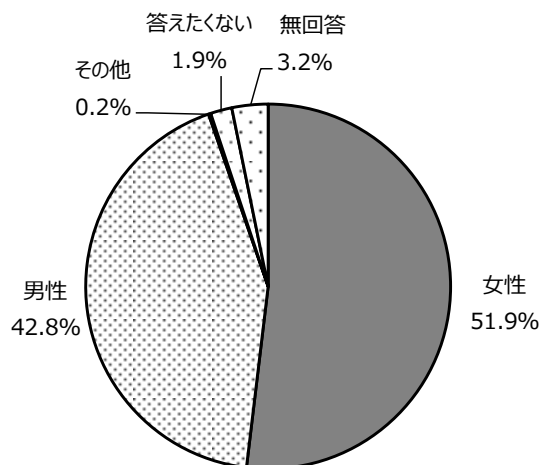
【参考表】各設問に対する回答数（標本 n）及び回答比率（%）に含まれる標本誤差の一覧（±値）

（見方）ある設問のある選択肢の回答数が300人で、その選択肢を選んだ人の割合が25%だった場合、表で網掛けをした標本数（n=300）と回答比率（%）25%が交わる点の標本誤差は「±4.9%」となる。これは浜松市の調査対象全体（母集団）の真の値が、この標本調査の回答比率25%±4.9%の範囲（20.1%～29.9%）の間に存在する確率（信頼度）が95%であることを意味している。

		標本数（n） ※各設問に対する回答数										
		100	200	300	400	500	700	800	1,000	1,500	1,700	2,000
※各設問に対する回答比率（p）	5%	4.3%	3.0%	2.5%	2.1%	1.9%	1.6%	1.5%	1.3%	1.1%	1.0%	1.0%
	10%	5.9%	4.2%	3.4%	2.9%	2.6%	2.2%	2.1%	1.9%	1.5%	1.4%	1.3%
	15%	7.0%	4.9%	4.0%	3.5%	3.1%	2.6%	2.5%	2.2%	1.8%	1.7%	1.6%
	20%	7.8%	5.5%	4.5%	3.9%	3.5%	3.0%	2.8%	2.5%	2.0%	1.9%	1.8%
	25%	8.5%	6.0%	4.9%	4.2%	3.8%	3.2%	3.0%	2.7%	2.2%	2.1%	1.9%
	30%	9.0%	6.3%	5.2%	4.5%	4.0%	3.4%	3.2%	2.8%	2.3%	2.2%	2.0%
	35%	9.3%	6.6%	5.4%	4.7%	4.2%	3.5%	3.3%	3.0%	2.4%	2.3%	2.1%
	40%	9.6%	6.8%	5.5%	4.8%	4.3%	3.6%	3.4%	3.0%	2.5%	2.3%	2.1%
	45%	9.7%	6.9%	5.6%	4.9%	4.4%	3.7%	3.4%	3.1%	2.5%	2.4%	2.2%
	50%	9.8%	6.9%	5.7%	4.9%	4.4%	3.7%	3.5%	3.1%	2.5%	2.4%	2.2%
	55%	9.7%	6.9%	5.6%	4.9%	4.4%	3.7%	3.4%	3.1%	2.5%	2.4%	2.2%
	60%	9.6%	6.8%	5.5%	4.8%	4.3%	3.6%	3.4%	3.0%	2.5%	2.3%	2.1%
	65%	9.3%	6.6%	5.4%	4.7%	4.2%	3.5%	3.3%	3.0%	2.4%	2.3%	2.1%
	70%	9.0%	6.3%	5.2%	4.5%	4.0%	3.4%	3.2%	2.8%	2.3%	2.2%	2.0%
	75%	8.5%	6.0%	4.9%	4.2%	3.8%	3.2%	3.0%	2.7%	2.2%	2.1%	1.9%
	80%	7.8%	5.5%	4.5%	3.9%	3.5%	3.0%	2.8%	2.5%	2.0%	1.9%	1.8%
	85%	7.0%	4.9%	4.0%	3.5%	3.1%	2.6%	2.5%	2.2%	1.8%	1.7%	1.6%
	90%	5.9%	4.2%	3.4%	2.9%	2.6%	2.2%	2.1%	1.9%	1.5%	1.4%	1.3%
	95%	4.3%	3.0%	2.5%	2.1%	1.9%	1.6%	1.5%	1.3%	1.1%	1.0%	1.0%

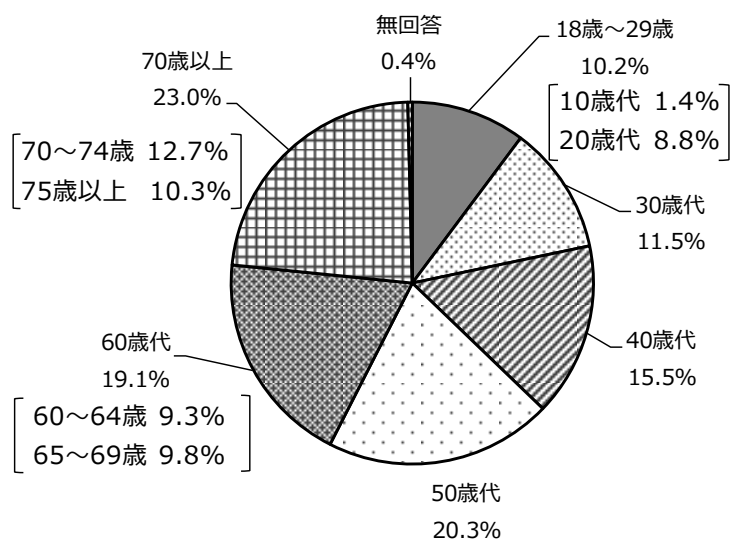
7 回答者の属性

(1) 性別

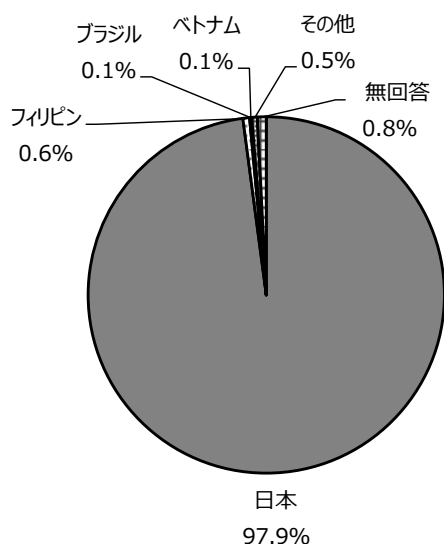


(2) 年代

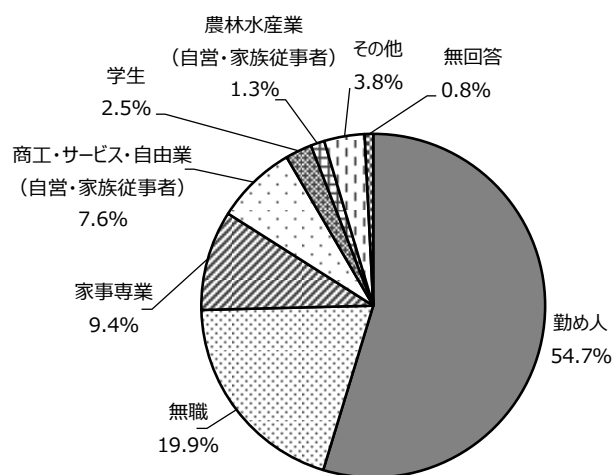
n=1,501



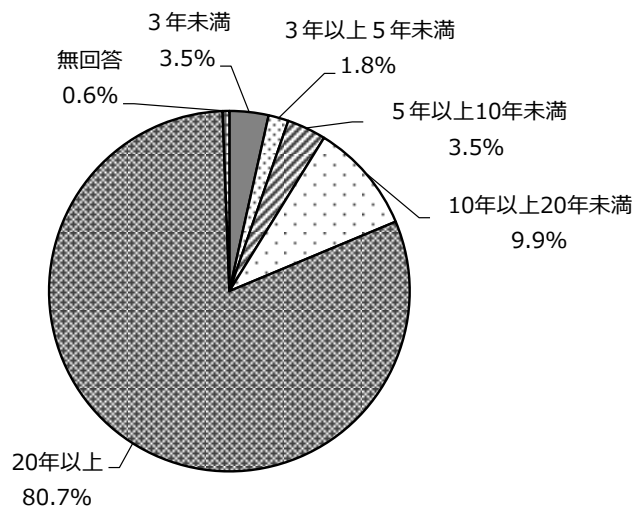
(3) 国籍・地域



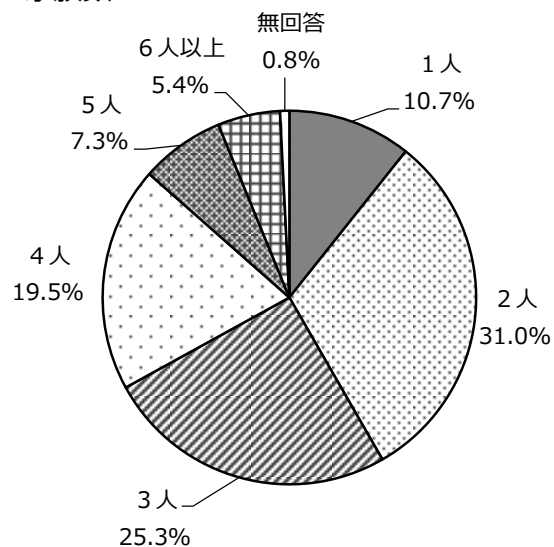
(4) 職業



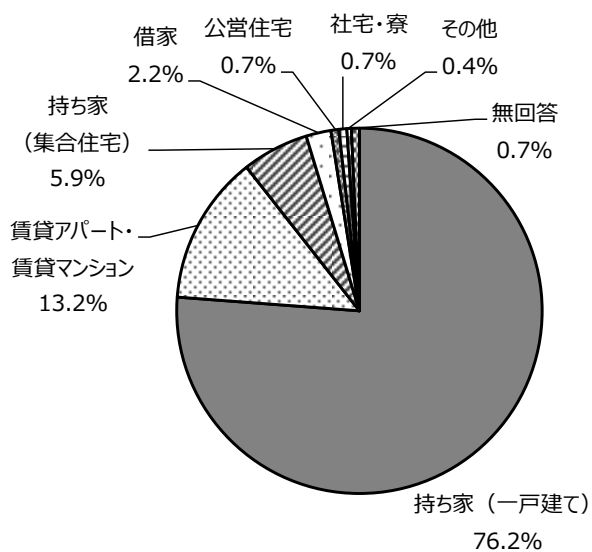
(5) 居住年数



(6) 家族数

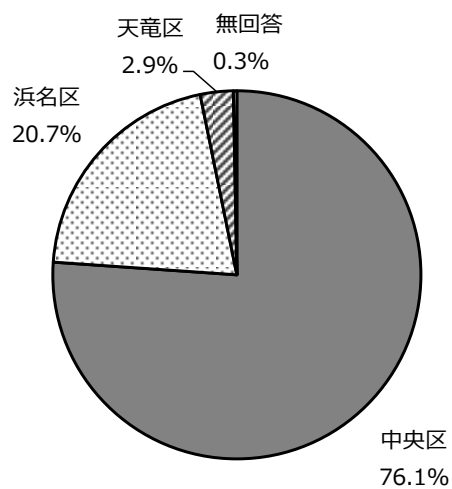


(7) 居住形態



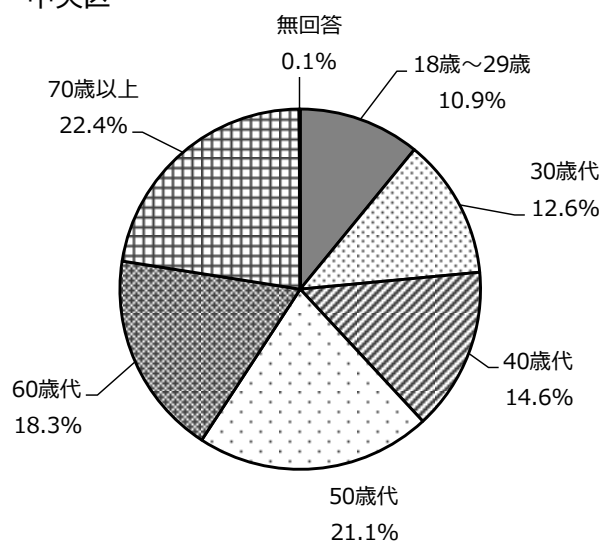
(8) 行政区

n=1,501

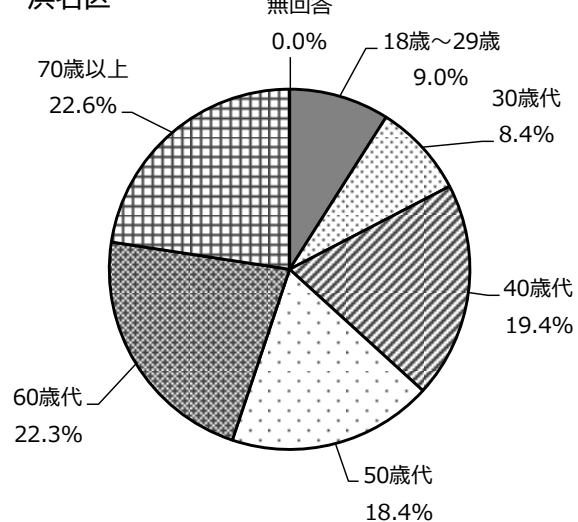


(9) 行政区別年代

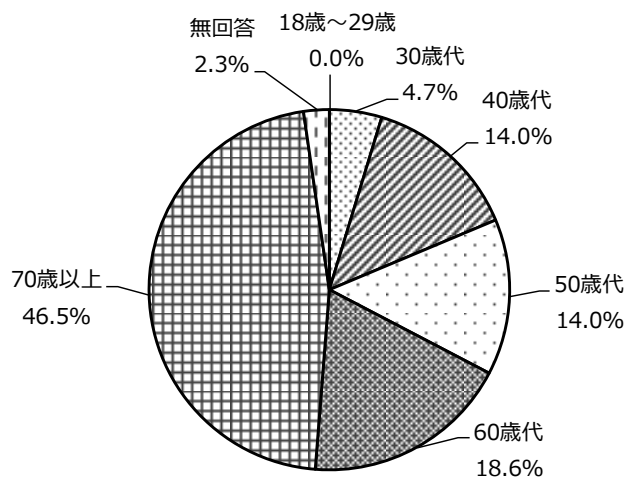
中央区 n=1,142



浜名区 n=310



天竜区 n=43

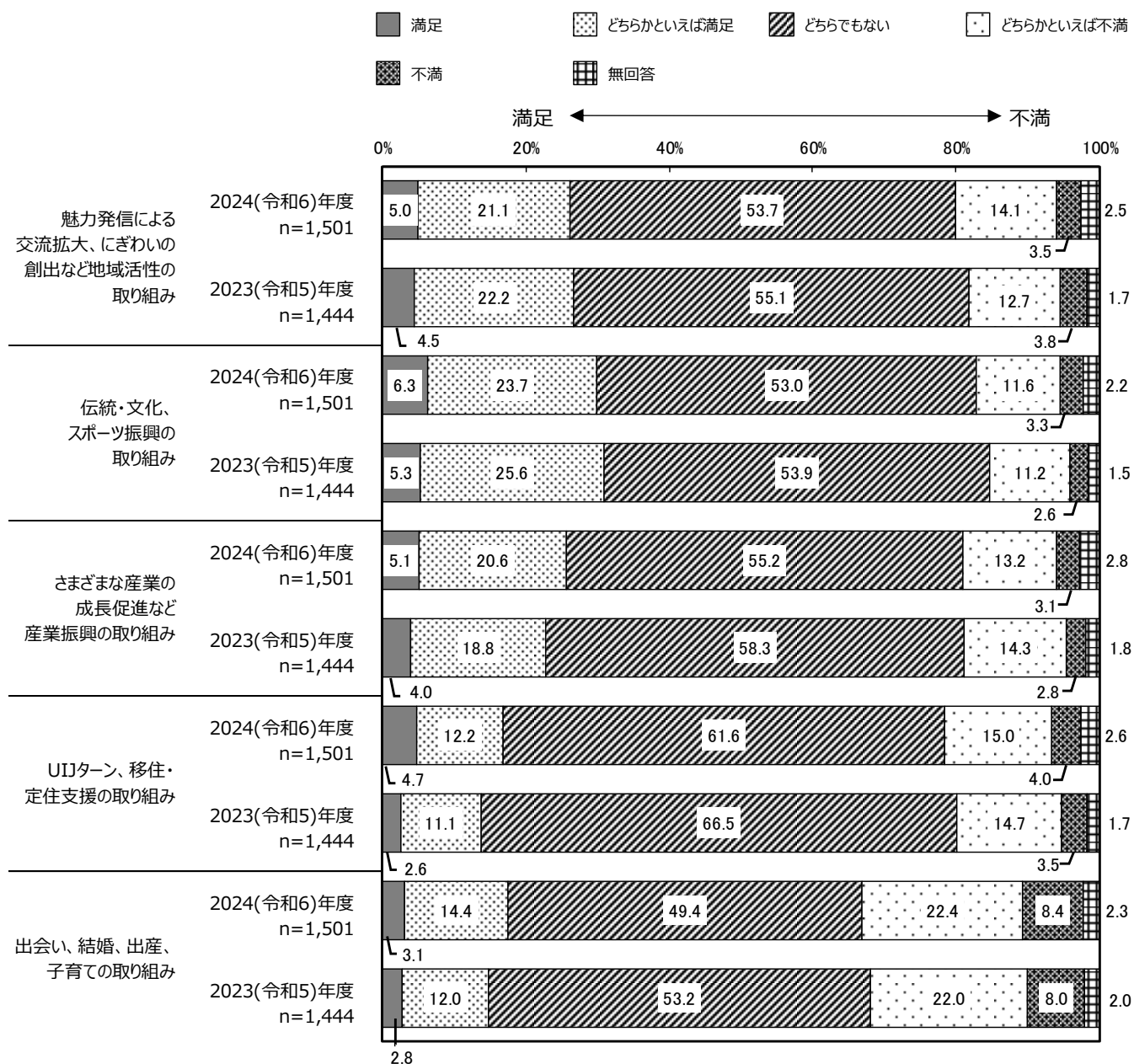


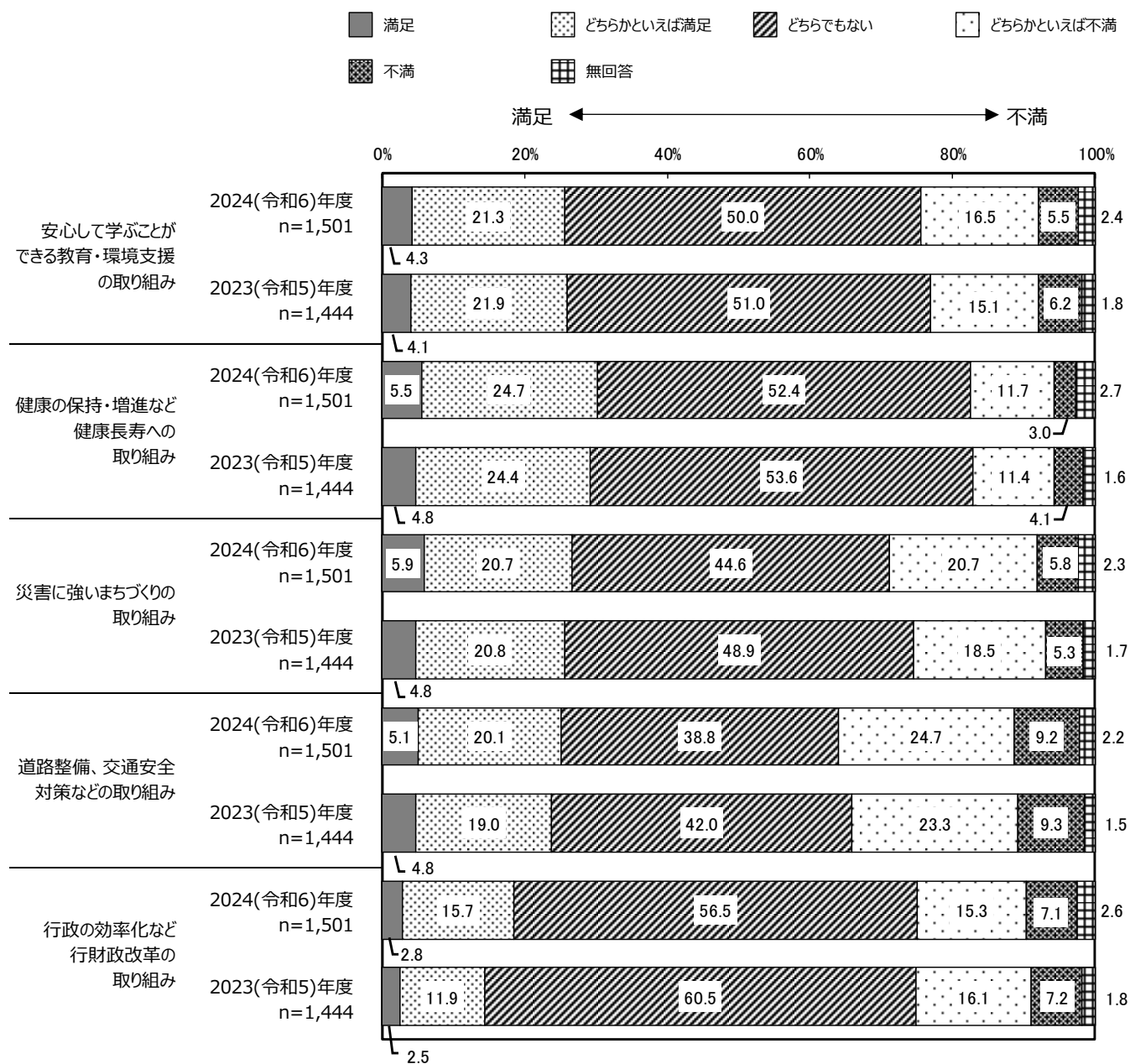
Ⅱ 調査結果

1 「市政運営」について

問1 次にあげる取り組みについて、あなたは、どの程度満足していると感じていますか。
また、今後の取り組みとしてどの程度重要だと思いますか。それぞれの取り組みの現在の満足度と今後の重要度について、1～5のうちから1つずつ選び○を付けてください。

① 現在の満足度





- 評価が「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』の割合が最も高かった項目は、「健康の保持・増進など健康長寿への取り組み」の30.2%だった。最も低かったのは「UIターン、移住・定住支援の取り組み」の16.9%だった。
- 2023（令和5）年度調査と比較すると、『満足している』の割合が上昇した項目は全10項目のうち7項目であった。中でも「行政の効率化など行財政改革の取り組み」は4.1ポイント上昇した。

【性別・年代別・行政区別】

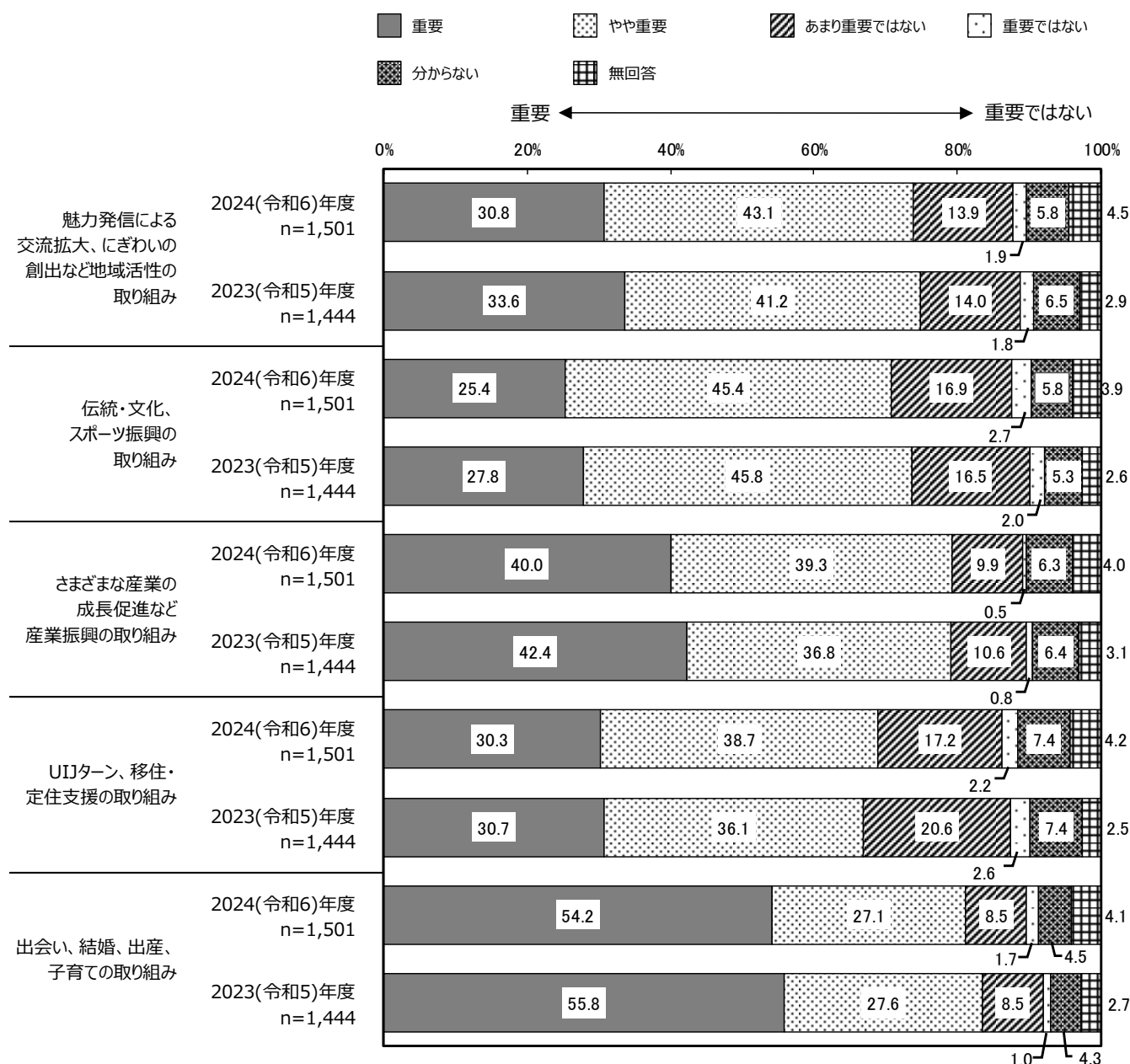
◎＝6点以上 *＝4点以下（単位：点）

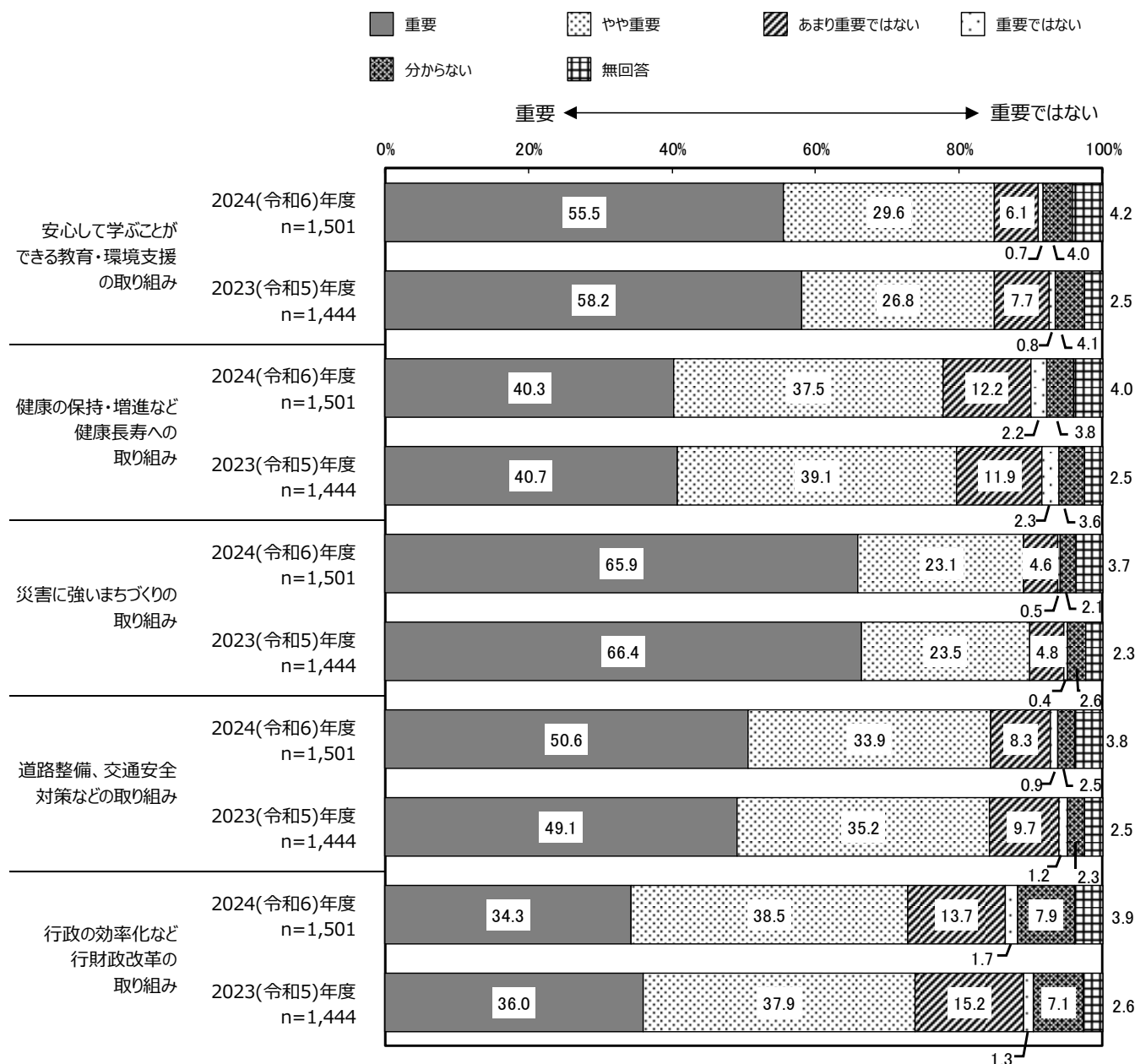
		地域活性		産業振興	移住・定住支援	子育て	教育	くらし	安心・安全		持続可能な都市
		地域に魅力が活性的に創り出されるなど	伝統・文化、スポーツ振興の取り組み	さまざまな産業の成長促進など産業振興の取り組み	UIターン、移住・定住支援の取り組み	子育ての取り組み、出産、	安心して学ぶことができる教育・環境支援の取り組み	健康長寿への増進など	災害に強いまちづくりの取り組み	道路の整備、交通安全対策などの取り組み	行政の効率化など行財政改革の取り組み
性別	女性	5.4	5.7	5.5	5.2	4.8	5.2	5.6	5.1	4.9	4.9
	男性	5.1	5.3	5.1	4.7	4.3	5.0	5.3	5.0	4.5	4.7
	その他	*3.3	*2.5	*1.7	*3.3	*1.7	*3.3	*2.5	*3.3	*2.5	*2.5
	答えたくない	*4.0	4.4	4.4	4.8	*3.2	*3.6	4.7	*3.3	*3.1	*3.5
年代	10歳代	◎6.0	◎6.4	◎6.2	5.5	5.7	◎6.4	◎6.7	◎6.5	◎6.4	5.5
	20歳代	5.9	◎6.0	5.8	5.2	4.5	5.4	◎6.1	5.4	5.2	5.1
	30歳代	5.5	5.6	5.4	4.9	*3.9	4.8	5.5	5.0	4.7	4.8
	40歳代	5.4	5.6	5.4	5.2	4.7	5.0	5.4	5.1	4.8	4.7
	50歳代	5.2	5.4	5.1	4.7	4.4	4.8	5.2	4.7	4.4	4.7
	60～64歳	4.7	4.9	5.0	4.7	4.4	5.0	4.9	4.4	4.2	4.4
	65～69歳	5.1	5.4	5.3	4.9	4.6	5.2	5.3	5.3	4.7	4.9
	70～74歳	4.8	5.0	4.9	4.9	4.5	4.9	5.3	4.5	4.2	4.6
	75歳以上	5.5	◎6.0	5.7	5.4	5.2	5.6	◎6.2	5.7	5.4	5.3
行政区	中央区	5.3	5.5	5.3	5.0	4.6	5.0	5.5	5.0	4.7	4.8
	浜名区	5.2	5.5	5.3	4.8	4.5	5.2	5.5	5.0	4.7	5.0
	天竜区	4.5	5.1	4.9	4.8	*4.0	4.8	5.1	4.4	*4.0	4.6

※ 評価が「満足」を10点、「どちらかといえば満足」を7.5点、「どちらでもない」を5点、「どちらかといえば不満」を2.5点、「不満」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど満足度が高くなる指数である。

- 性別でみると、いずれの項目の指数についても男性よりも女性が高い。女性と男性の差が最も大きかった項目は「UIターン、移住・定住支援の取り組み」および「出会い、結婚、出産、子育ての取り組み」の指数であり、女性が男性を0.5ポイント上回った。
- 年代別でみると、10歳代、20歳代、70歳以上においては「健康の保持・増進など健康長寿への取り組み」が、30歳代、40歳代、50歳代、65～69歳においては「伝統・文化、スポーツ振興の取り組み」が、60～64歳においては「さまざまな産業の成長促進など産業振興の取り組み」および「安心して学ぶことができる教育・環境支援の取り組み」の指数が同率で最も高い。
- 行政区別でみると、すべての行政区において「伝統・文化、スポーツ振興の取り組み」および「健康の保持・増進など健康長寿への取り組み」の指数が同率で最も高い。

②今後の重要度





- 評価が「重要」と「やや重要」を合わせた『重要である』の割合が最も高かった項目は、「災害に強いまちづくりの取り組み」の 89.0%であり、次いで「安心して学ぶことができる教育・環境支援の取り組み」の 85.1%となった。
- 2023（令和5）年度調査と比較すると、『重要である』の割合が上昇した項目は全 10 項目のうち4項目であった。中でも「UI」ターン、移住・定住支援の取り組み」は 2.2 ポイント上昇した。

【性別・年代別・行政区別】

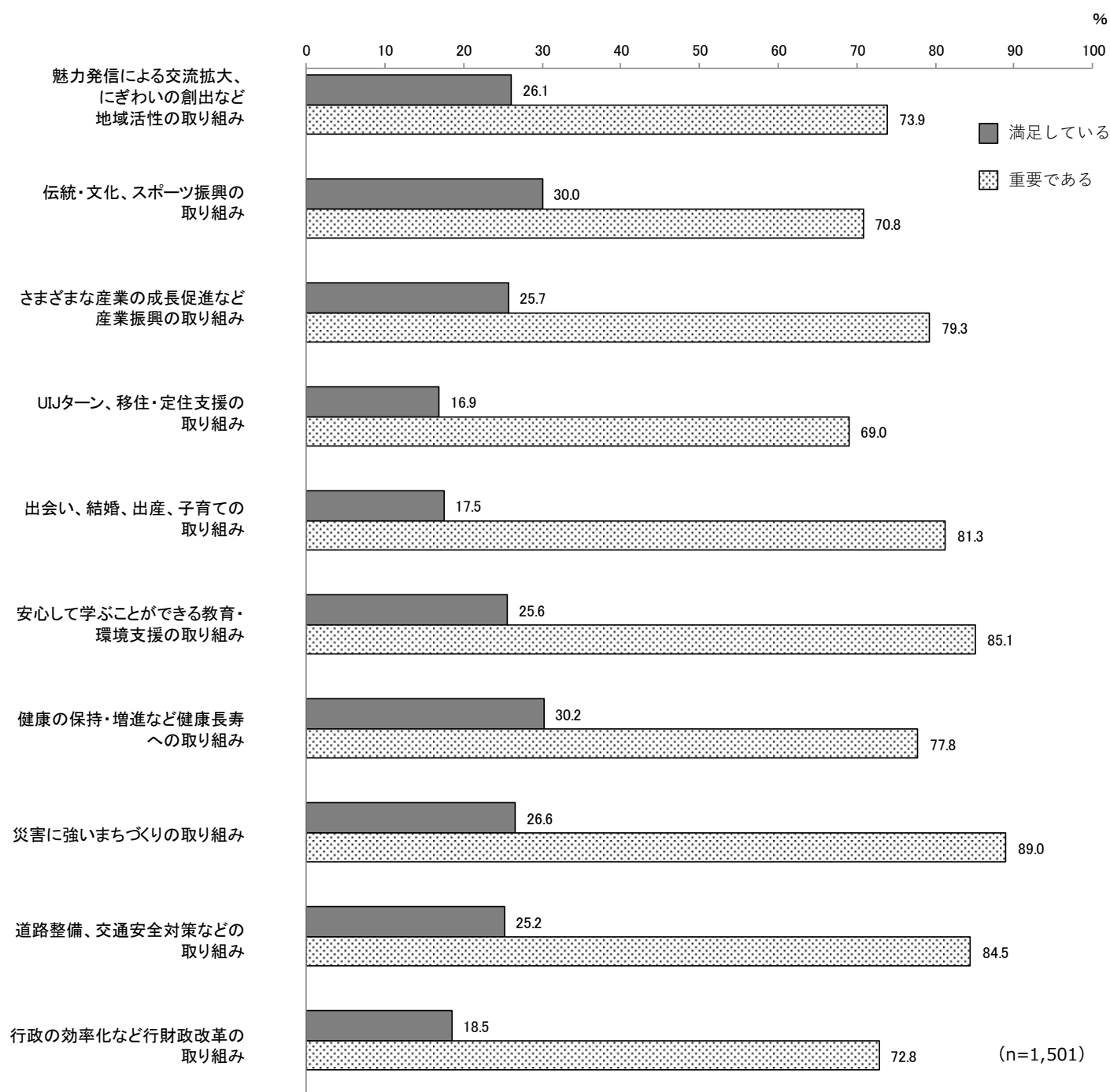
◎＝6点以上 *＝4点以下（単位：点）

		地域活性		産業振興	移住・定住支援	子育て	教育	くらし	安心・安全		持続可能な都市
		魅力発信など地域活性の取り組み	伝統・文化、スポーツ振興の取り組み	産業振興の成長促進など	UIJターン、移住・定住支援の取り組み	出会い、結婚、出産、子育ての取り組み	安心して学ぶことができる教育・環境支援の取り組み	健康の保持・増進など健康長寿への取り組み	災害に強いまちづくりの取り組み	道路整備、交通安全対策などの取り組み	行政の効率化など行財政改革の取り組み
性別	女性	◎7.2	◎6.9	◎7.7	◎7.0	◎8.2	◎8.6	◎7.9	◎9.0	◎8.3	◎7.5
	男性	◎7.1	◎6.7	◎7.9	◎7.0	◎8.3	◎8.3	◎7.1	◎8.7	◎7.9	◎7.2
	その他	5.0	5.0	◎8.3	5.0	5.0	◎10.0	5.0	◎10.0	◎8.3	◎10.0
	答えたくない	◎7.1	◎6.7	◎7.3	◎6.7	◎8.2	◎8.1	◎7.1	◎8.3	◎8.1	◎6.8
年代	10歳代	◎7.3	◎7.3	◎7.9	◎7.5	◎7.8	◎8.3	◎6.5	◎8.4	◎7.6	◎7.0
	20歳代	◎7.2	◎6.7	◎8.0	◎7.4	◎8.7	◎8.7	◎7.5	◎8.8	◎8.0	◎7.3
	30歳代	◎6.7	◎6.2	◎7.6	◎6.6	◎8.9	◎9.0	◎7.1	◎8.9	◎7.9	◎6.9
	40歳代	◎7.3	◎6.9	◎7.6	◎6.8	◎8.3	◎8.6	◎7.3	◎8.7	◎8.0	◎7.5
	50歳代	◎7.0	◎6.6	◎7.8	◎7.1	◎7.9	◎8.1	◎7.6	◎9.0	◎8.2	◎7.2
	60～64歳	◎7.2	◎7.0	◎7.8	◎7.2	◎8.5	◎8.3	◎8.0	◎9.1	◎8.2	◎7.0
	65～69歳	◎7.7	◎7.3	◎8.0	◎7.4	◎8.2	◎8.5	◎8.1	◎8.9	◎8.4	◎7.6
	70～74歳	◎7.1	◎6.8	◎7.6	◎6.9	◎7.9	◎8.3	◎7.5	◎8.7	◎8.2	◎7.8
行政区	75歳以上	◎7.1	◎6.8	◎7.6	◎6.7	◎7.6	◎8.1	◎7.5	◎8.2	◎8.0	◎7.1
	中央区	◎7.1	◎6.8	◎7.8	◎6.9	◎8.2	◎8.5	◎7.5	◎8.8	◎8.1	◎7.3
	浜名区	◎7.1	◎6.8	◎7.6	◎7.3	◎8.3	◎8.2	◎7.6	◎8.7	◎8.0	◎7.3
	天竜区	◎7.5	◎6.3	◎8.0	◎7.3	◎8.2	◎8.6	◎7.3	◎8.9	◎8.6	◎7.8

※ 評価が「重要」を10点、「やや重要」を20/3点、「あまり重要ではない」を10/3点、「重要ではない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

- 年代別でみると、30歳代以外のすべての年代において「災害に強いまちづくりの取り組み」の指数が最も高い。
- 行政区別でみると、すべての行政区において「災害に強いまちづくりの取り組み」の指数が最も高い。

①現在の満足度と②今後の重要度の比較



※ 『満足している』は満足度の評価で「満足」と「どちらかといえば満足」を、『重要である』は重要度の評価で「重要」と「やや重要」を合わせた割合である。

- 『満足している』と『重要である』の差が最も小さかった項目は、「伝統・文化、スポーツ振興の取り組み」の 40.8 ポイントだった。差が最も大きかったのは「出会い、結婚、出産、子育ての取り組み」の 63.8 ポイントだった。

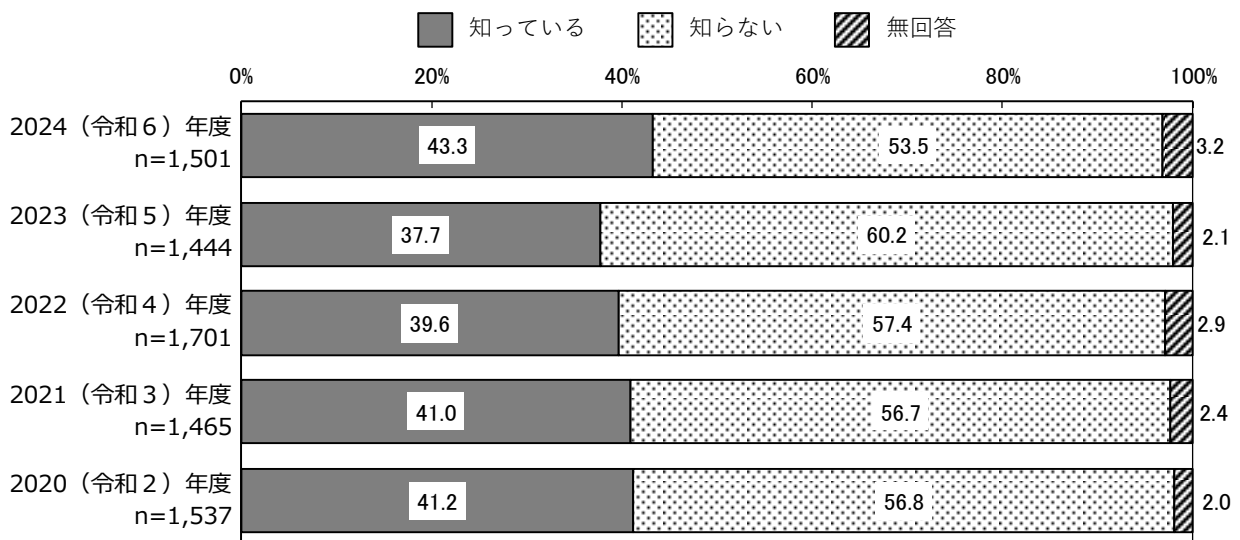
2 あなたはご存じですか？

問2 次の項目について、1～3のうちから1つ選んで○を付けてください。

① 市制記念日

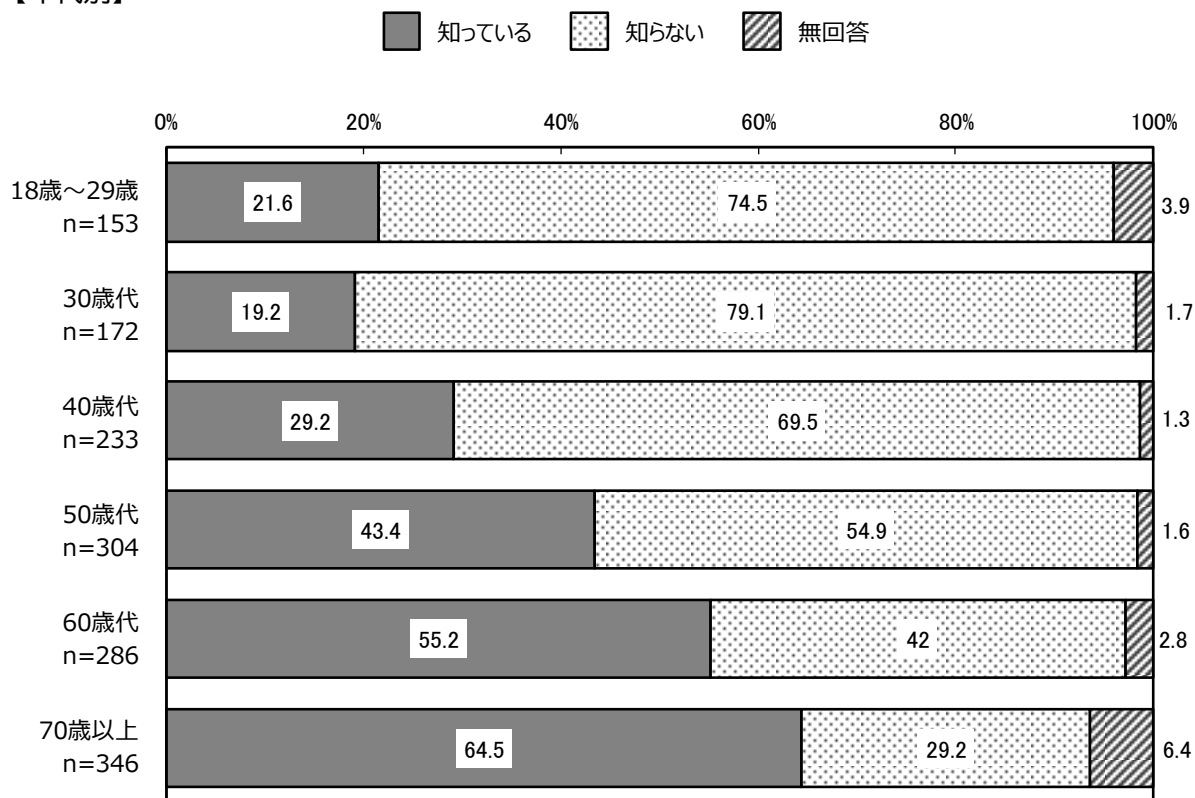
※浜松市では市制施行を記念して、7月1日を市制記念日として定めています。

「市制記念日」を「知っている」人は43.3%

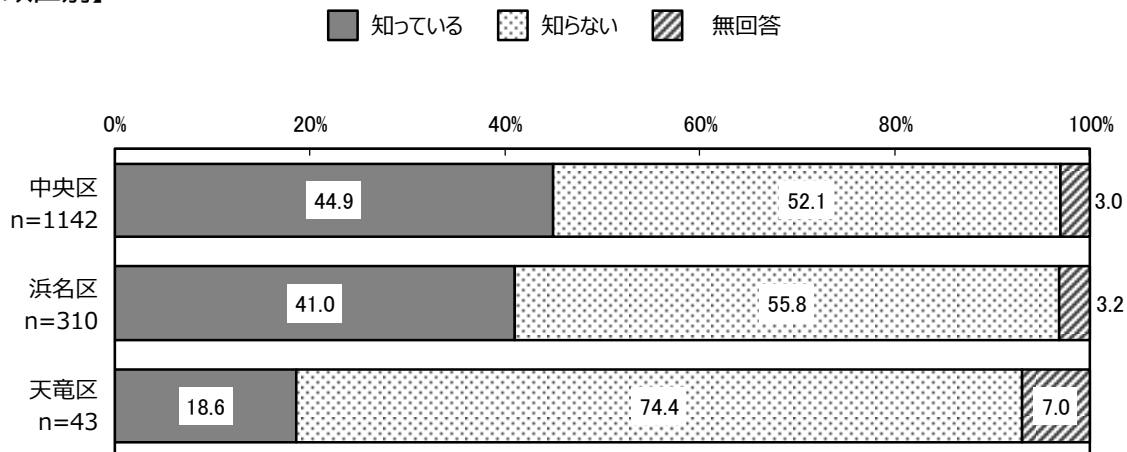


- 「知っている」が43.3%となり、「知らない」の53.5%を10.2ポイント下回った。2023（令和5）年度との比較では、「知っている」が5.6ポイント増加した。
- 年代別でみると、「知っている」と回答した割合は、70歳以上の64.5%が最も高く、次いで60歳代が55.2%となった。年齢が高いほど「知っている」割合が高い傾向がみられたが、30歳代以下は7割以上が「知らない」と回答しており、若い世代の認知度が低い。
- 行政区別でみると、「知っている」と回答した割合は「中央区」の44.9%が最も高く、次いで「浜名区」の41.0%となった。

【年代別】



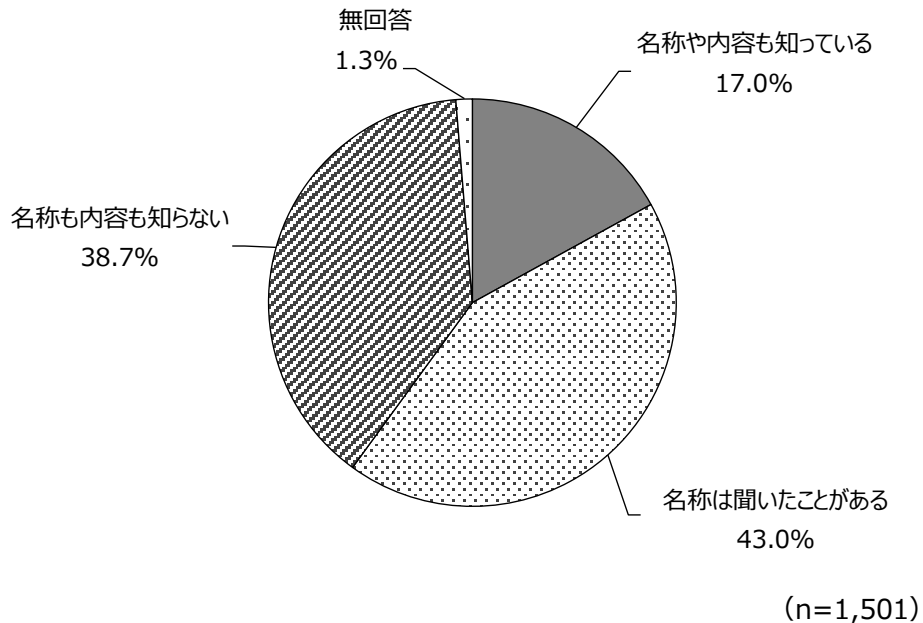
【行政区別】



② 市民マナー条例

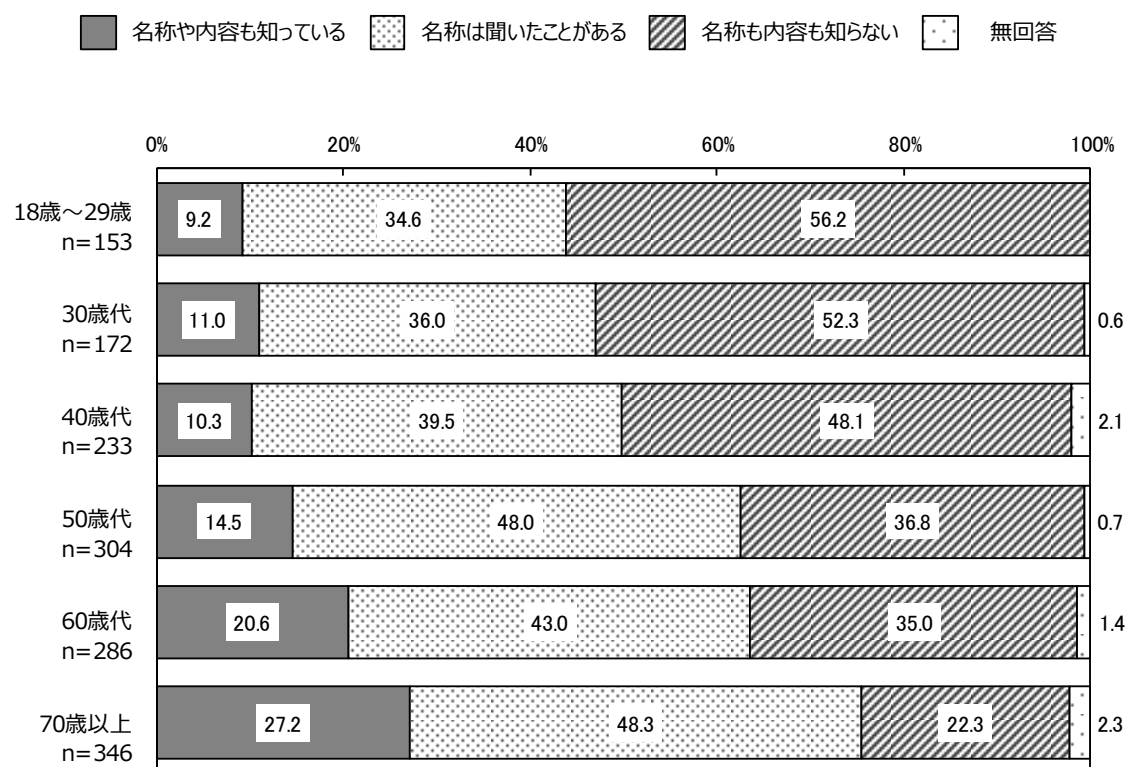
※「市民マナー条例」とは、「浜松市快適で良好な生活環境を確保する条例」の通称で、歩きたばこ・吸い殻や空き缶などのポイ捨て・落書きの禁止や、飼い犬・ねこのふんの適正な処理、身体障害者用駐車場の適正な利用を定めた条例です。

「市民マナー条例」を『知っている』人は 60.0%

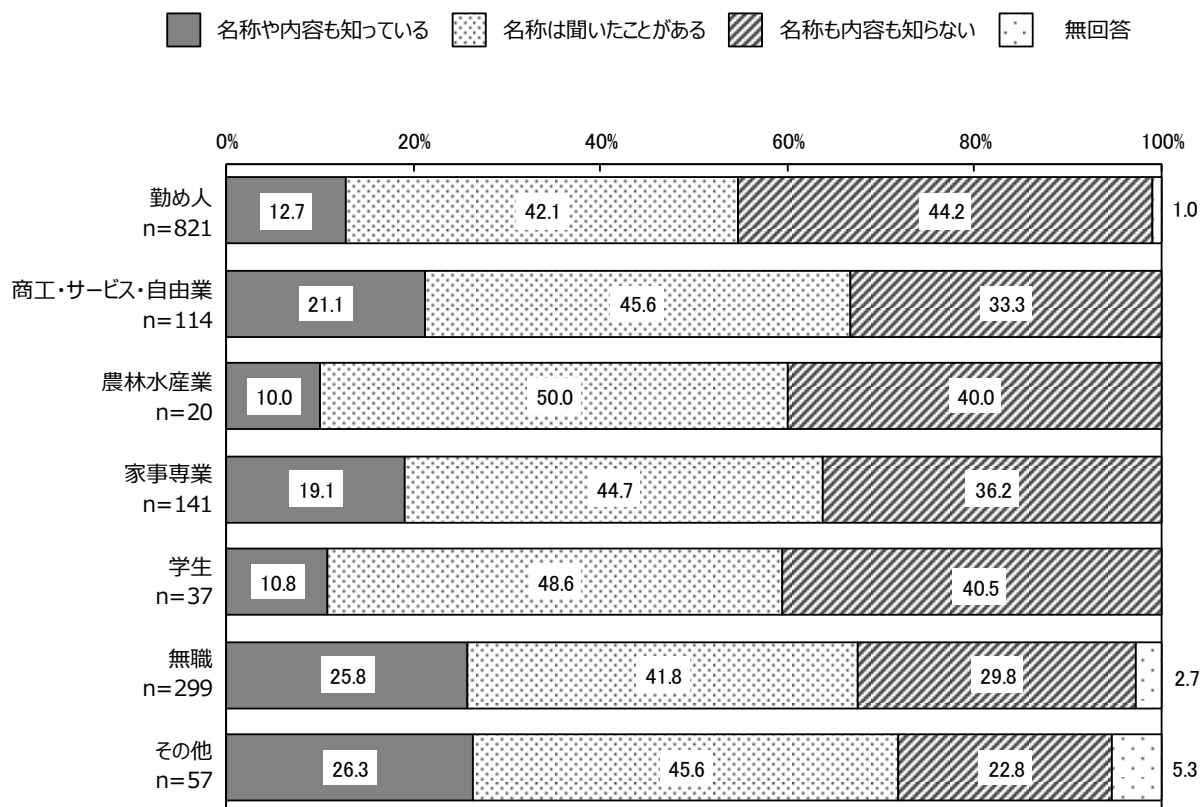


- 「名称や内容も知っている」と「名称は聞いたことがある」を合わせた『知っている』は 60.0% となり、「名称も内容も知らない」の 38.7% を 21.3 ポイント上回った。
- 年代別でみると、「名称や内容も知っている」と回答した割合は 70 歳以上の 27.2% が最も高く、次いで 60 歳代が 20.6% となった。「名称も内容も知らない」と回答した割合は 18 歳～29 歳が 56.2% と最も高かった。
- 職業別でみると、『知っている』は無職が 67.6%、次いで商工・サービス・自由業が 66.7% となった。最も低い勤め人が 54.8% となり、最も高い無職とは 12.8 ポイントの差がみられた。

【年代別】



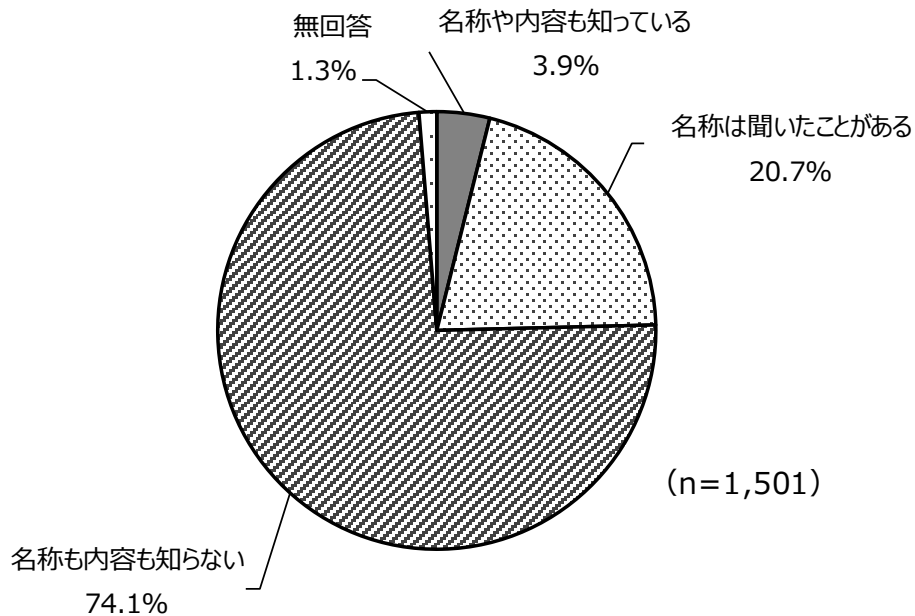
【職業別】



③ ウエルネスシティ（予防・健幸都市）

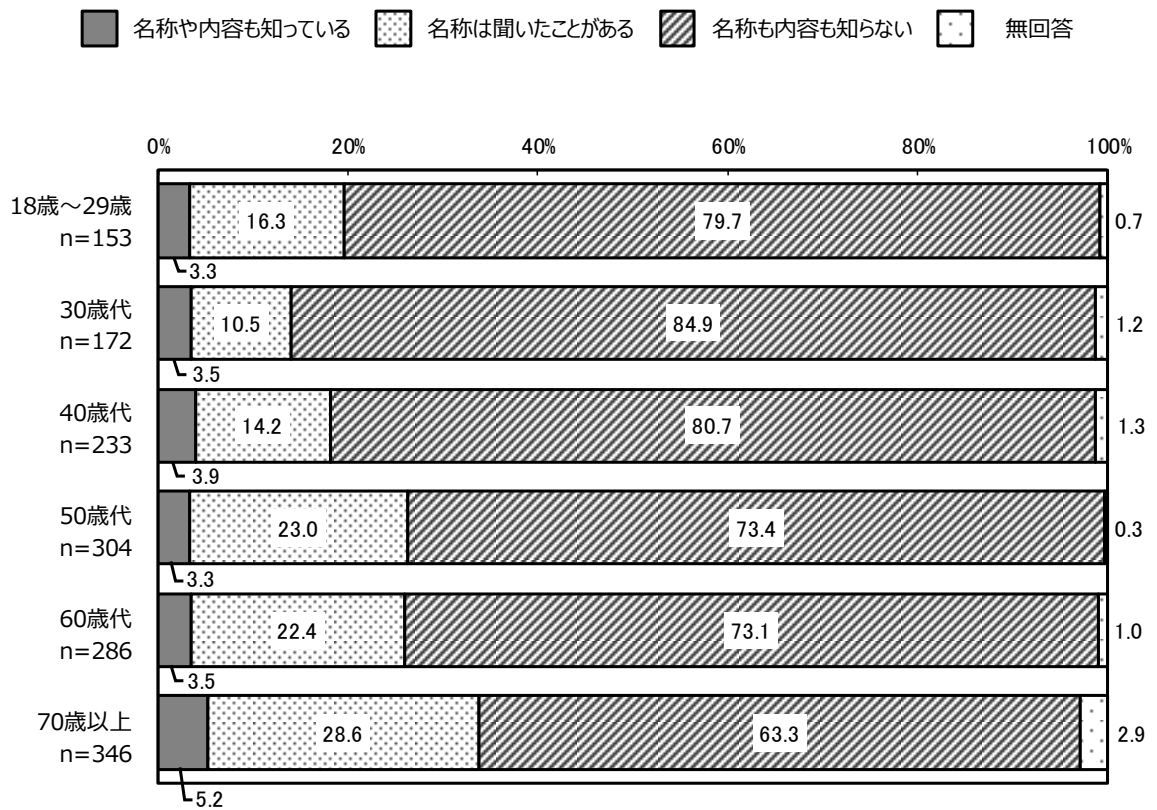
※浜松市は、市民の皆様が病気を未然に予防し、いつまでも健康で幸せに暮らすことができるとともに、市民の皆様が健康が地域産業を支え、持続的に発展していく都市像を「ウエルネスシティ（予防・健幸都市）」として掲げています。

「ウエルネスシティ」を『知っている』人は 24.6%

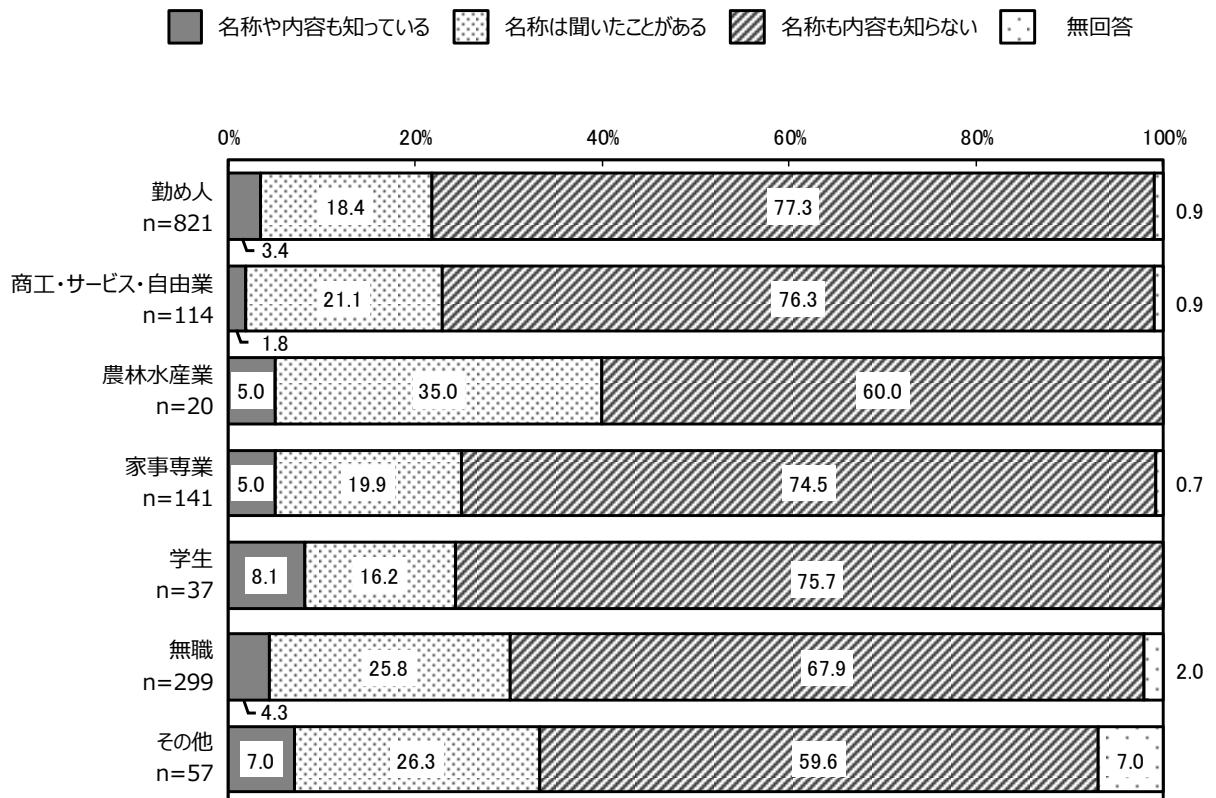


- 「名称や内容も知っている」と「名称は聞いたことがある」を合わせた『知っている』は 24.6% となり、「名称も内容も知らない」の 74.1% を 49.5 ポイント下回った。
- 年代別でみると、『知っている』は 70 歳以上の 33.8% が最も高く、次いで 50 歳代が 26.3% となった。「名称も内容も知らない」と回答した割合は 30 歳代が 84.9% と最も高くなった。
- 職業別にみると、『知っている』は、農林水産業が 40.0%、次いで無職が 30.1% となった。最も低い勤め人が 21.8% となり、最も高い農林水産業とは 18.2 ポイントの差がみられた。

【年代別】



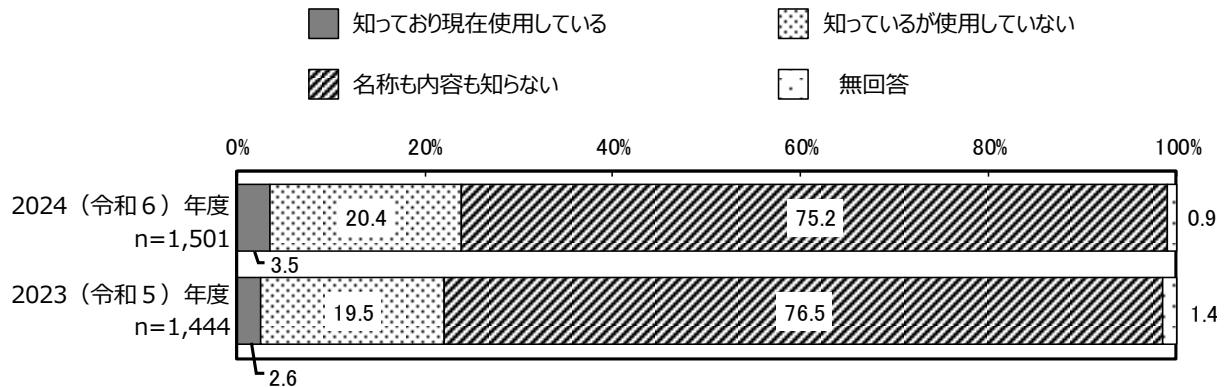
【職業別】



④ 浜松市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」

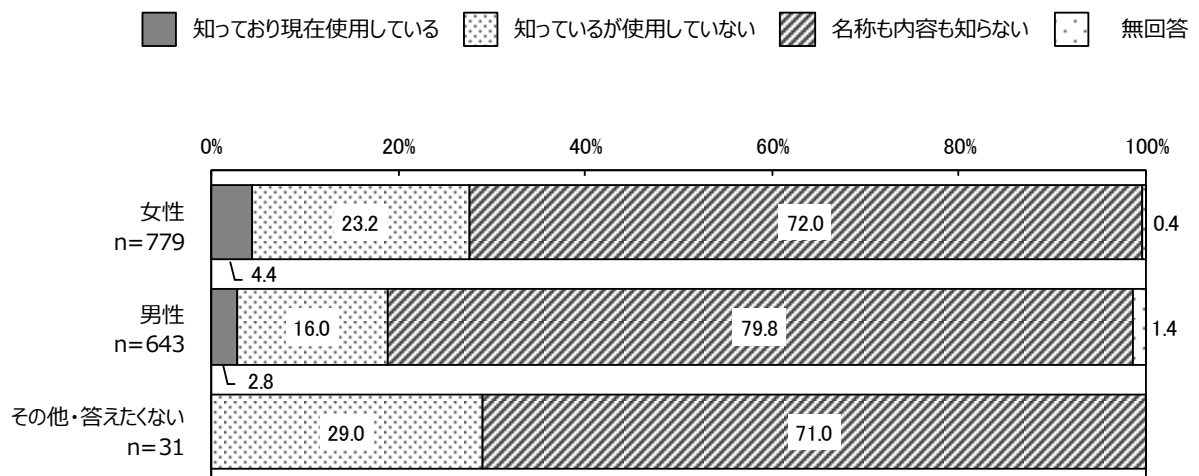
※浜松市では「ウェルネスシティ」の実現を目指す中、2022（令和4）年10月から「はままつ健幸クラブ」の運用を開始しました。毎日の歩数計測のほか、指定する健康イベントへの参加などでポイントがたまり、抽選で浜松市の特産品などが当たります。

浜松市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」を『知っている』人は23.9%

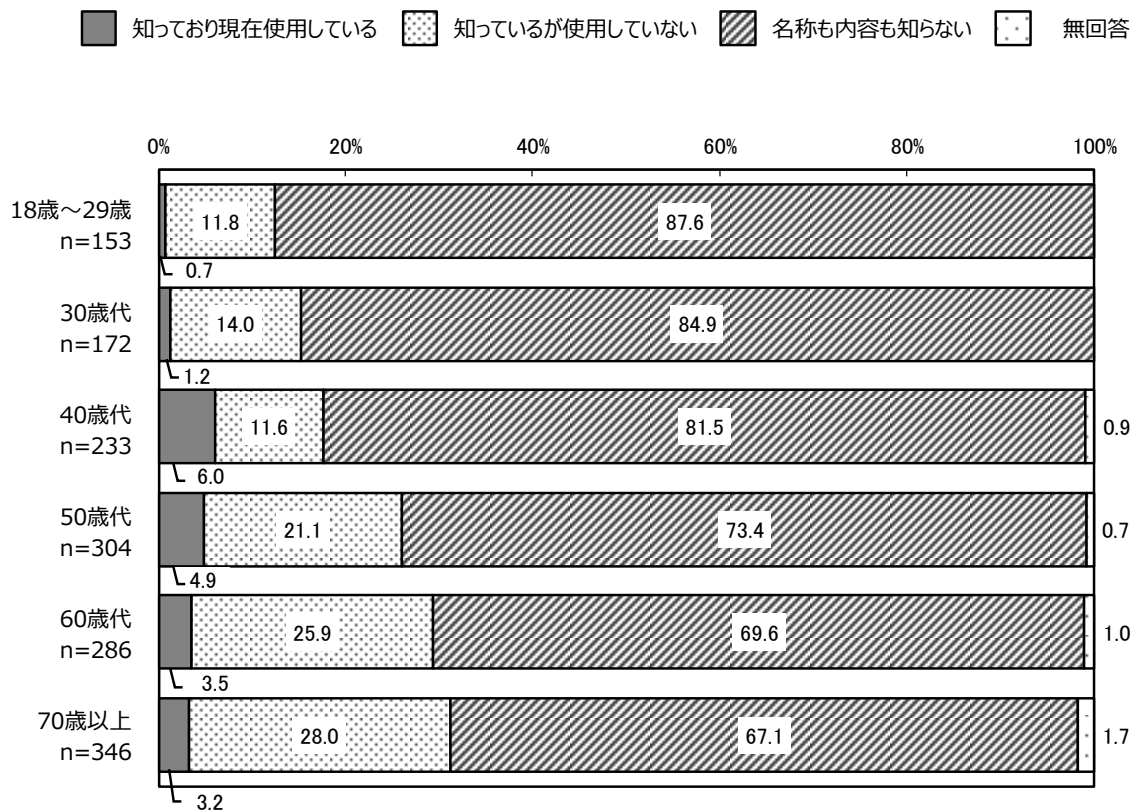


- 「知っている現在使用している」と「知っているが使用していない」を合わせた『知っている』は23.9%となり、「名称も内容も知らない」の75.2%を51.3ポイント下回った。2023（令和5）年度との比較では、『知っている』は1.8ポイント増加となった。
- 年代別でみると、「知っている現在使用している」と回答した割合は40歳代の6.0%が最も高く、次いで50歳代が4.9%となった。最も低い18歳～29歳が0.7%となり、最も高い40歳代とは、5.3ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、「知っている現在使用している」と回答した割合は家事専門の5.0%が最も高く、次いで勤め人が3.8%となった。

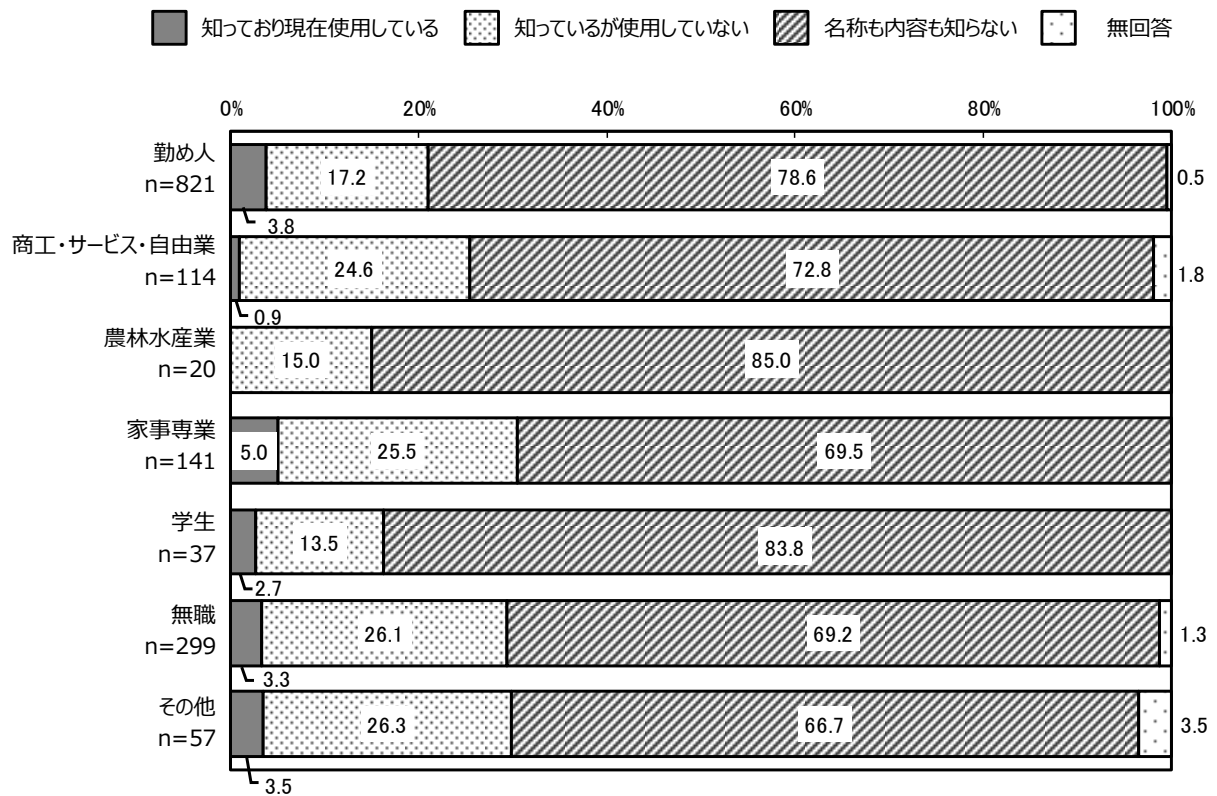
【性別】



【年代別】



【職業別】

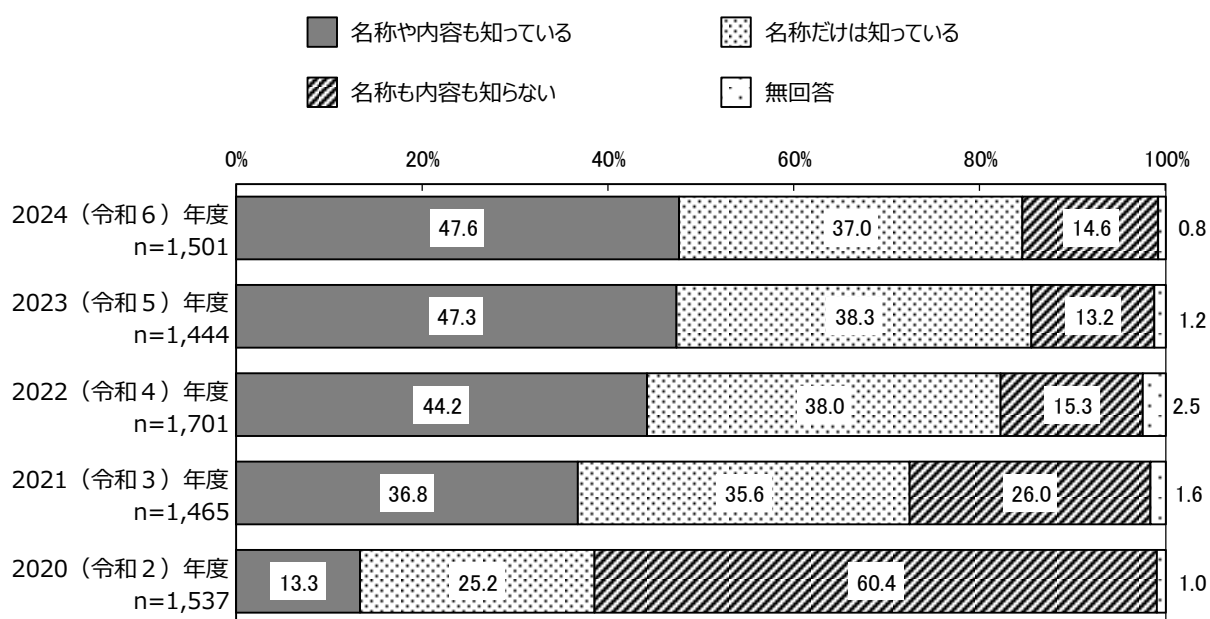


⑤ SDGs (Sustainable Development Goals)

※2015（平成 27）年に開催された国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標」のことで、2030（令和 12）年までに達成すべき 17 の国際社会共通の目標です。

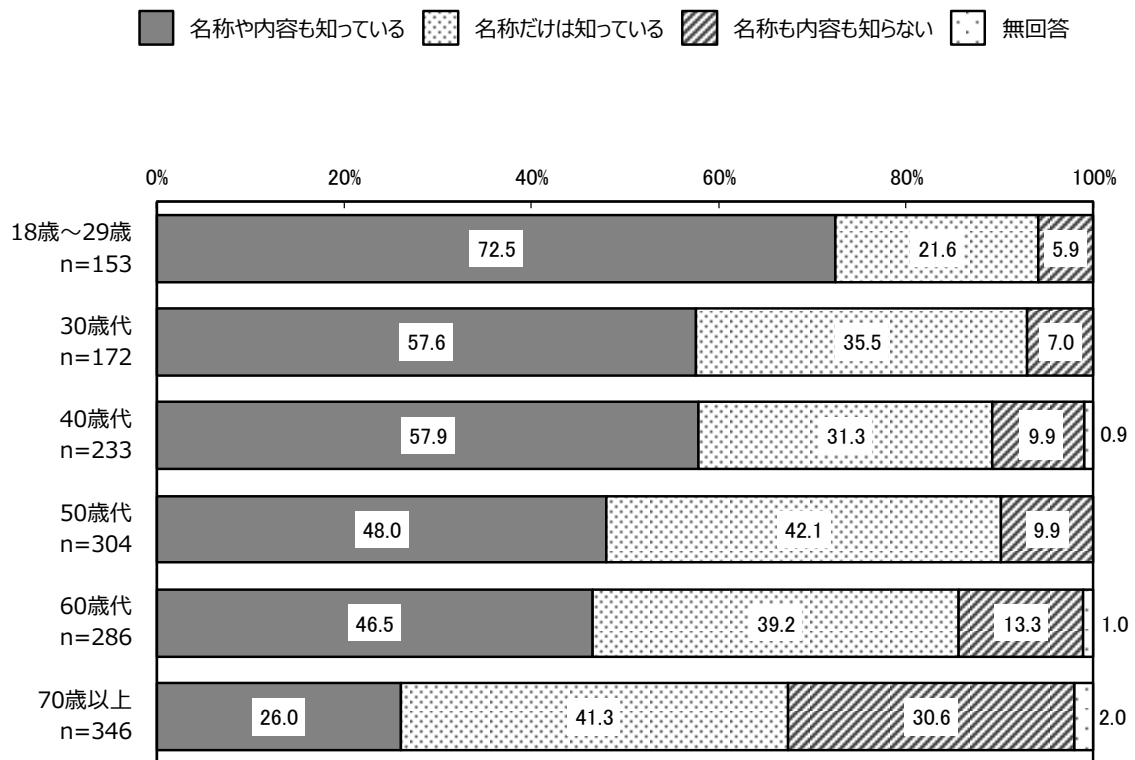
※貧困や飢餓、経済成長、気候変動など、21 世紀の世界が抱える問題を、世界中の人々、企業などが連携して解決することを目指しています。

「SDGs」を『知っている』人は 84.6%

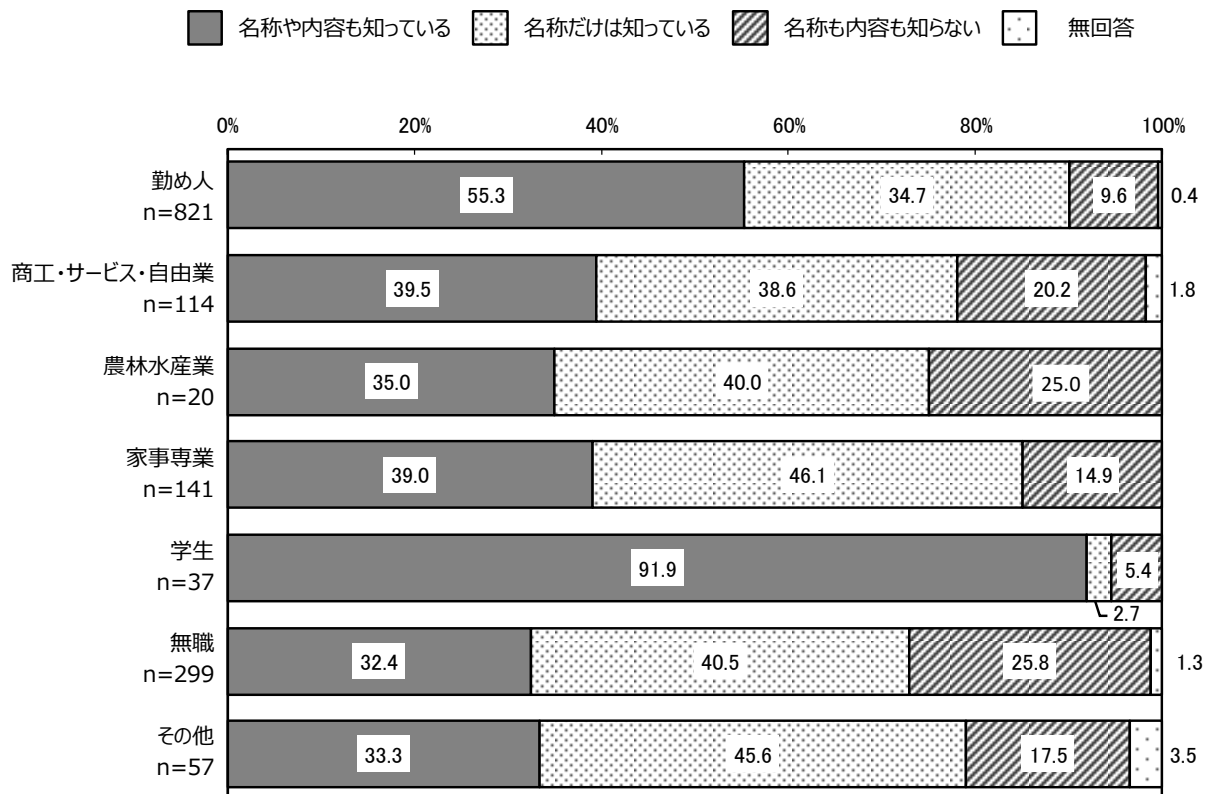


- 「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は 84.6% となり、「名称も内容も知らない」の 14.6% を 70.0 ポイント上回った。2023（令和 5）年度との比較では、『知っている』は 1.0 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、「名称や内容も知っている」と回答した割合は 18～29 歳の 72.5% が最も高く、次いで 40 歳代が 57.9% となった。最も低い 70 歳以上が 26.0% となり、最も高い 18～29 歳とは、46.5 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、「名称や内容も知っている」と回答した割合は学生の 91.9% が最も高く、次いで勤め人が 55.3% となった。

【年代別】



【職業別】



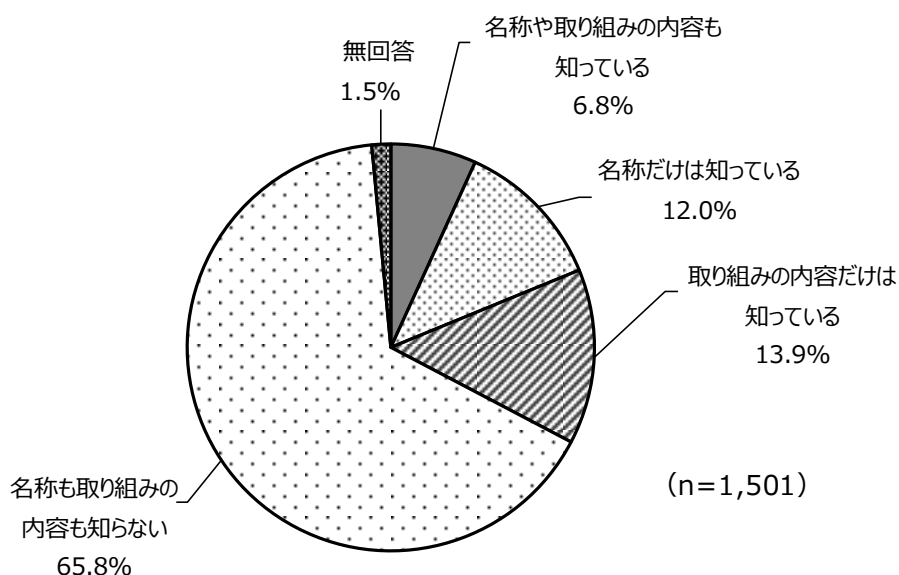
3 SDGsの達成に向けて

3-1 ごみ減量について

問3 あなたは、浜松市が推進している「Go！みんなで404 チャレンジ※」をご存じですか。
(1つだけ○を付けてください)

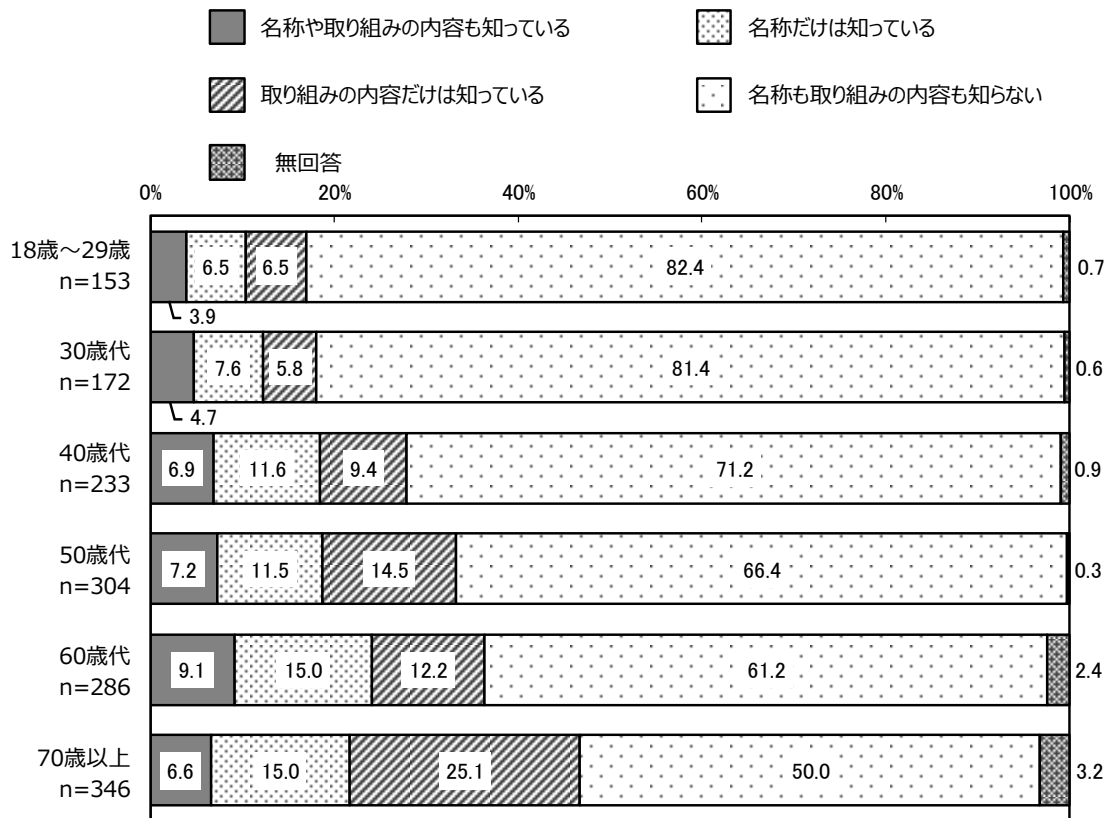
※「Go！みんなで404 チャレンジ」とは、令和10年度までに一人1日あたりの家庭系ごみ排出量を404gまで減らす取り組みです。

「Go！みんなで404 チャレンジ」を『知っている』人は32.7%

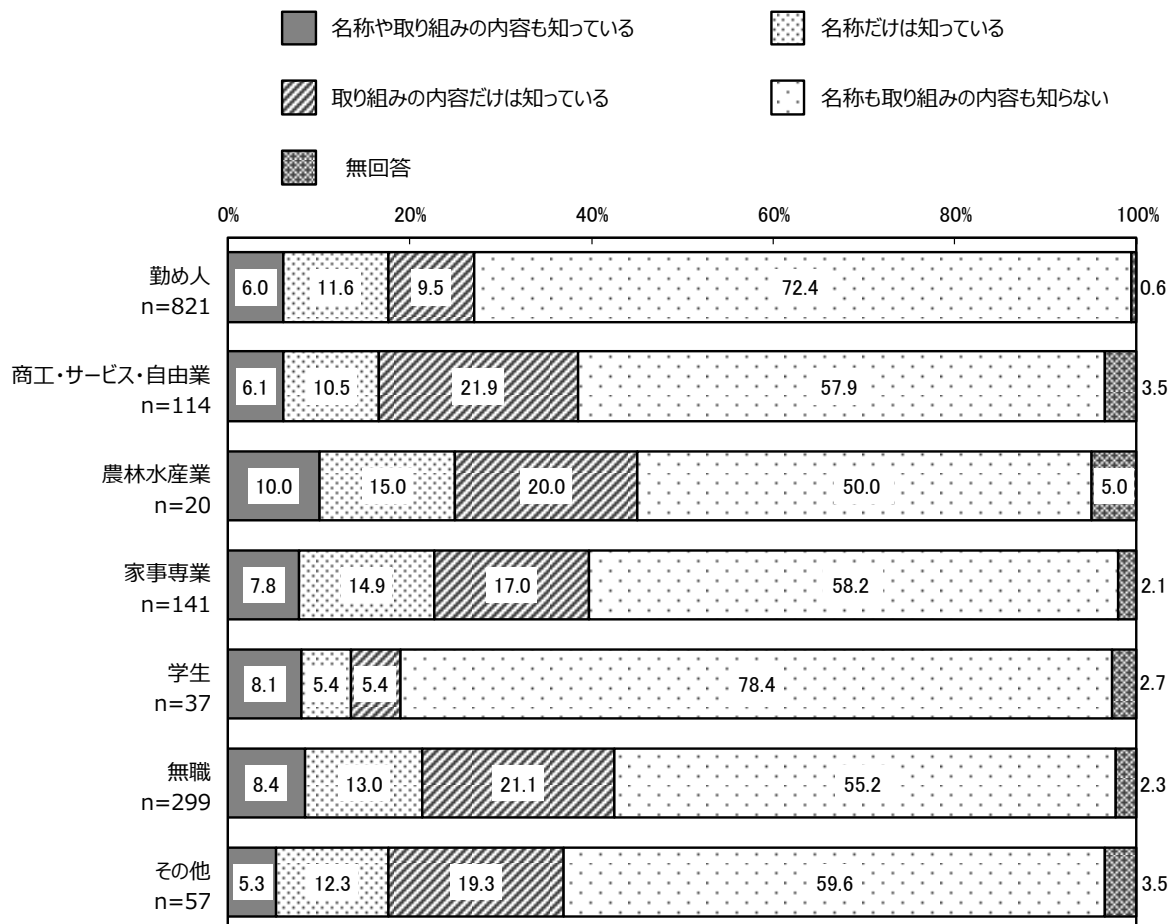


- 「名称や取り組みの内容も知っている」「名称だけは知っている」「取り組みの内容だけは知っている」を合わせた『知っている』は32.7%となり、「名称も取り組みの内容も知らない」の65.8%を33.1ポイント下回った。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、70歳以上が46.7%と最も高く、次いで60歳代が36.3%となった。最も低い18歳～29歳が16.9%となり、最も高い70歳以上とは、29.8ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、農林水産業の『知っている』が45.0%と最も高く、次いで無職が42.5%と続いた。最も低い学生が18.9%となり、最も高い農林水産業とは26.1ポイントの差がみられた。

【年代別】

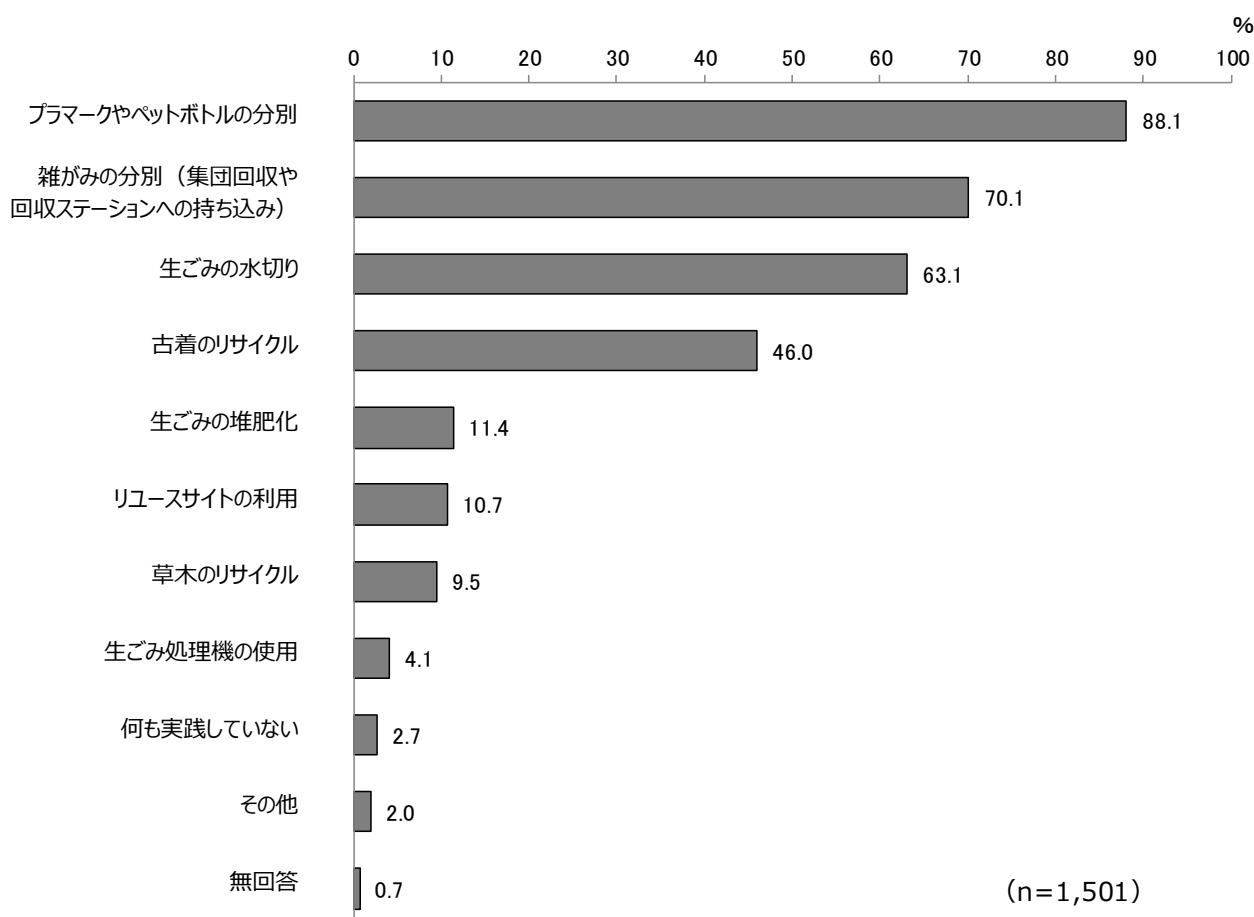


【職業別】



問4 あなたは、ごみを減らす取り組みでどのようなことを実践していますか。
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

ごみを減らす取り組みで実践していることは「プラマークやペットボトルの分別」が 88.1%



- 実践していることの中では「プラマークやペットボトルの分別」が 88.1%と最も高く、次いで「雑がみの分別」が 70.1%、「生ごみの水切り」が 63.1%となった。
- 年代別でみると、「プラマークやペットボトルの分別」と回答した割合は 60 歳代の 92.3%が最も高く、次いで 50 歳代が 90.1%となった。
- 職業別でみると、「プラマークやペットボトルの分別」と回答した割合は家事専門の 95.0%が最も高く、次いで無職が 90.0%となった。最も低い学生が 78.4%となり、最も高い家事専門とは 16.6 ポイントの差がみられた。

【年代別・職業別】

(単位：%)

		プラ マ ー ク や ベ ッ ト ボ ッ ル の 分 別	雑 が み の 分 別 (集 団 回 収 や 回 収 ス テ ー シ ョ ン へ の 持 ち 込 み)	生 ご み の 水 切 り	古 着 の リ サ イ ク ル	生 ご み の 堆 肥 化	リ ユ ー ス サ イ ト の 利 用	草 木 の リ サ イ ク ル	生 ご み 処 理 機 の 使 用	何 も 実 践 し て い な い	そ の 他	無 回 答
年 代	18歳～29歳 n=153	79.1	56.2	46.4	31.4	3.3	7.8	2.6	1.3	8.5	0.7	0.7
	30歳代 n=172	80.8	52.9	47.7	39.5	7.6	11.0	4.1	4.7	7.0	1.2	0.6
	40歳代 n=233	89.3	70.0	63.5	50.6	7.3	18.0	6.0	3.9	2.1	0.9	0.4
	50歳代 n=304	90.1	78.6	65.1	51.3	8.2	12.2	5.9	3.9	1.0	2.0	0.0
	60歳代 n=286	92.3	74.5	64.0	51.4	14.3	8.4	11.5	3.1	1.0	2.8	0.3
	70歳以上 n=346	89.9	74.6	75.4	43.4	19.7	6.9	18.2	6.1	0.9	3.2	2.0
職 業	勤め人 n=821	86.6	67.5	58.1	46.5	6.9	12.7	5.6	3.5	3.3	1.2	0.2
	商工・サービス・自由業 n=114	87.7	70.2	71.9	48.2	13.2	10.5	14.0	8.8	2.6	2.6	1.8
	農林水産業 n=20	85.0	75.0	75.0	45.0	50.0	10.0	15.0	5.0	0.0	5.0	0.0
	家事専業 n=141	95.0	82.3	81.6	58.2	19.1	10.6	14.2	7.1	0.0	5.0	0.7
	学生 n=37	78.4	54.1	48.6	29.7	8.1	8.1	8.1	2.7	5.4	0.0	2.7
	無職 n=299	90.0	73.6	65.9	38.8	16.4	4.7	15.4	3.7	1.3	2.0	1.7
	その他 n=57	91.2	73.7	63.2	50.9	15.8	14.0	10.5	0.0	5.3	5.3	0.0

【問3と問4の設問間クロス集計】

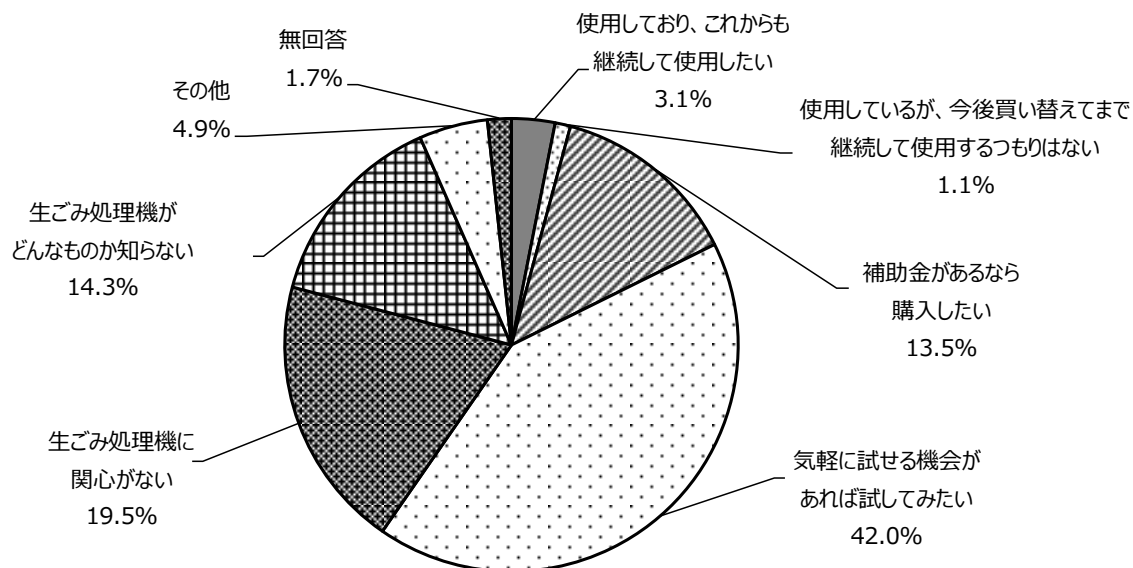
(単位：％)

		問4 ごみを減らす取り組みで実践していること										
		プラ マ ー ク や ベ ッ ト ボ ト ル の 分 別	雑 が み の 分 別 (集 団 回 収 や 回 収 ス テ ー シ ヨ ン へ の 持 ち 込 み)	生 ご み の 水 切 り	古 着 の リ サ イ ク ル	生 ご み の 堆 肥 化	リ ユ ー ス サ イ ト の 利 用	草 木 の リ サ イ ク ル	生 ご み 処 理 機 の 使 用	何 も 実 践 し て い な い	そ の 他	無 回 答
チ 問 ャ 3 レ 「 ン ジ 」 の み 認 知 度 で 4 0 4	名称や取り組みの内容も知っている n=102	95.1	83.3	77.5	52.9	23.5	22.5	15.7	7.8	1.0	4.9	0.0
	名称だけは知っている n=180	90.6	72.2	67.2	52.2	13.3	11.1	14.4	3.9	1.1	1.7	0.0
	取り組みの内容だけは 知っている n=209	94.3	86.1	75.1	54.1	17.7	9.1	11.0	4.3	0.5	3.3	0.5
	名称も取り組みの内容も知らない n=987	86.3	65.5	58.7	42.6	8.6	9.7	7.6	3.9	3.6	1.5	0.2

- 「Go！みんなで404チャレンジ」の認知度別でみると、『知っている』はごみを減らす取り組みを実践している割合が高い傾向にある。一方で、「名称も取り組みの内容も知らない」は「何も実践していない」の割合が他の認知度よりも高い。

問5 あなたは、生ごみ処理機※を使ってみたいと思いますか。(1つだけ○を付けてください)
 ※浜松市では、生ごみ処理機を購入した世帯に対し補助金を交付しています。

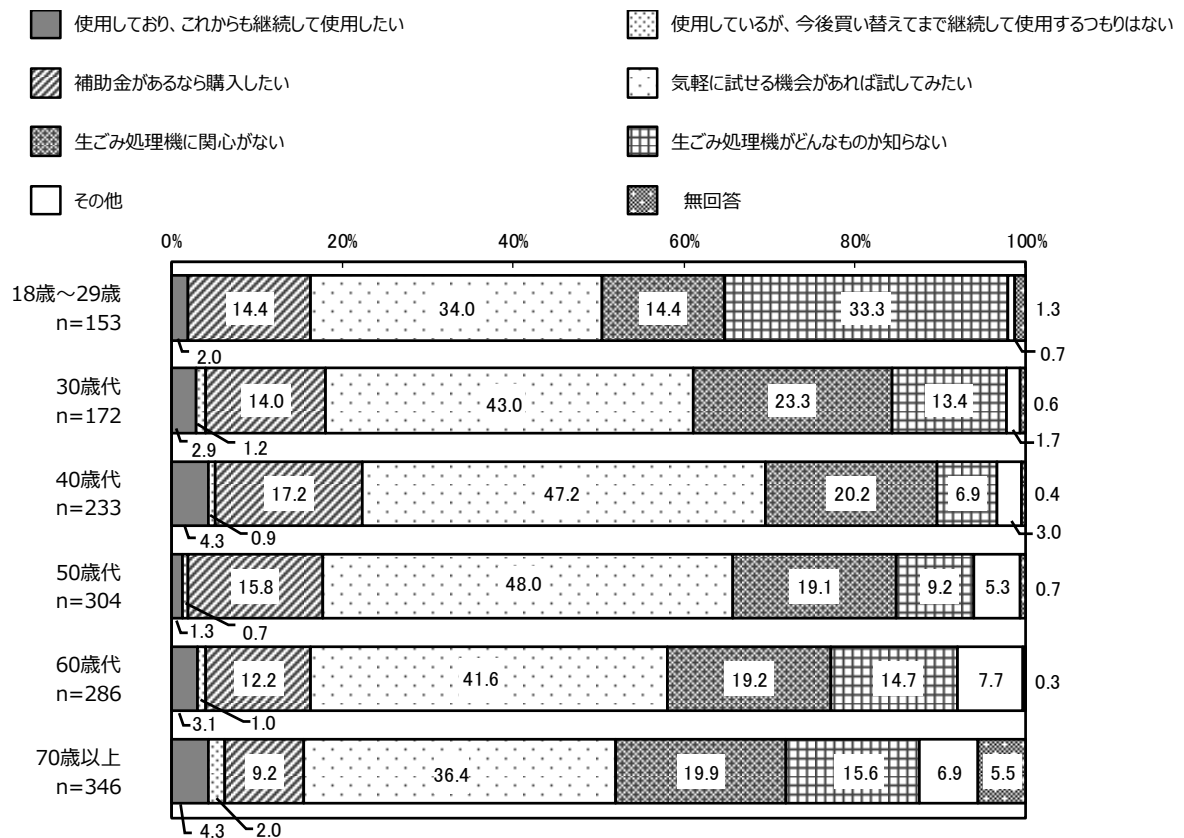
生ごみ処理機を『使ってみたい』人は55.5%



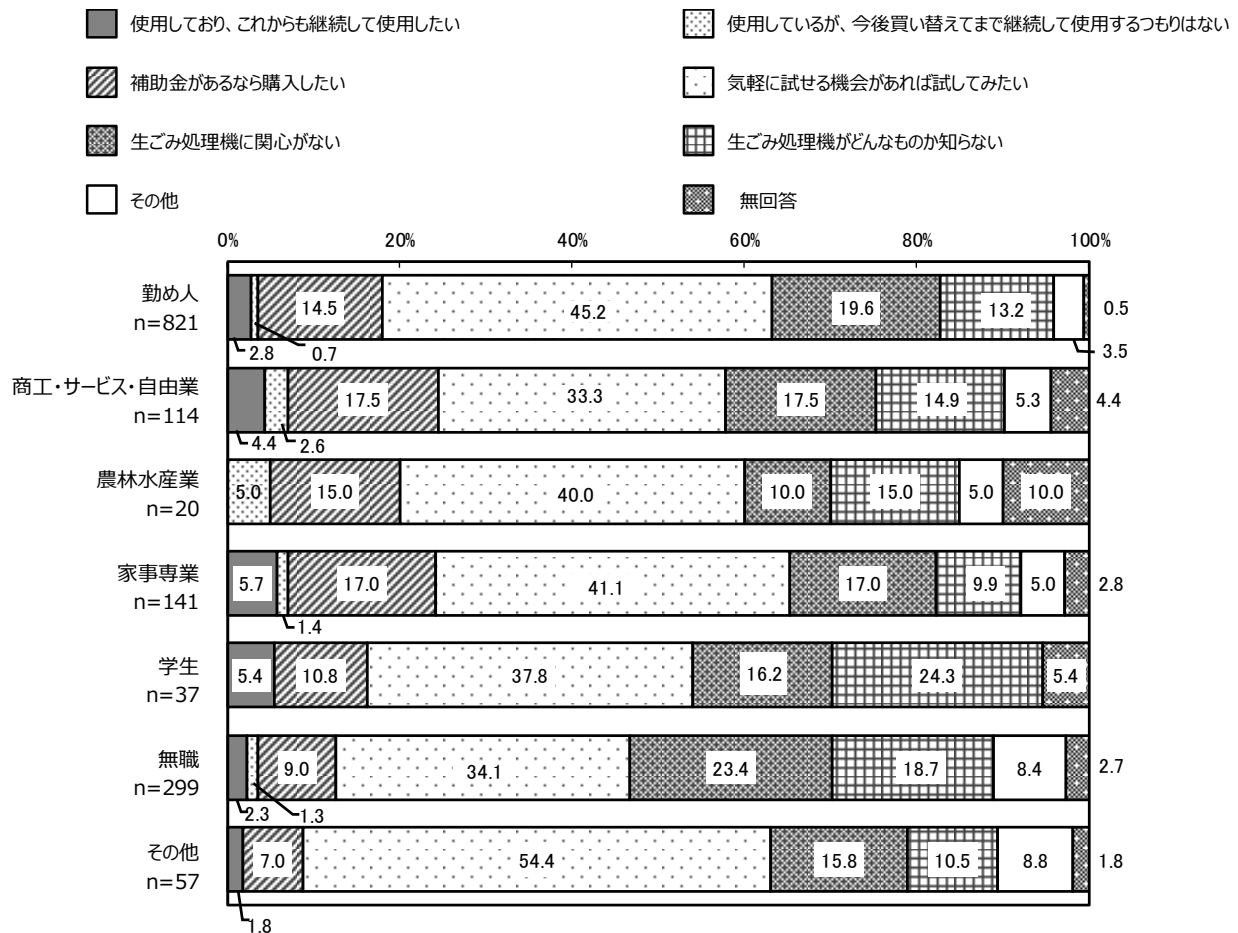
(n=1,501)

- 「補助金があるなら購入したい」と「気軽に試せる機会があれば試してみたい」を合わせた『使ってみたい』は55.5%となり、「生ごみ処理機に関心がない」の19.5%を36.0ポイント上回った。
- 年代別でみると、『使ってみたい』と回答した割合は40歳代の64.4%が最も高く、次いで50歳代が63.8%となった。
- 職業別でみると、『使ってみたい』と回答した割合は勤め人の59.7%が最も高く、次いで家事専業が58.1%となった。

【年代別】



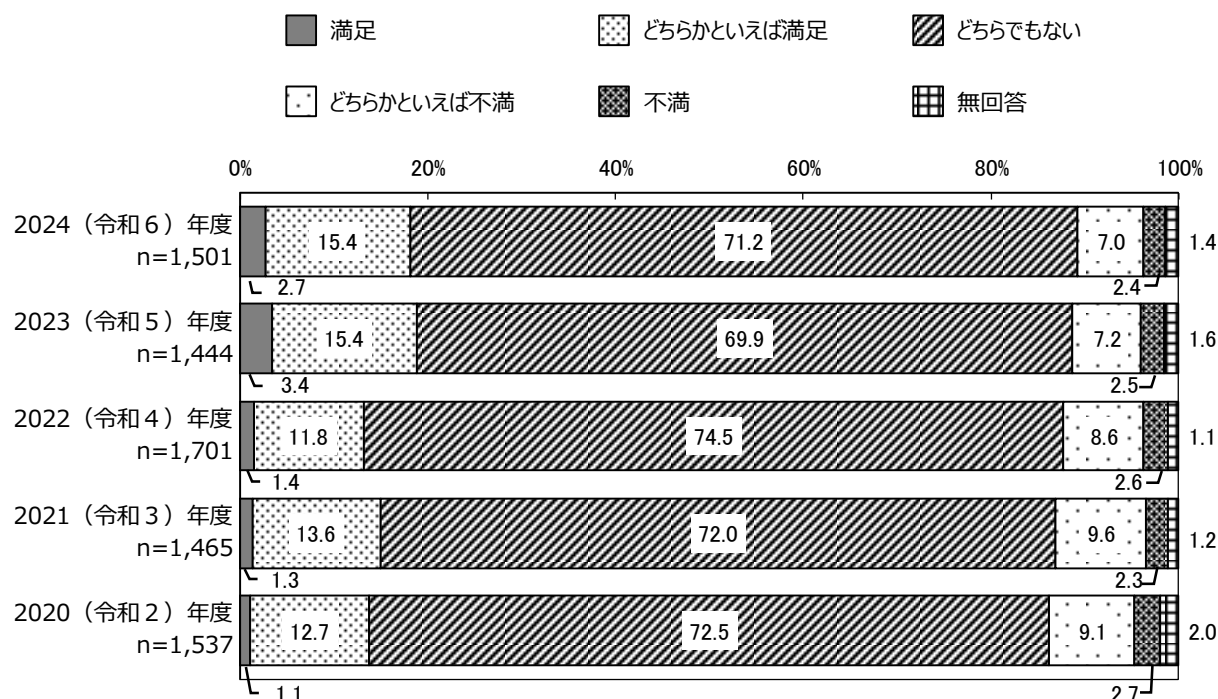
【職業別】



3-2 多文化共生について

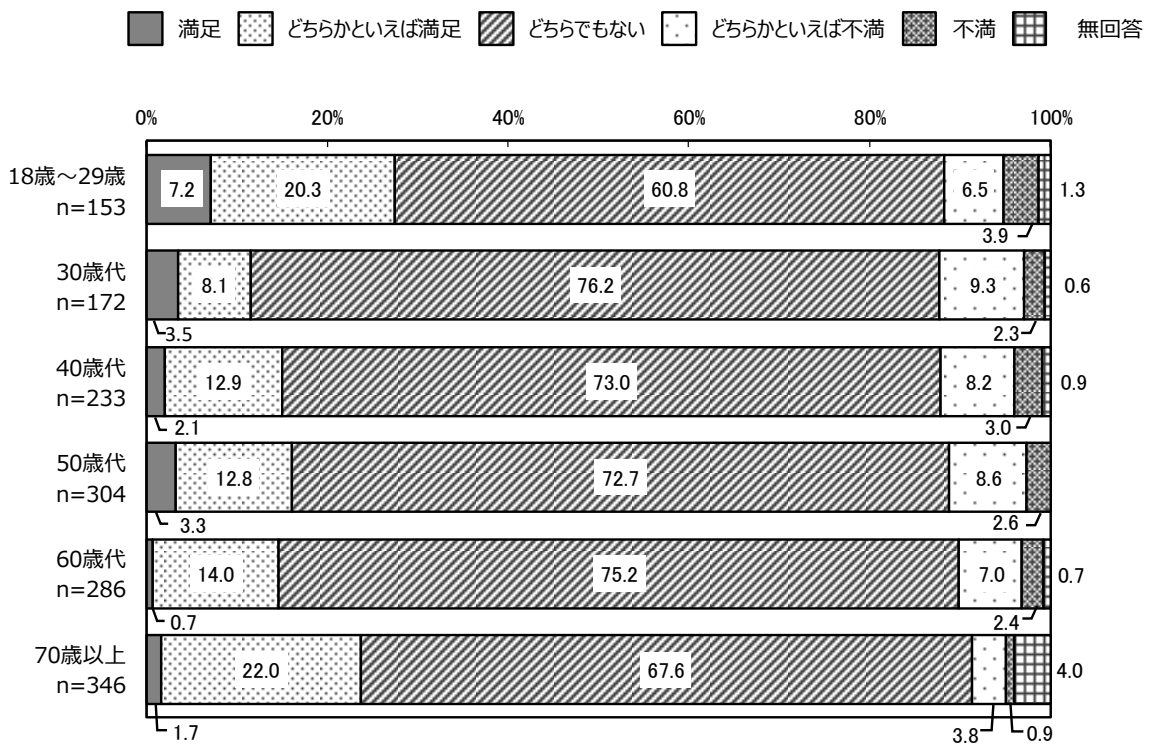
問6 あなたは、浜松市が取り組んでいる外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりについてどのように感じていますか。(1つだけ○を付けてください)

外国人市民との共生社会づくりに向けた取り組みに『満足している』人は18.1%

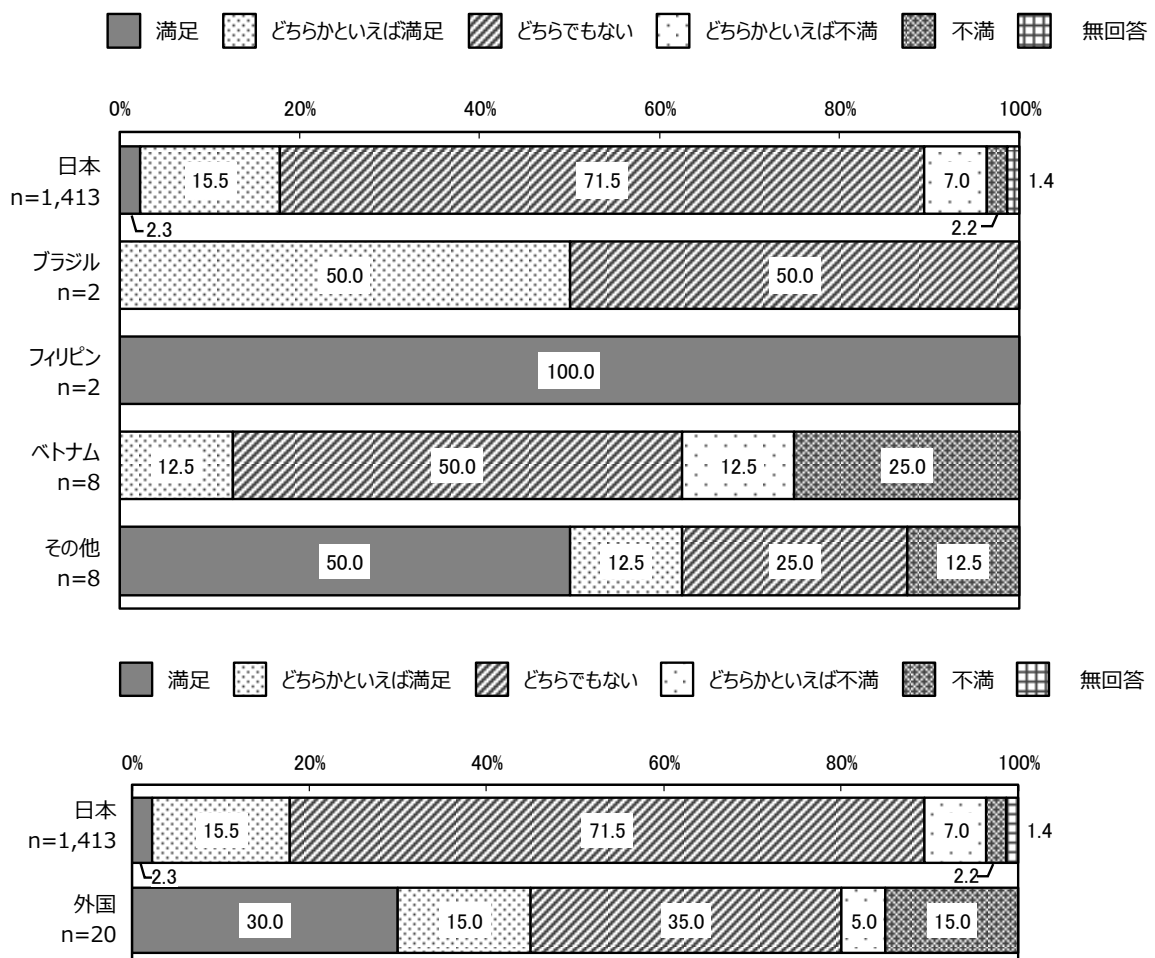


- 「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』は18.1%となった。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満である』は9.4%となり、『満足している』が『不満である』を8.7ポイント上回った。一方で「どちらでもない」は71.2%を占め、3分の2以上となった。
- 年代別でみると、『満足している』の割合は18歳～29歳が27.5%と最も高く、次いで70歳以上の23.7%となった。一方で、『不満である』の割合は30歳代が11.6%と最も高く、次いで40歳代、50歳代が同率で11.2%となった。
- 国籍・地域別でみると、日本人以外の回答が少ないので留意が必要だが、『満足している』と回答した割合は、日本人が17.8%、外国人が45.0%となり、外国人からみた満足度は日本人と比べて高い傾向がうかがえる。

【年代別】

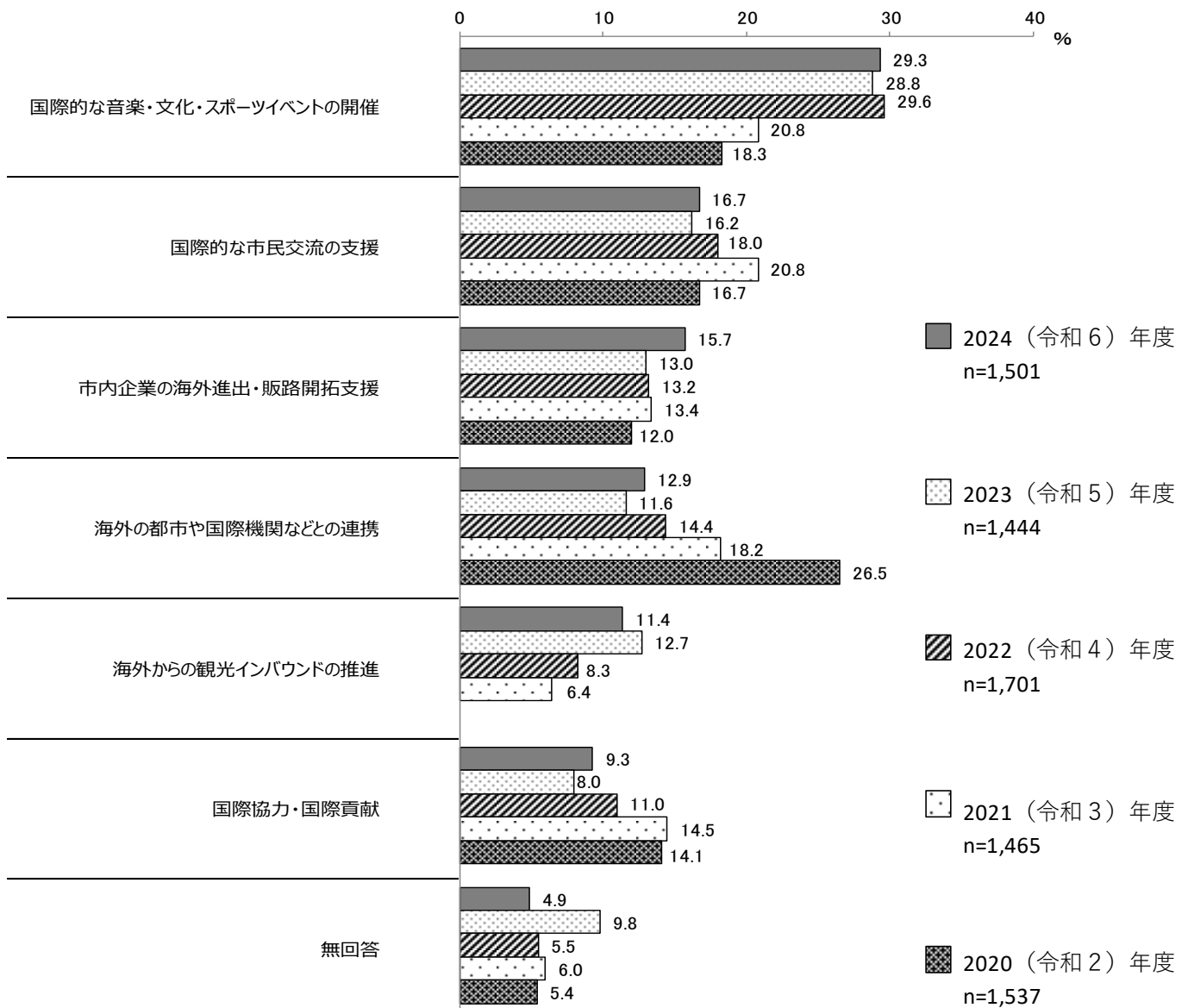


【国籍別】



問7 あなたは、浜松市が行っている国際化の取り組みのうち、最も力を入れるべきものはどれだと思いますか。（1つだけ○を付けてください）

最も力を入れるべき取り組みは「国際的な音楽・文化・スポーツイベントの開催」が29.3%



- 「国際的な音楽・文化・スポーツイベントの開催」が29.3%と最も高く、次いで「国際的な市民交流の支援」が16.7%、「市内企業の海外進出・販路開拓支援」が15.7%となった。
- 年代別でみると、すべての年代で「国際的な音楽・文化・スポーツイベントの開催」が最も高い。「国際的な市民交流の支援」は60歳代および70歳以上で最も高く、「市内企業の海外進出・販路開拓支援」は18歳～29歳で最も高い。
- 職業別でみると、農林水産業以外のすべての職業で「国際的な音楽・文化・スポーツイベントの開催」が最も高い。「海外からの観光インバウンドの推進」は学生が18.9%と他の職業と比べて高くなっている。

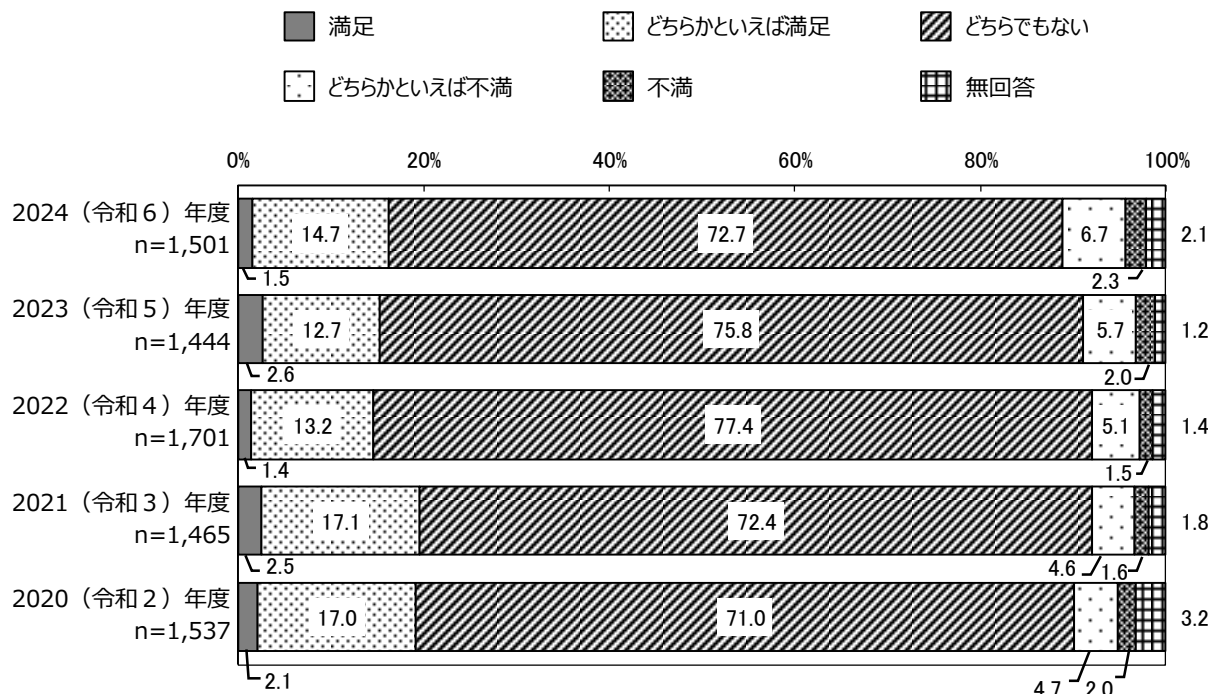
【年代別・職業別】

(単位：％)

		国際的な音楽・文化・スポーツイベントの開催	国際的な市民交流の支援	市内企業の海外進出・販路開拓支援	海外の都市や国際機関などとの連携	海外からの観光インバウンドの推進	国際協力・国際貢献	無回答
年代	18歳～29歳 n=153	28.1	12.4	19.6	15.0	16.3	7.8	0.7
	30歳代 n=172	26.7	13.4	19.2	13.4	16.3	7.6	3.5
	40歳代 n=233	29.2	15.0	15.9	15.9	13.7	6.0	4.3
	50歳代 n=304	26.3	18.4	15.5	12.8	12.5	10.5	3.9
	60歳代 n=286	38.5	18.5	12.9	11.9	6.6	8.4	3.1
	70歳以上 n=346	26.6	18.5	14.2	10.4	8.4	12.7	9.2
職業	勤め人 n=821	29.2	15.8	16.9	12.9	13.4	7.9	3.8
	商工・サービス・自由業 n=114	27.2	22.8	13.2	6.1	10.5	10.5	9.6
	農林水産業 n=20	25.0	30.0	10.0	5.0	5.0	20.0	5.0
	家事専業 n=141	34.8	17.0	12.8	17.7	5.0	8.5	4.3
	学生 n=37	32.4	8.1	10.8	27.0	18.9	2.7	0.0
	無職 n=299	27.4	17.4	15.4	10.7	10.0	13.0	6.0
	その他 n=57	29.8	14.0	17.5	17.5	5.3	10.5	5.3

問8 あなたは、浜松市が取り組んでいる世界の人々との活発な市民交流について、どのように感じていますか。（1つだけ○を付けてください）

世界の人々との活発な市民交流に向けた浜松市の取り組みに『満足している』人は16.2%



- 「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』は16.2%となった。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満である』は9.0%となり、『満足している』が『不満である』を7.2ポイント上回った。一方で「どちらでもない」は72.7%を占め、3分の2以上となった。
- 年代別でみると、『満足している』の割合は18歳～29歳が25.5%と最も高く、次いで70歳以上の21.1%となった。一方で、『不満である』の割合は50歳代が11.5%と最も高く、次いで40歳代の10.3%となった。
- 職業別でみると、『満足している』と回答した割合は、学生が29.7%と最も高く、次いで農林水産業の20.0%となった。

【年代別・職業別】

(単位：%)

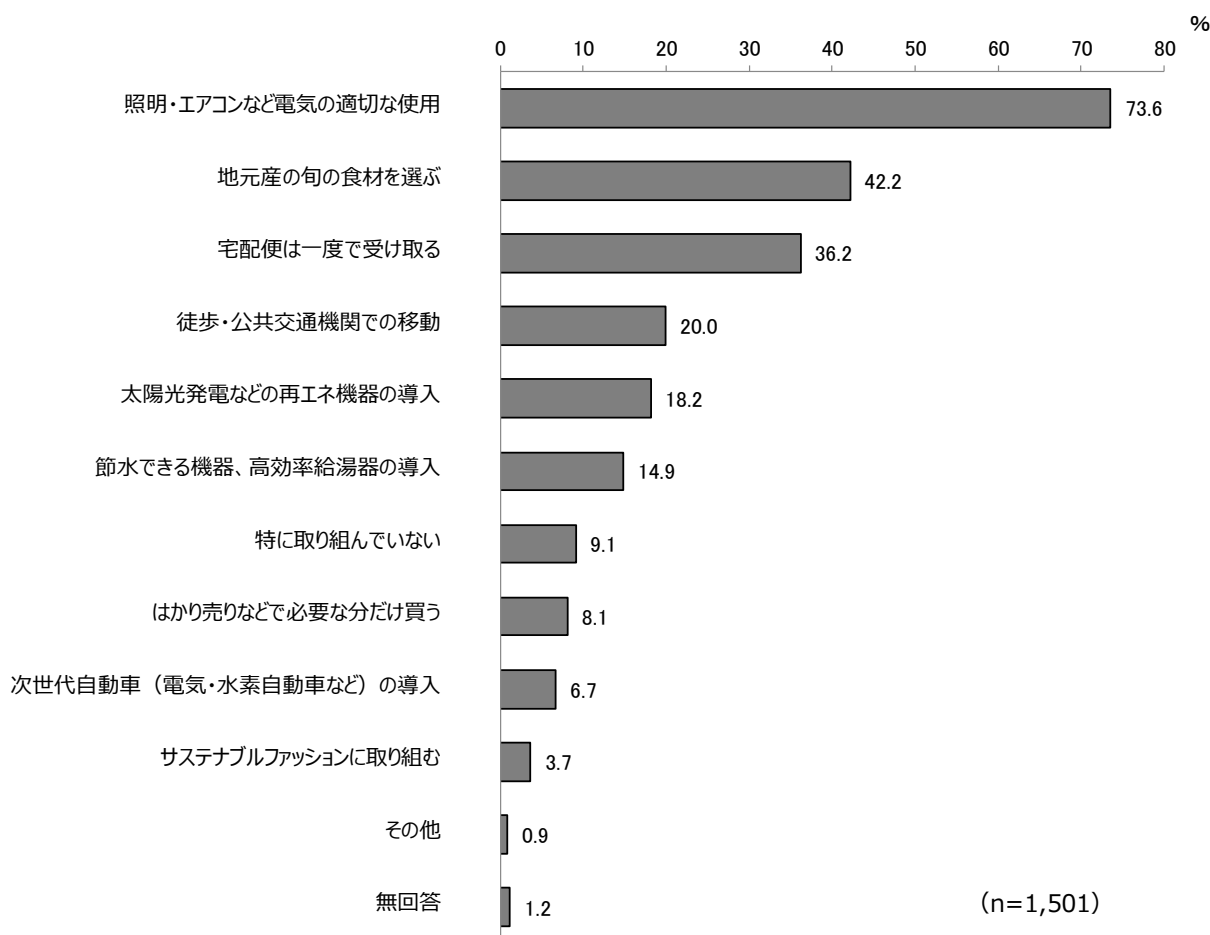
		満 足	ど ち ら か と い え ば 満 足	ど ち ら で も な い	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満	無 回 答
年 代	18歳～29歳 n=153	3.9	21.6	66.7	3.9	3.3	0.7
	30歳代 n=172	2.9	10.5	75.6	6.4	2.3	2.3
	40歳代 n=233	1.7	11.6	75.5	7.3	3.0	0.9
	50歳代 n=304	1.3	11.2	75.0	8.2	3.3	1.0
	60歳代 n=286	1.0	12.6	75.2	8.7	1.0	1.4
	70歳以上 n=346	0.3	20.8	68.2	4.6	1.2	4.9
職 業	勤め人 n=821	1.6	14.3	72.5	7.9	2.4	1.3
	商工・サービス・自由業 n=114	0.0	11.4	74.6	7.9	2.6	3.5
	農林水産業 n=20	0.0	20.0	70.0	5.0	5.0	0.0
	家事専業 n=141	1.4	18.4	73.8	2.8	0.7	2.8
	学生 n=37	8.1	21.6	67.6	2.7	0.0	0.0
	無職 n=299	1.7	14.7	72.2	5.4	2.3	3.7
	その他 n=57	0.0	12.3	77.2	7.0	1.8	1.8

3-3 カーボンニュートラルについて

問9 あなたは、温室効果ガス排出削減につながる次の取り組み（愛称：デコ活※）のうち、どのようなことを行っていますか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）

※「デコ活」とは、二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)、環境に良いエコ(Eco)と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

温室効果ガス排出削減につながる取り組みで行っていることは「照明・エアコンなど電気の適切な使用」が73.6%



- 「照明・エアコンなど電気の適切な使用」が73.6%と最も高く、次いで「地元産の旬の食材を選ぶ」が42.2%、「宅配便は一度で受け取る」が36.2%となった。
- 年代別でみると、すべての年代で「照明・エアコンなど電気の適切な使用」が最も高く、50歳以上で7割を超えた。次いで18歳～29歳では「徒歩・公共交通機関での移動」、30歳代では「宅配便は一度で受け取る」、40歳以上では「地元産の旬の食材を選ぶ」が高くなっている。
- 職業別でみると、すべての職業で「照明・エアコンなど電気の適切な使用」が最も高い。「照明・エアコンなど電気の適切な使用」を除いた項目で見ると、「地元産の旬の食材を選ぶ」は家事専業で68.1%、「徒歩・公共交通機関での移動」は学生で43.2%と他の職業と比較して最も高い。

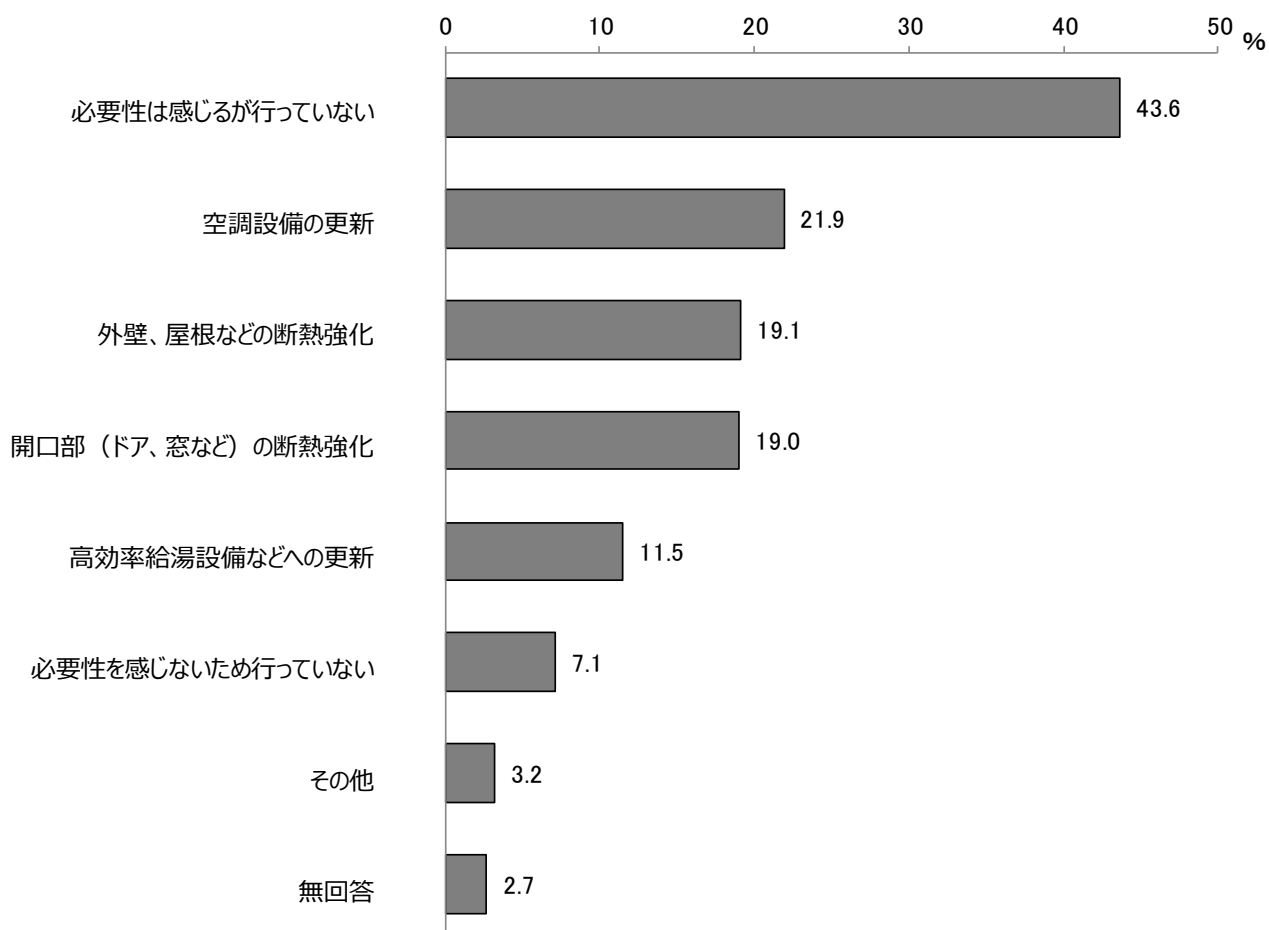
【年代別・職業別】

(単位：%)

		照明・エアコンなど電気の適切な使用	地元産の旬の食材を選ぶ	宅配便は一度で受け取る	徒歩・公共交通機関での移動	太陽光発電などの再エネ機器の導入	節水できる機器、高効率給湯器の導入	特に取り組んでいない	はかり売りなどで必要な分だけ買う	次世代自動車（電気・水素自動車など）の導入	サステナブルファッションに取り組む	その他	無回答
年代	18歳～29歳 n=153	65.4	18.3	20.3	26.8	11.1	7.2	15.7	5.9	4.6	2.6	0.0	0.7
	30歳代 n=172	61.6	27.3	36.6	14.5	23.3	9.3	12.2	6.4	5.2	4.1	0.0	0.6
	40歳代 n=233	67.4	39.9	35.2	10.7	27.0	13.3	9.4	9.4	5.2	5.2	0.4	0.4
	50歳代 n=304	77.3	49.0	36.8	21.4	19.7	18.8	6.6	7.9	5.9	2.6	1.3	0.7
	60歳代 n=286	80.8	45.1	41.6	19.6	16.4	16.8	7.7	7.7	12.9	5.2	2.1	0.3
	70歳以上 n=346	78.3	53.2	38.2	24.6	12.7	16.8	7.8	9.2	4.6	2.3	0.6	3.2
	勤め人 n=821	70.9	38.1	35.0	18.3	20.5	14.6	10.6	6.6	7.3	3.3	1.0	0.5
職業	商工・サービス・自由業 n=114	69.3	44.7	34.2	11.4	21.1	14.9	7.0	11.4	7.9	6.1	1.8	3.5
	農林水産業 n=20	85.0	40.0	45.0	5.0	25.0	10.0	15.0	15.0	15.0	0.0	5.0	0.0
	家事専業 n=141	83.0	68.1	46.8	22.7	17.7	22.0	1.4	12.8	6.4	4.3	0.0	0.7
	学生 n=37	78.4	13.5	16.2	43.2	16.2	10.8	5.4	2.7	2.7	2.7	0.0	0.0
	無職 n=299	76.9	44.1	37.5	25.1	12.4	12.0	9.4	8.4	5.7	3.7	0.7	2.0
	その他 n=57	77.2	43.9	35.1	21.1	12.3	19.3	7.0	10.5	1.8	5.3	1.8	1.8

問 10 あなたは、住まいの快適性・省エネ効率を高めるために、どのようなことを行ったことがありますか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)

住まいの快適性・省エネ効率を高めるために行っていることは「空調設備の更新」が 21.9%



- 「必要性は感じるが行っていない」が 43.6%と最も高くなっており、「必要性は感じるが行っていない」を除いた項目でみると、「空調設備の更新」が 21.9%と最も高く、次いで「外壁、屋根などの断熱強化」が 19.1%、「開口部（ドア、窓など）の断熱強化」が 19.0%となった。
- 年代別でみると、「必要性は感じるが行っていない」の項目を除き、18 歳～29 歳、50 歳以上で「空調設備の更新」が最も高く、50 歳以上では 2 割を超えている。一方、30 歳代、40 歳代では「外壁、屋根などの断熱強化」が最も高くなっている。
- 職業別でみると、「必要性は感じるが行っていない」の項目を除き、「空調設備の更新」が商工・サービス・自由業で 30.7%と最も高くなっている。同項目で最も低い農林水産業では 5.0%となり、最も高い商工・サービス・自由業とは 25.7 ポイントの差がみられた。

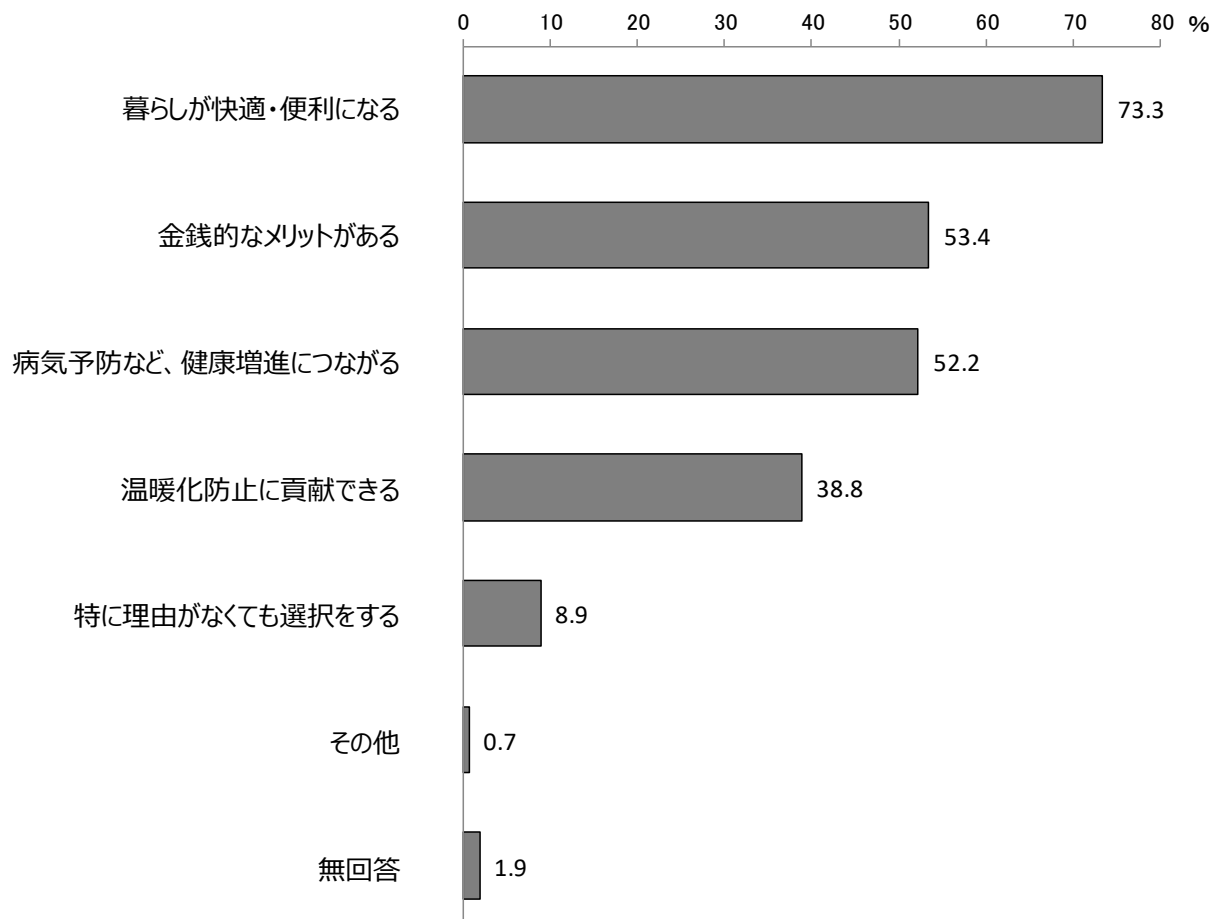
【年代別・職業別】

(単位：%)

		必要性は感じるが 行っていない	空調設備の更新	外壁、屋根などの断熱強化	開口部（ドア、窓など）の断熱強化	高効率給湯設備などへの更新	必要性を感じないため 行っていない	その他	無回答
年代	18歳～29歳 n=153	58.8	14.4	9.2	8.5	3.9	9.8	1.3	1.3
	30歳代 n=172	47.7	15.1	23.8	18.0	5.2	9.3	1.7	1.7
	40歳代 n=233	41.6	18.0	27.0	21.0	8.6	7.7	3.9	3.4
	50歳代 n=304	40.5	23.7	16.1	19.1	14.5	5.3	3.9	1.3
	60歳代 n=286	42.7	28.7	21.0	20.6	12.2	5.6	3.5	1.4
	70歳以上 n=346	40.2	23.7	16.8	21.4	16.2	6.9	3.5	5.2
職業	勤め人 n=821	45.9	21.3	19.6	18.6	10.1	7.3	2.8	1.5
	商工・サービス・自由業 n=114	33.3	30.7	22.8	21.9	14.9	8.8	2.6	5.3
	農林水産業 n=20	45.0	5.0	10.0	15.0	10.0	25.0	0.0	0.0
	家事専業 n=141	34.0	22.7	21.3	27.0	15.6	5.0	5.0	4.3
	学生 n=37	59.5	21.6	10.8	5.4	8.1	0.0	0.0	0.0
	無職 n=299	42.8	22.1	17.1	17.7	11.7	7.7	4.3	3.7
	その他 n=57	47.4	17.5	17.5	15.8	14.0	1.8	3.5	5.3

問 11 あなたは、どのような場合に環境に配慮した行動や製品・サービスの選択をしますか。
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

環境に配慮した行動や製品・サービスの選択をするのは「暮らしが快適・便利になる」場合
が 73.3%



- 「暮らしが快適・便利になる」が 73.3%と最も高く、次いで「金銭的なメリットがある」が 53.4%、「病気予防など、健康増進につながる」が 52.2%となった。
- 年代別でみると、すべての年代で「暮らしが快適・便利になる」が最も高く、70 歳以上を除く年代で7割を超えた。18 歳から 50 歳代では、次いで「金銭的なメリットがある」が高く、60 歳以上の年代では「病気予防など、健康増進につながる」が高くなっている。
- 職業別でみると、すべての職業で「暮らしが快適・便利になる」が最も高くなっている。「病気予防など、健康増進につながる」は、家事専業で 63.1%と最も高く、最も低い農林水産業の 30.0%とは 33.1 ポイントの差がみられた。

【年代別・職業別】

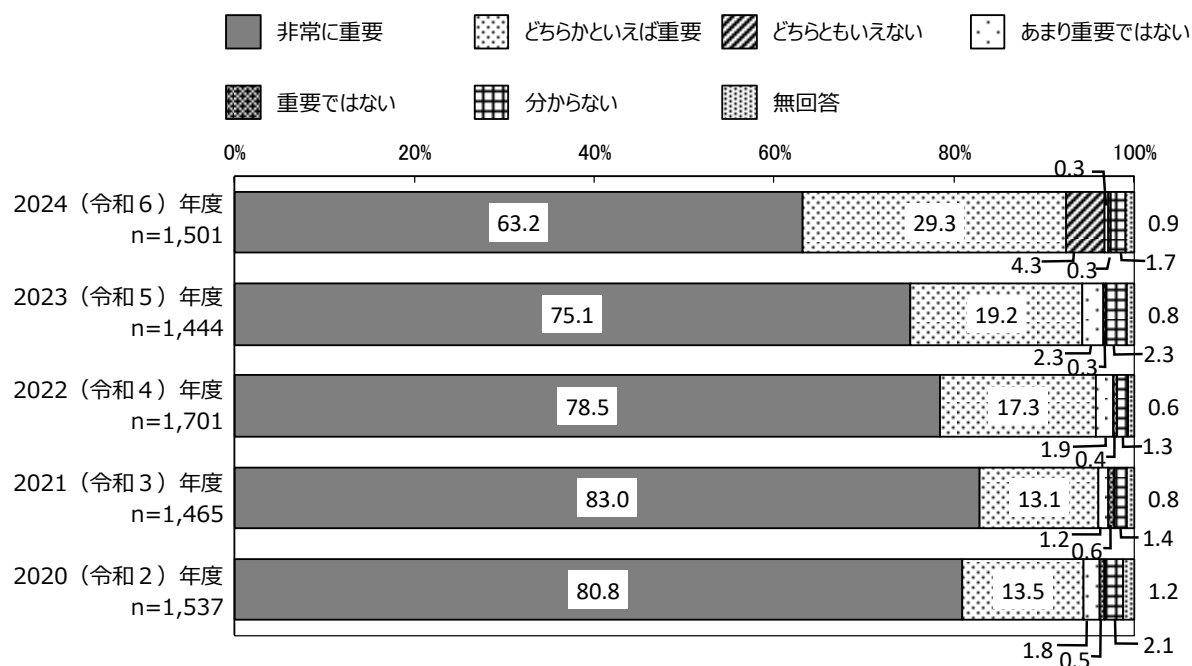
(単位：％)

		暮らしが快適・便利になる	金銭的なメリットがある	病気予防など、健康増進につながる	温暖化防止に貢献できる	特に理由がなくても選択をする	その他	無回答
年代	18歳～29歳 n=153	80.4	57.5	42.5	29.4	3.3	1.3	0.7
	30歳代 n=172	78.5	73.3	48.3	25.6	6.4	0.0	0.6
	40歳代 n=233	78.5	67.8	50.2	37.8	7.7	0.4	0.9
	50歳代 n=304	75.0	56.9	49.0	44.7	8.6	1.0	0.7
	60歳代 n=286	74.1	50.3	57.0	43.4	11.5	0.7	2.1
	70歳以上 n=346	61.8	31.2	59.2	41.6	11.6	0.6	4.3
職業	勤め人 n=821	78.6	61.1	49.9	37.8	7.9	0.6	0.5
	商工・サービス・自由業 n=114	62.3	47.4	51.8	43.9	8.8	0.0	4.4
	農林水産業 n=20	60.0	45.0	30.0	30.0	5.0	0.0	5.0
	家事専業 n=141	78.0	50.4	63.1	44.0	10.6	0.0	1.4
	学生 n=37	81.1	56.8	54.1	35.1	2.7	2.7	0.0
	無職 n=299	61.9	39.1	53.8	37.8	11.4	0.7	3.7
	その他 n=57	68.4	40.4	64.9	45.6	10.5	3.5	5.3

3-4 人権について

問 12 あなたは、人権を尊重することは重要だと思いますか。（1 つだけ○を付けてください）

人権を尊重することは『重要である』と思う人は 92.5%



※2023（令和5）年度までの調査では、「人権は重要なことだと思うか」を問う設問としており、「非常に重要」を「思う」に、「どちらかといえば重要」を「ときどき思う」に、「あまり重要ではない」を「あまり思わない」に、「重要ではない」を「思わない」にしており、「どちらともいえない」はなかった。

- 「非常に重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要である』は 92.5%となり、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた『重要でない』は 0.6%であった。2023（令和5）年度との比較では、『重要である』は 1.8 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、『重要である』と回答した割合は、18 歳～29 歳が 95.4%と最も高くなった。最も低い 70 歳以上が 89.3%となり、最も高い 18 歳～29 歳とは 6.1 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、「非常に重要」と回答した割合は、学生が 75.7%と最も高く、最も低い無職の 58.2%と 17.5 ポイントの差がみられた。

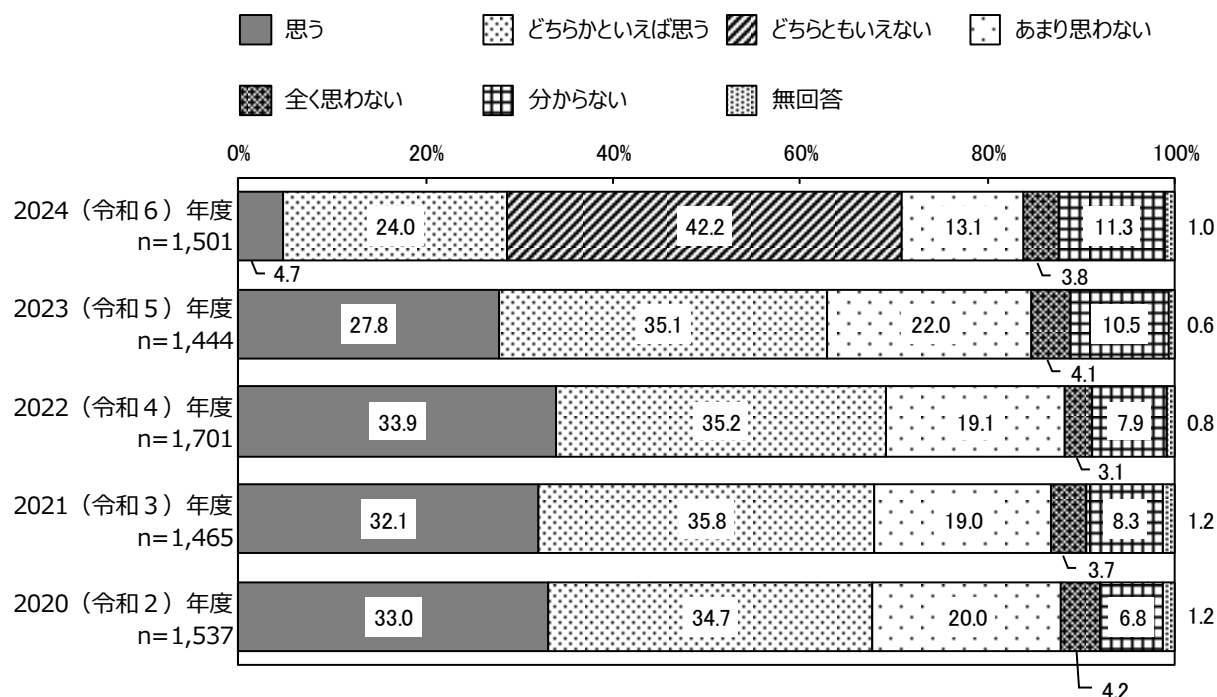
【年代別・職業別】

(単位：％)

		非常に重要	重要	どちらかといえば	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	分からない	無回答
年代	18歳～29歳 n=153	69.3	26.1	1.3	0.7	0.0	2.0	0.7	
	30歳代 n=172	59.9	34.3	4.7	0.0	0.0	1.2	0.0	
	40歳代 n=233	67.8	27.0	2.1	0.0	0.4	2.1	0.4	
	50歳代 n=304	61.2	31.3	5.9	0.3	0.7	0.3	0.3	
	60歳代 n=286	65.4	26.9	4.9	0.3	0.0	1.7	0.7	
	70歳以上 n=346	59.2	30.1	4.6	0.6	0.3	2.6	2.6	
職業	勤め人 n=821	63.2	29.6	4.8	0.0	0.4	1.7	0.4	
	商工・サービス・自由業 n=114	66.7	27.2	1.8	1.8	0.0	0.0	2.6	
	農林水産業 n=20	70.0	25.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	
	家事専業 n=141	66.7	29.1	2.1	0.7	0.0	0.7	0.7	
	学生 n=37	75.7	21.6	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	
	無職 n=299	58.2	30.4	6.0	0.3	0.3	2.3	2.3	
	その他 n=57	63.2	29.8	1.8	0.0	0.0	5.3	0.0	

問 13 あなたは、浜松市は人権尊重の意識が生活に定着していると思いますか。
(1 つだけ○を付けてください)

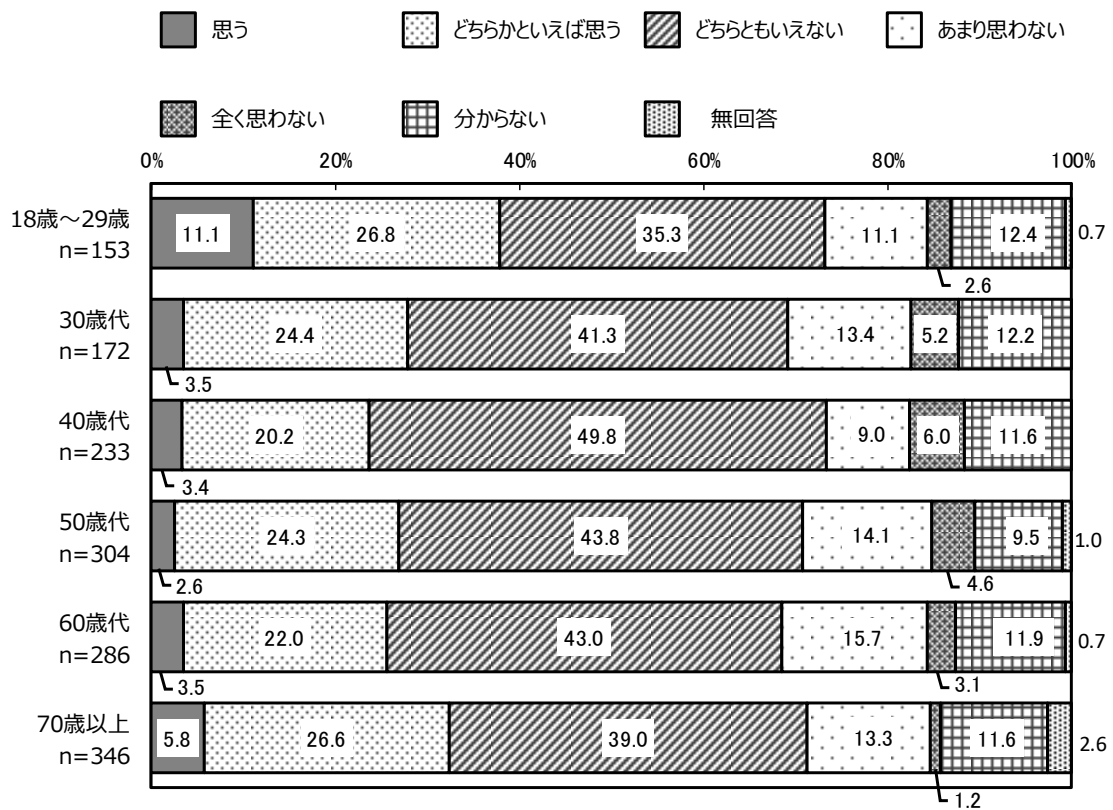
人権尊重の意識が生活に『定着している』と思う人は 28.7%



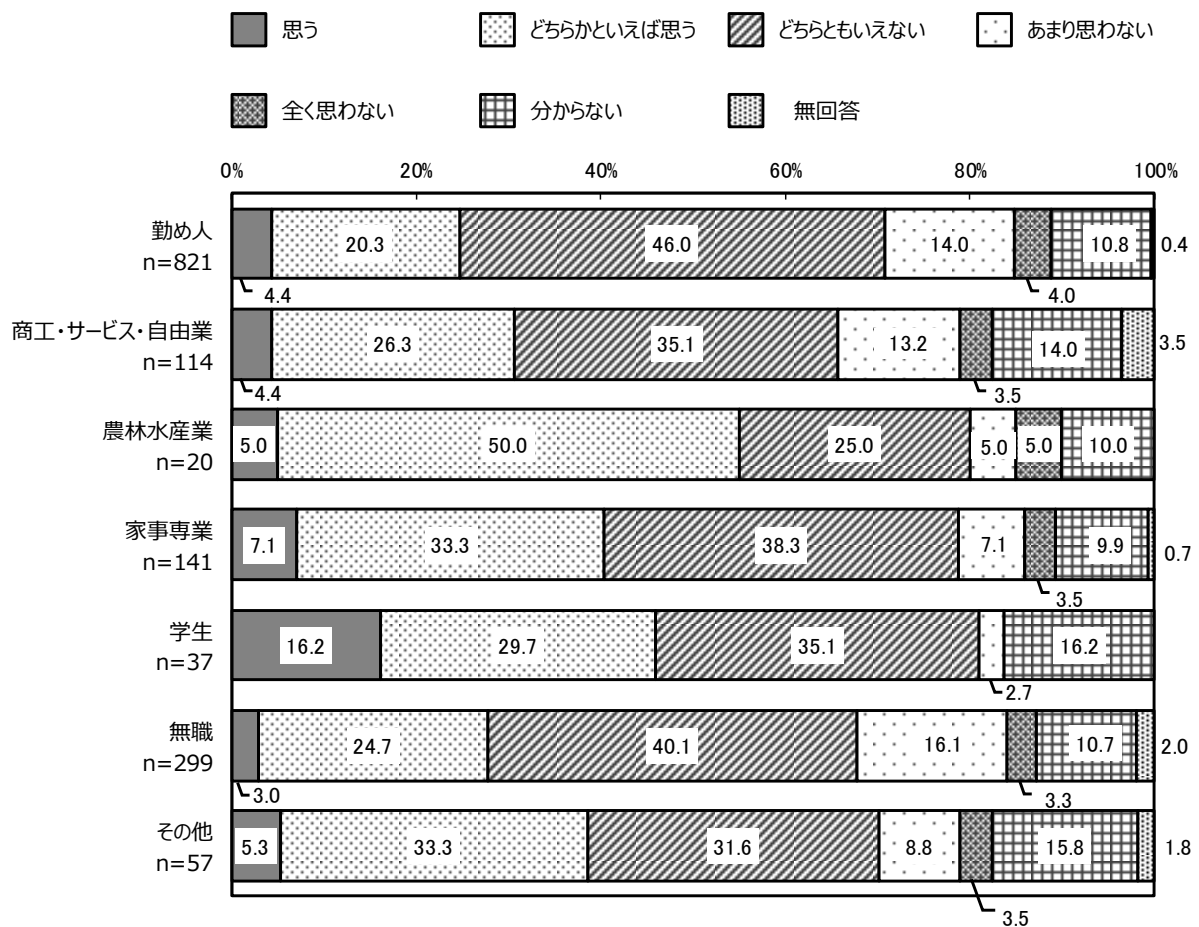
※2023（令和5年）年度までの調査では、「お互いの人権を守りながら生活できていると思うか」を問う設問としており、「どちらともいえない」はなかった。

- 「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『定着している』は 28.7% となり、「あまり思わない」と「全く思わない」を合わせた『定着していない』の 16.9% を 11.8 ポイント上回った。2023（令和5）年度との比較では、『定着している』は 34.2 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、『定着している』の割合は、18 歳～29 歳が 37.9% と最も高く、次いで 70 歳以上が 32.4% となった。最も低い 40 歳代が 23.6% となり、最も高い 18 歳～29 歳とは、14.3 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、『定着している』の割合は、農林水産業が 55.0% と最も高くなり、最も低い勤め人の 24.7% と 30.3 ポイントの差がみられた。

【年代別】

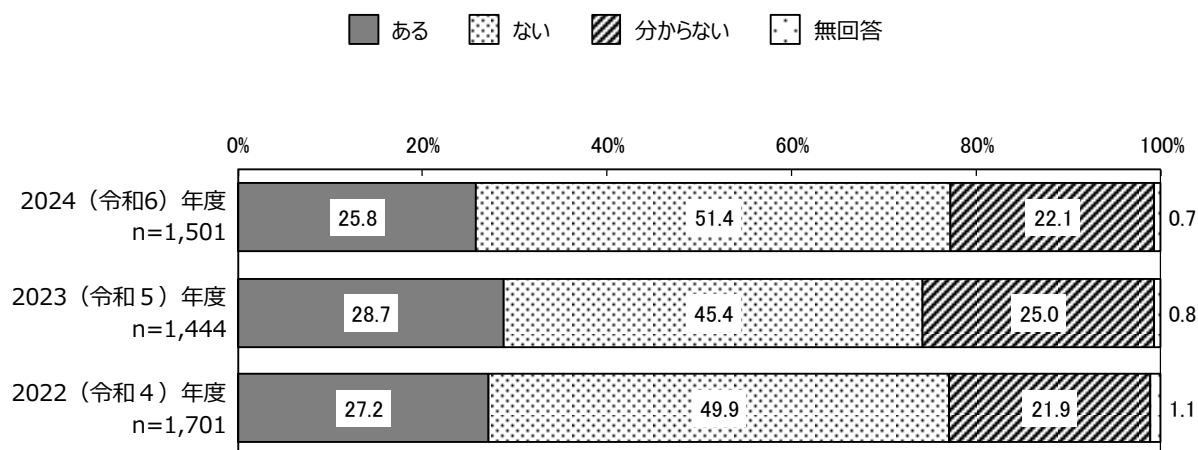


【職業別】



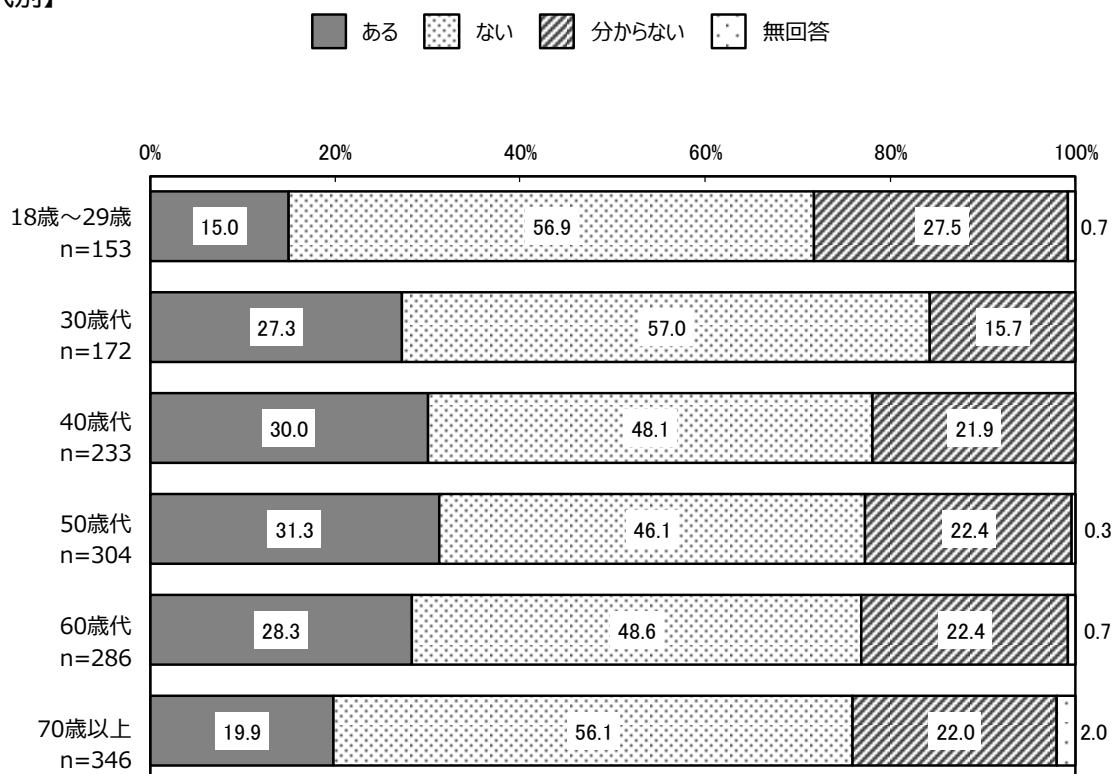
問 14 あなたは、日常生活の中で、あなた自身またはあなたの周りの方（家族や友人、職場の同僚など）の人権が侵害されたと感じたことはありますか。
（1つだけ○を付けてください）

日常生活の中で、人権が侵害されたと感じたことが「ない」人は51.4%

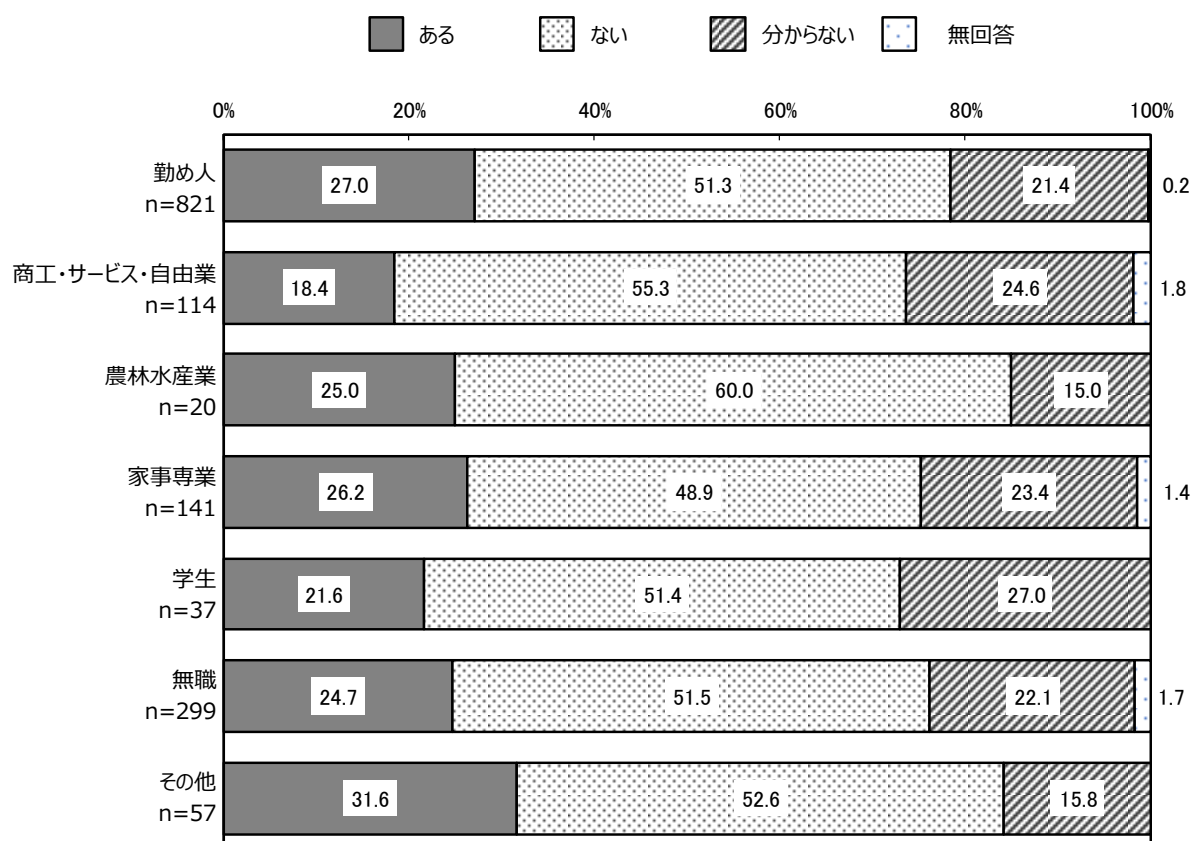


- 人権が侵害されたと感じたことは「ない」が51.4%と最も高く、次いで「ある」が25.8%、「分からない」が22.1%となった。2023（令和5）年度との比較では、「ない」が6.0ポイント増加、「ある」が2.9ポイント減少となった。
- 年代別でみると、「ある」と回答した割合は50歳代の31.3%が最も高く、次いで40歳代の30.0%となった。「ない」と回答した割合は30歳代の57.0%が最も高い。
- 職業別でみると、「ある」は勤め人が27.0%と最も高くなっている。「ない」と回答した割合は農林水産業の60.0%が最も高い。

【年代別】



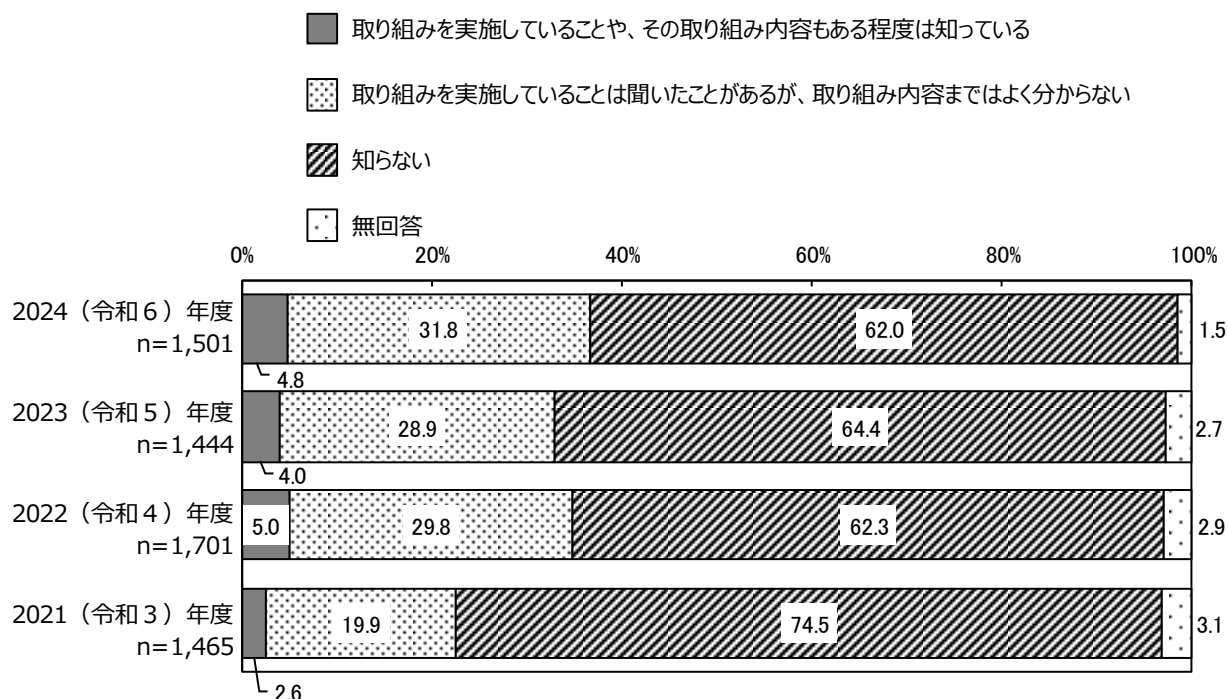
【職業別】



3-5 デジタルを活用したまちづくりについて

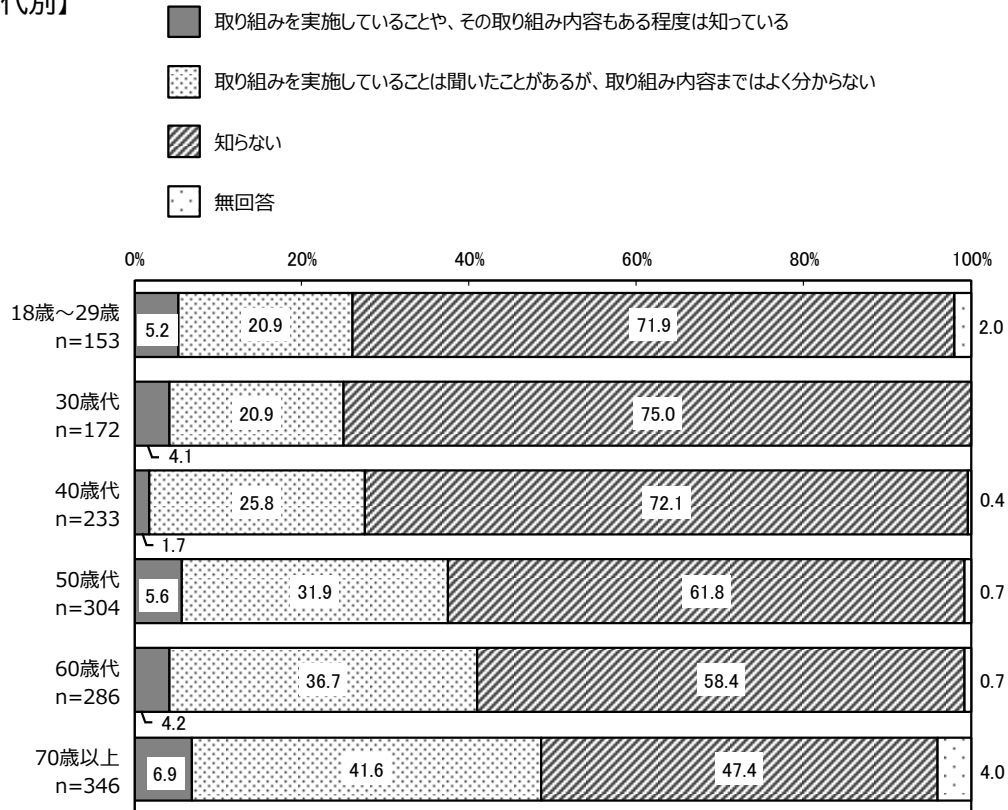
問 15 あなたは、浜松市が 2022（令和 4）年 7 月に「デジタルを活用したまちづくり推進条例」を策定するなど、「デジタルを活用したまちづくり」に取り組んでいることをご存じですか。（1 つだけ○を付けてください）

「デジタルを活用したまちづくり」に取り組んでいることを『知っている』人は 36.6%

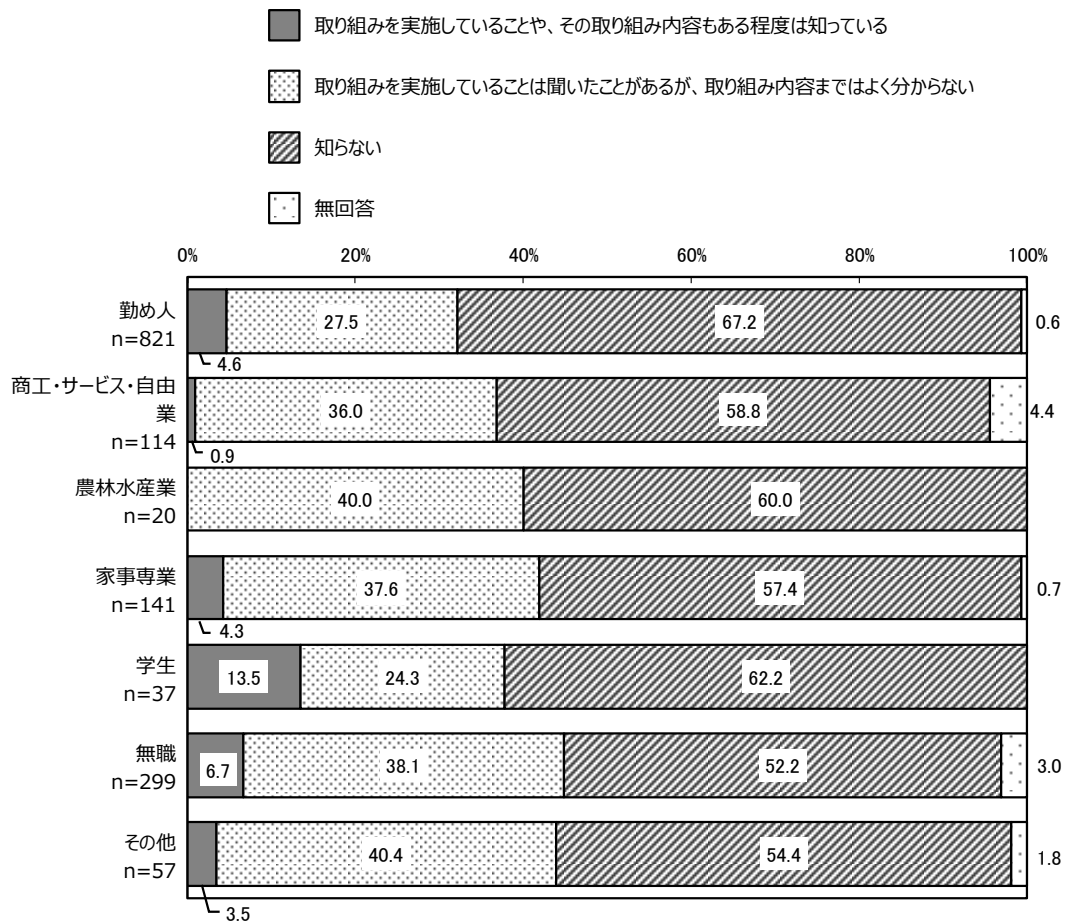


- 「取り組みを実施していることや、その取り組み内容もある程度は知っている」と「取り組みを実施していることは聞いたことがあるが、取り組み内容まではよく分からない」を合わせた『知っている』は、36.6%となった一方で、62.0%は「知らない」と回答している。2023（令和 5）年度との比較では、『知っている』は 3.7 ポイント増加となった。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、70 歳以上が 48.5%と最も高く、次いで 60 歳代が 40.9%となった。最も低い 30 歳代が 25.0%となり、最も高い 70 歳以上とは、23.5 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、無職の『知っている』が 44.8%と最も高く、次いで家事専業が 41.9%となった。

【年代別】

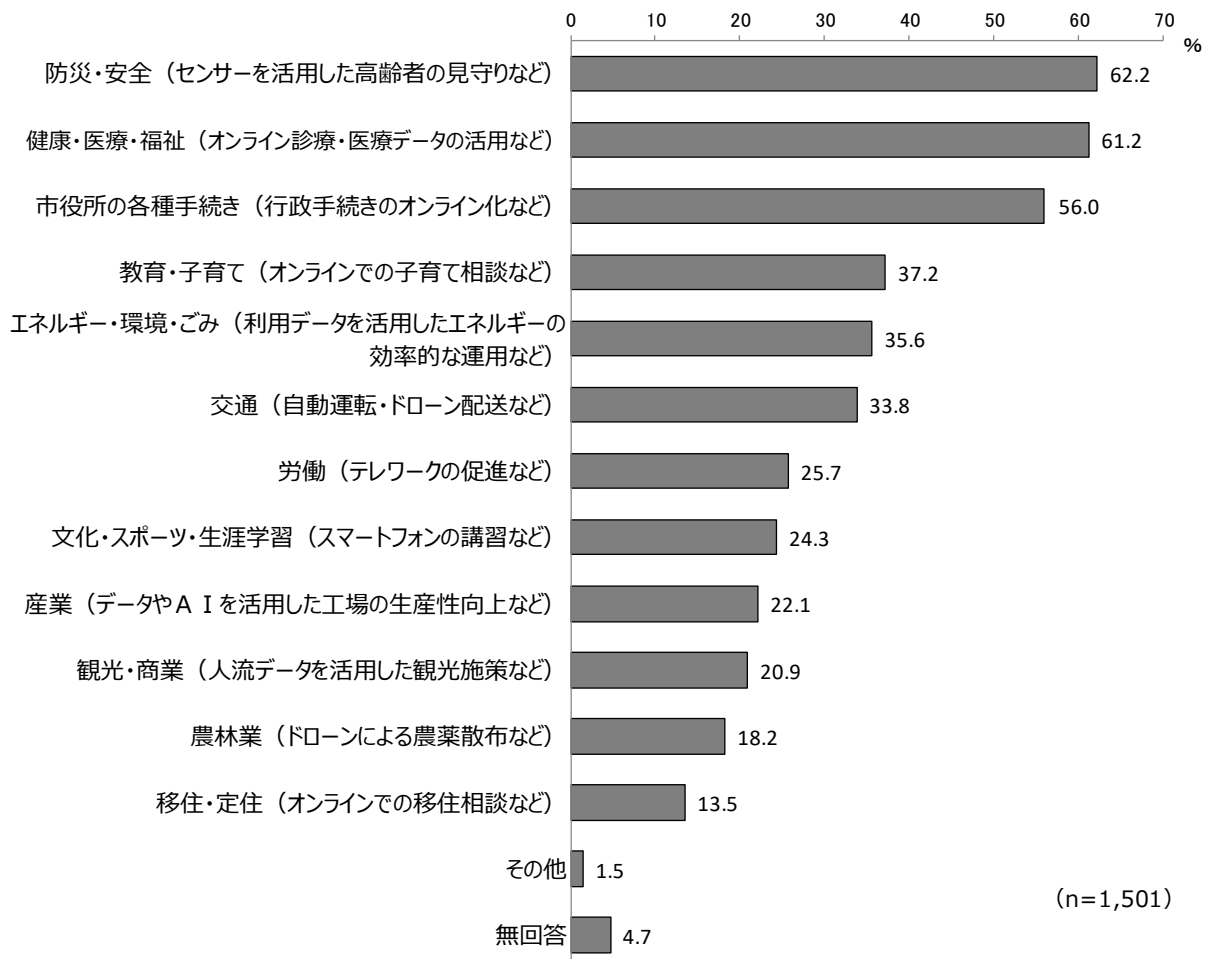


【職業別】



問 16 あなたは、「デジタルを活用したまちづくり」について、どのような分野での取り組みに期待しますか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）

「デジタルを活用したまちづくり」について期待する取り組みは「防災・安全（センサーを活用した高齢者の見守りなど）」が 62.2%



- 「防災・安全（センサーを活用した高齢者の見守りなど）」が 62.2%と最も高く、次いで「健康・医療・福祉（オンライン診療・医療データの活用など）」が 61.2%、「市役所の各種手続き（行政手続きのオンライン化など）」が 56.0%となった。
- 年代別でみると、50 歳以上の年代で「防災・安全（センサーを活用した高齢者の見守りなど）」が、18 歳～29 歳と 40 歳代で「健康・医療・福祉（オンライン診療・医療データの活用など）」がいずれも 6 割を超えて最も高くなった。30 歳代では「市役所の各種手続き（行政手続きのオンライン化など）」が 64.5%と最も高くなっている。
- 職業別でみると、「防災・安全（センサーを活用した高齢者の見守りなど）」が家事専業で 73.8%と最も高く、最も低い学生の 56.8%と 17.0 ポイントの差がみられた。また、「市役所の各種手続き（行政手続きのオンライン化など）」は、勤め人が 61.6%と最も高く、農林水産業の 35.0%と 26.6 ポイントの差がみられた。

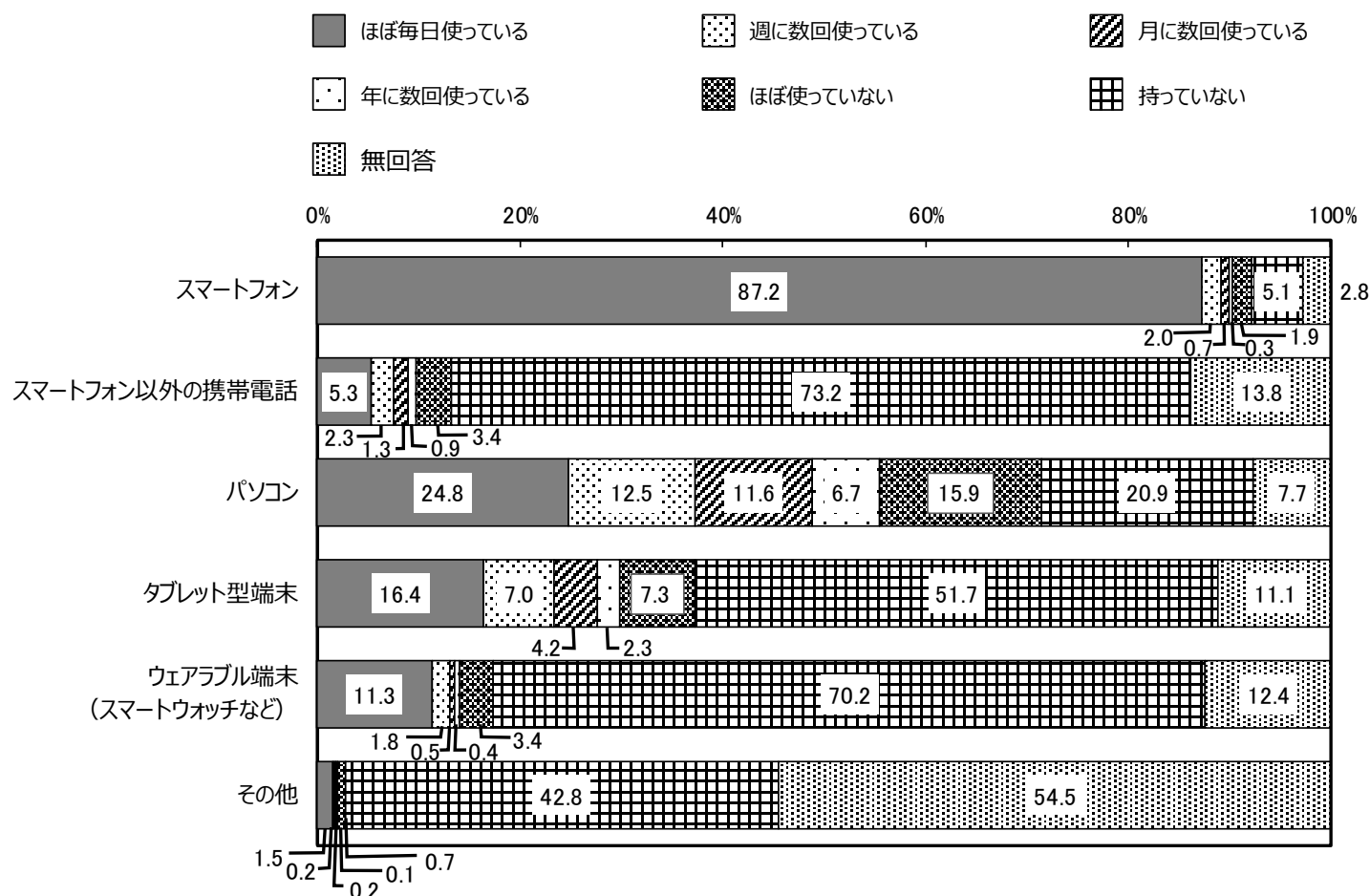
【年代別・職業別】

(単位：%)

		見守りなど	防災・安全（センサーを活用した高齢者の	医療データの活用など	健康・医療・福祉（オンライン診療・	市役所の各種手続き（行政手続きのオンライン化など）	相談など	教育・子育て（オンラインでの子育て	活用したエネルギーの効率的な運用など	エネルギー・環境・ごみ（利用データを	交通（自動運転・ドローン配送など）	労働（テレワークの促進など）	文化・スポーツ・生涯学習（スマートフォンの講習など）	産業（データやAIを活用した工場の生産性向上など）	観光・商業（人流データを活用した観光施策など）	農林業（ドローンによる農薬散布など）	移住・定住（オンラインでの移住相談など）	その他	無回答
年代	18歳～29歳 n=153	49.0	63.4	51.0	45.1	17.6	34.6	39.2	24.2	22.9	31.4	15.0	11.1	1.3	2.6				
	30歳代 n=172	51.7	54.7	64.5	58.7	30.2	37.8	36.6	15.7	24.4	19.2	16.3	12.8	0.6	1.7				
	40歳代 n=233	63.9	65.7	59.7	49.8	28.3	33.5	36.5	18.5	24.9	26.6	20.6	14.2	1.3	3.4				
	50歳代 n=304	62.8	59.2	61.2	27.6	36.5	35.5	24.0	24.3	25.0	20.4	18.8	14.5	1.6	2.3				
	60歳代 n=286	69.6	65.0	58.4	33.9	44.1	39.2	19.9	25.9	22.4	19.2	21.0	14.3	1.7	3.8				
	70歳以上 n=346	65.3	59.8	45.4	25.4	43.6	26.6	13.3	31.5	15.6	15.0	16.2	12.7	1.7	9.8				
職業	勤め人 n=821	59.0	60.4	61.6	41.7	33.1	37.8	31.3	21.9	24.5	23.5	19.7	13.8	1.3	2.2				
	商工・サービス・自由業 n=114	62.3	55.3	49.1	31.6	44.7	35.1	24.6	34.2	23.7	28.1	20.2	21.1	1.8	8.8				
	農林水産業 n=20	60.0	60.0	35.0	15.0	30.0	35.0	10.0	5.0	10.0	0.0	30.0	5.0	0.0	25.0				
	家事専業 n=141	73.8	61.7	46.8	37.6	41.1	29.1	25.5	26.2	19.1	20.6	17.7	14.9	0.7	6.4				
	学生 n=37	56.8	75.7	51.4	43.2	24.3	35.1	29.7	29.7	27.0	32.4	16.2	10.8	2.7	0.0				
	無職 n=299	63.9	63.5	49.8	30.4	36.8	28.4	11.4	27.1	17.4	11.7	12.7	10.4	1.3	7.4				
	その他 n=57	73.7	66.7	57.9	26.3	42.1	21.1	26.3	24.6	15.8	19.3	17.5	12.3	3.5	5.3				

問 17 あなたは、ご家庭で保有しているインターネットに接続できる情報通信機器（家族で共通の1台を使用している方は、あなたご自身の使用頻度）をどの程度使用していますか。各機器について、1～6のうちから1つずつ選び○を付けてください。

インターネットに接続できる情報通信機器について、スマートフォンを「ほぼ毎日使っている」人は 87.2%



- 「ほぼ毎日使っている」割合はスマートフォンが 87.2% と他の端末と比べて最も高く、次いでパソコンが 24.8% と続いた。
- 年代別でみると、スマートフォンを「ほぼ毎日使っている」割合は、全ての年代にかけて年齢が高くなるほど低い。
- 職業別でみると、パソコンを「ほぼ毎日使っている」割合は、学生が 59.5% と最も高く、反対に家事専業が 6.4% と最も低かった。

【年代別・職業別（スマートフォン）】

(単位：%)

		ほぼ毎日使 ている	週に数回使 ている	月に数回使 ている	年に数回使 ている	ほぼ使って いない	持っていない	無回答
年 代	18歳～29歳 n=153	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代 n=172	98.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6
	40歳代 n=233	94.8	0.9	0.0	0.4	0.4	1.7	1.7
	50歳代 n=304	92.8	0.7	0.7	0.3	1.6	3.3	0.7
	60歳代 n=286	89.2	2.4	0.7	0.0	1.4	4.5	1.7
	70歳以上 n=346	64.2	5.5	2.0	0.6	5.2	14.2	8.4
職 業	勤め人 n=821	96.7	0.5	0.2	0.2	0.2	1.6	0.5
	商工・サービス・自由業 n=114	79.8	3.5	2.6	0.0	2.6	7.0	4.4
	農林水産業 n=20	85.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0
	家事専業 n=141	80.9	4.3	0.0	0.0	2.8	7.8	4.3
	学生 n=37	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職 n=299	68.9	4.7	1.0	0.7	4.7	13.0	7.0
	その他 n=57	71.9	3.5	5.3	0.0	7.0	7.0	5.3

【年代別・職業別（スマートフォン以外の携帯電話）】

(単位：%)

		ほぼ毎日使 ている	週に数回使 ている	月に数回使 ている	年に数回使 ている	ほぼ使って いない	持っていない	無回答
年 代	18歳～29歳 n=153	6.5	2.0	2.6	1.3	5.2	79.7	2.6
	30歳代 n=176	2.9	1.2	0.6	1.2	1.7	85.5	7.0
	40歳代 n=234	4.7	1.7	0.9	0.9	4.7	77.3	9.9
	50歳代 n=266	6.6	1.6	1.0	0.7	3.0	79.3	7.9
	60歳代 n=283	4.2	1.0	1.4	0.7	2.4	71.7	18.5
	70歳以上 n=322	6.1	4.9	1.4	0.9	3.8	57.2	25.7
職 業	勤め人 n=773	5.6	1.6	1.0	0.6	3.8	79.2	8.3
	商工・サービス・自由業 n=123	7.0	1.8	0.9	0.0	4.4	65.8	20.2
	農林水産業 n=24	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	60.0	25.0
	家事専業 n=144	5.0	3.5	2.1	0.7	1.4	73.0	14.2
	学生 n=43	8.1	0.0	8.1	5.4	2.7	75.7	0.0
	無職 n=283	4.7	4.0	1.3	1.3	2.7	60.2	25.8
	その他 n=31	0.0	1.8	0.0	1.8	3.5	71.9	21.1

【年代別・職業別（パソコン）】

(単位：%)

		ほぼ毎日使 ている	週に数回使 ている	月に数回使 ている	年に数回使 ている	ほぼ使って いない	持っていない	無回答
年 代	18歳～29歳 n=153	35.3	17.6	14.4	5.9	7.2	19.0	0.7
	30歳代 n=176	23.8	14.0	12.2	12.8	16.9	17.4	2.9
	40歳代 n=234	26.2	15.0	13.3	6.0	18.5	15.0	6.0
	50歳代 n=266	29.3	10.5	12.8	6.6	19.4	18.4	3.0
	60歳代 n=283	25.2	13.3	11.9	5.9	19.2	17.5	7.0
	70歳以上 n=322	15.6	8.7	7.2	5.5	11.8	32.4	18.8
職 業	勤め人 n=773	27.2	13.4	14.4	7.2	16.4	17.9	3.5
	商工・サービス・自由業 n=123	37.7	9.6	7.9	2.6	16.7	17.5	7.9
	農林水産業 n=24	15.0	15.0	5.0	10.0	15.0	25.0	15.0
	家事専業 n=144	6.4	8.5	10.6	14.2	24.8	26.2	9.2
	学生 n=43	59.5	29.7	2.7	0.0	2.7	5.4	0.0
	無職 n=283	21.7	9.7	7.0	4.3	12.0	29.1	16.1
	その他 n=31	12.3	14.0	8.8	7.0	15.8	22.8	19.3

【年代別・職業別（タブレット型端末）】

(単位：%)

		ほぼ毎日使 ている	週に数回使 ている	月に数回使 ている	年に数回使 ている	ほぼ使って いない	持っていない	無回答
年 代	18歳～29歳 n=153	17.6	7.8	7.8	4.6	2.6	57.5	2.0
	30歳代 n=176	21.5	15.7	8.7	4.7	9.9	35.5	4.1
	40歳代 n=234	18.9	10.3	4.3	2.6	8.2	48.9	6.9
	50歳代 n=266	20.1	6.3	2.6	2.3	10.9	51.6	6.3
	60歳代 n=283	12.2	4.2	3.5	0.7	8.0	55.9	15.4
	70歳以上 n=322	11.6	3.2	2.3	1.4	4.0	55.5	22.0
職 業	勤め人 n=773	17.9	8.9	5.8	3.3	8.5	49.2	6.3
	商工・サービス・自由業 n=123	20.2	7.0	2.6	1.8	4.4	48.2	15.8
	農林水産業 n=24	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	60.0	25.0
	家事専業 n=144	14.9	4.3	6.4	2.8	10.6	51.1	9.9
	学生 n=43	21.6	16.2	5.4	0.0	2.7	54.1	0.0
	無職 n=283	12.7	3.7	0.3	0.7	4.3	56.5	21.7
	その他 n=31	12.3	0.0	0.0	0.0	5.3	64.9	17.5

【年代別・職業別（ウェアラブル端末）】

(単位：%)

		ほぼ毎日使っている	週に数回使っている	月に数回使っている	年に数回使っている	ほぼ使っていない	持っていない	無回答
年代	18歳～29歳 n=153	15.0	4.6	1.3	0.7	3.9	71.9	2.6
	30歳代 n=176	15.1	2.9	1.2	0.6	6.4	68.6	5.2
	40歳代 n=234	12.0	3.0	0.0	0.9	4.3	70.4	9.4
	50歳代 n=266	17.4	0.7	0.7	0.0	3.9	71.4	5.9
	60歳代 n=283	7.7	1.4	0.3	0.3	1.0	74.1	15.0
	70歳以上 n=322	4.9	0.6	0.0	0.3	2.3	66.2	25.7
職業	勤め人 n=773	15.2	2.3	0.6	0.4	4.4	70.4	6.7
	商工・サービス・自由業 n=123	7.9	0.0	0.9	0.9	4.4	66.7	19.3
	農林水産業 n=24	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	25.0
	家事専業 n=144	7.1	2.1	0.0	0.7	2.1	74.5	13.5
	学生 n=43	13.5	2.7	0.0	0.0	0.0	83.8	0.0
	無職 n=283	5.7	1.0	0.3	0.3	2.0	66.9	23.7
	その他 n=31	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	73.7	21.1

【年代別・職業別（その他）】

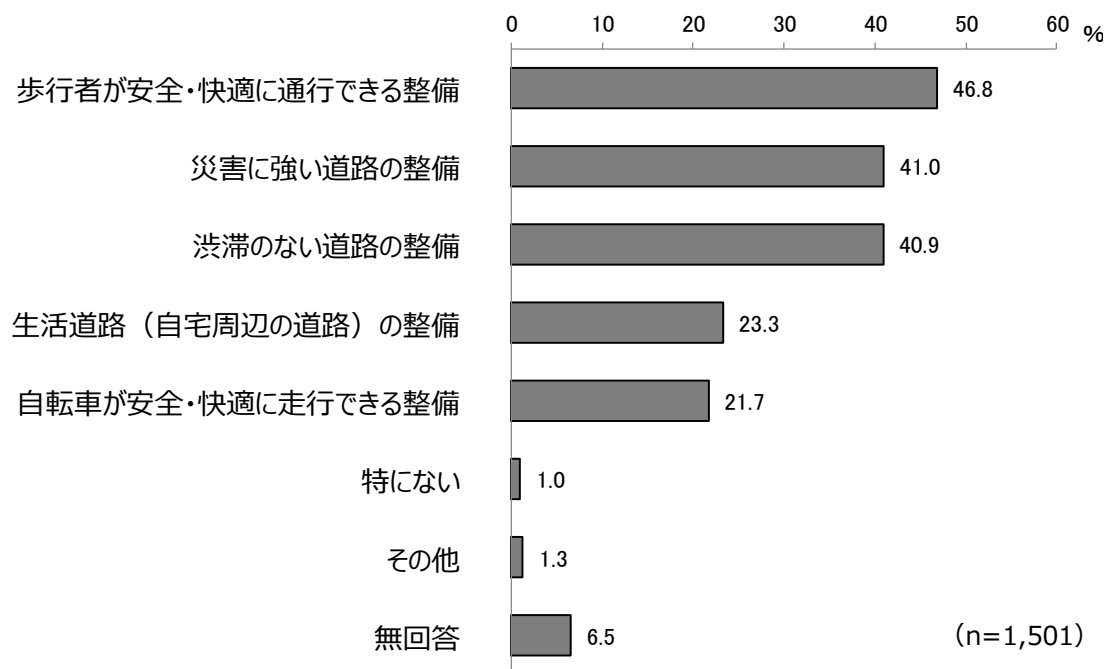
(単位：%)

		ほぼ毎日使っている	週に数回使っている	月に数回使っている	年に数回使っている	ほぼ使っていない	持っていない	無回答
年代	18歳～29歳 n=153	3.9	0.0	0.0	0.0	1.3	62.7	32.0
	30歳代 n=176	2.3	0.0	0.0	0.6	0.6	52.9	43.6
	40歳代 n=234	1.7	0.4	0.9	0.0	0.9	45.5	50.6
	50歳代 n=266	1.3	0.0	0.3	0.0	0.0	45.1	53.3
	60歳代 n=283	1.0	0.3	0.0	0.0	0.3	38.1	60.1
	70歳以上 n=322	0.6	0.3	0.0	0.0	1.2	30.1	67.9
職業	勤め人 n=773	1.9	0.2	0.4	0.0	0.5	47.7	49.2
	商工・サービス・自由業 n=123	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	28.1	71.1
	農林水産業 n=24	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.0	55.0
	家事専業 n=144	0.7	0.0	0.0	0.0	1.4	39.0	58.9
	学生 n=43	10.8	0.0	0.0	0.0	2.7	70.3	16.2
	無職 n=283	0.7	0.3	0.0	0.3	0.3	35.8	62.5
	その他 n=31	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	36.8	61.4

3-6 みちづくりについて

問 18 あなたは、道路整備において何を求めますか。（2つまで○を付けてください）

道路整備において「歩行者が安全・快適に通行できる整備」を求める人は 46.8%



- 「歩行者が安全・快適に通行できる整備」を求める人は 46.8%と最も高く、次いで「災害に強い道路の整備」が 41.0%、「渋滞のない道路の整備」が 40.9%となった。
- 年代別でみると、18 歳～29 歳、30 歳代では「渋滞の無い道路の整備」が最も高く、50 歳代以上では「歩行者が安全・快適に通行できる整備」が最も高い。
- 行政区別でみると、中央区・浜名区では「歩行者が安全・快適に通行できる整備」が最も高く、天竜区では、「生活道路の整備」が最も高い。

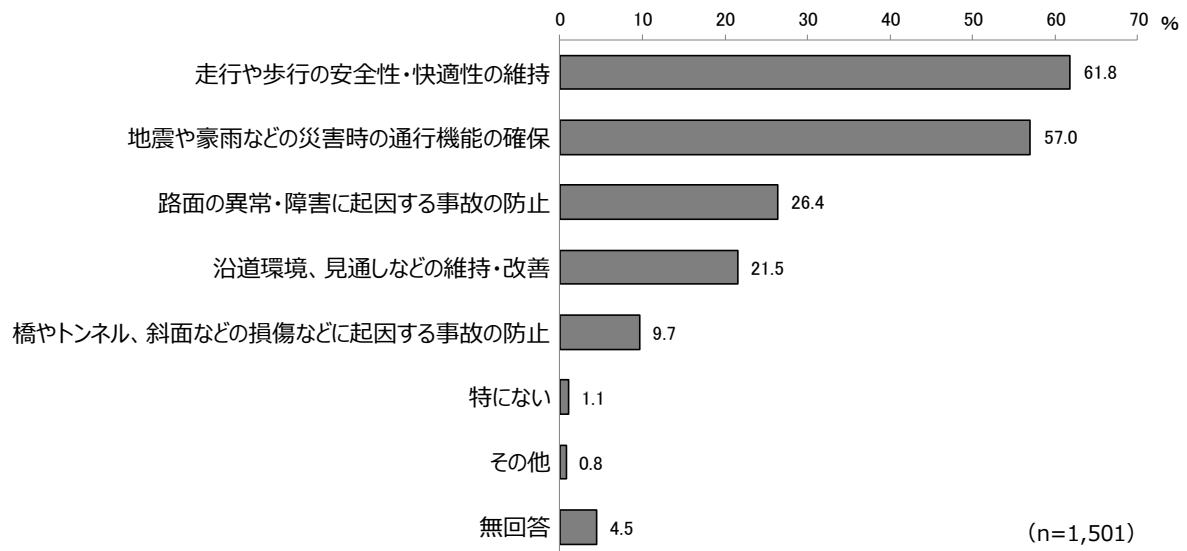
【年代別・行政区別】

(単位：%)

		歩行者が安全・快適に通行できる整備	災害に強い道路の整備	渋滞のない道路の整備	生活道路（自宅周辺の道路）の整備	自転車及安全・快適に走行できる整備	特 に な い	そ の 他	無 回 答
年 代	18歳～29歳 n=153	39.9	48.4	54.2	18.3	19.6	2.0	0.0	2.0
	30歳代 n=172	47.7	40.1	54.1	19.8	16.3	0.6	1.2	3.5
	40歳代 n=233	45.9	45.1	42.1	16.3	22.7	0.9	2.1	8.2
	50歳代 n=304	44.7	41.1	44.7	21.4	26.6	0.7	2.0	3.6
	60歳代 n=286	48.6	43.0	39.9	23.8	21.7	1.0	1.4	6.3
	70歳以上 n=346	50.6	34.1	25.7	32.9	20.5	1.2	0.9	11.0
行 政 区	中央区 n=1,142	46.9	40.5	42.7	21.8	21.5	1.1	1.5	6.2
	浜名区 n=310	49.4	43.9	34.8	25.5	23.9	0.6	1.0	5.8
	天竜区 n=43	27.9	34.9	37.2	41.9	11.6	2.3	0.0	16.3

問 19 あなたは、道路の維持管理において何を求めますか。（2つまで○を付けてください）

道路の維持管理において「走行や歩行の安全性・快適性の維持」を求める人は 61.8%



- 「走行や歩行の安全性・快適性の維持」を求める人は 61.8%と最も高く、次いで「地震や豪雨などの災害時の通行機能の確保」が 57.0%となった。
- 年代別でみると、すべての年代で「走行や歩行の安全性・快適性の維持」が最も高く、60 歳代を除く年代で、6 割を超えている。
- 行政区別でみると、中央区・天竜区では、「走行や歩行の安全性・快適性の維持」が最も高く、浜名区では、「地震や豪雨などの災害時の通行機能の確保」が最も高い。

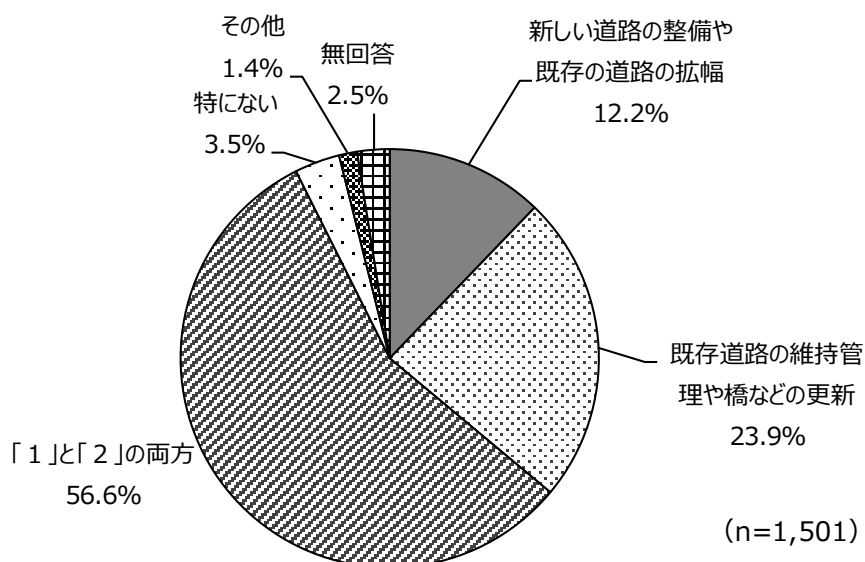
【年代別・行政区別】

(単位：％)

		走行 や歩行 の安全 性・快 適性 の維持	地震 や豪雨 などの 災害時 の通行 機能の 確保	路面 の異常 ・障害 に起因 する事 故の防 止	沿道 環境、 見通し などの 維持・ 改善	橋や トンネ ル、斜 面など の損傷 などに 起因 する事 故の防 止	特 に な い	そ の 他	無 回 答
年 代	18歳～29歳 n=153	60.8	56.9	24.2	21.6	12.4	2.6	0.0	0.7
	30歳代 n=172	66.9	59.3	19.2	26.7	8.7	0.6	0.6	0.6
	40歳代 n=233	60.9	60.1	24.0	20.2	9.4	0.9	1.3	6.0
	50歳代 n=304	62.8	60.5	28.3	20.7	10.2	0.7	1.0	2.3
	60歳代 n=286	59.8	57.7	33.9	21.7	9.4	0.7	1.0	4.2
	70歳以上 n=346	61.8	50.6	24.9	20.5	9.0	1.7	0.6	8.7
行 政 区	中央区 n=1,142	63.8	57.3	25.7	21.2	8.6	1.1	0.6	4.2
	浜名区 n=310	56.1	58.7	29.7	23.9	11.6	1.0	1.3	3.5
	天竜区 n=43	53.5	39.5	20.9	14.0	23.3	2.3	2.3	16.3

問 20 あなたは、今後の道路整備の方向性として何が重要だと思いますか。
(1 つだけ○を付けてください)

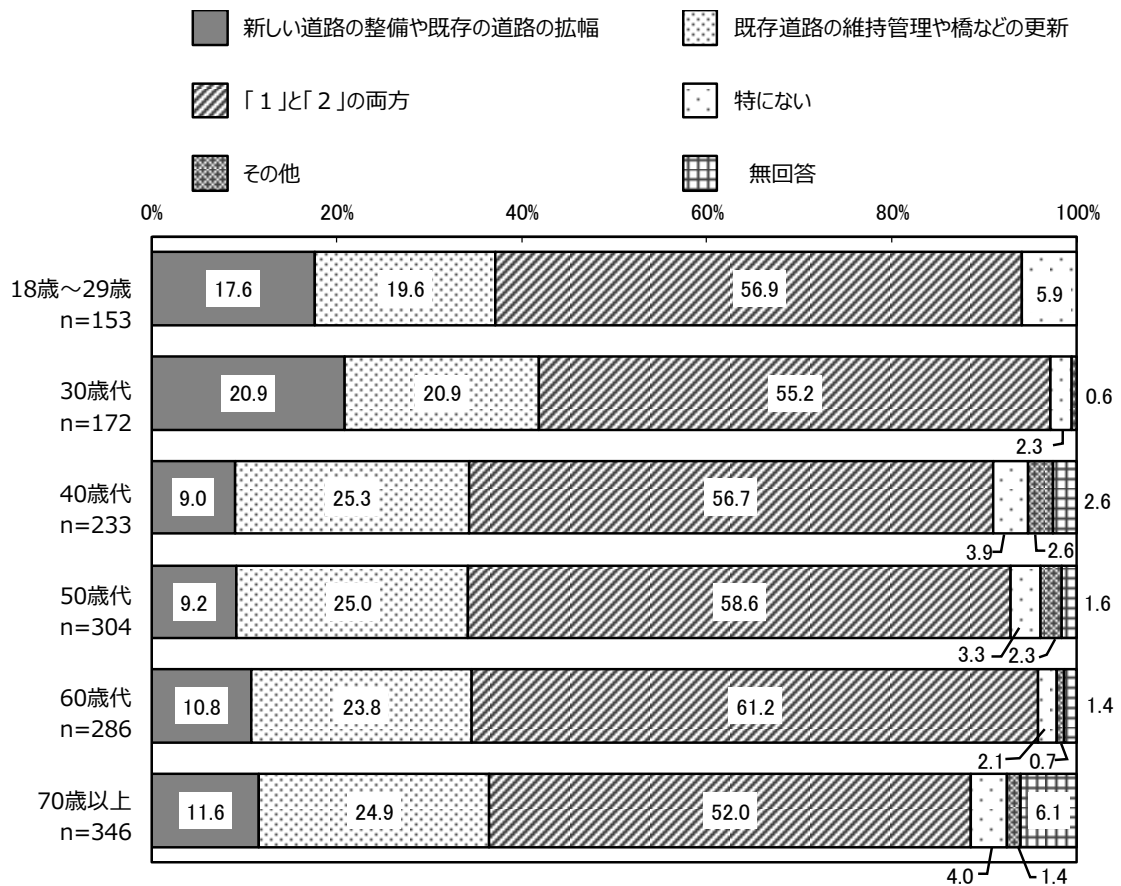
今後の道路整備の方向性として「新しい道路の整備や既存の道路の拡幅」と「既存道路の維持管理や橋などの更新」のどちらも重要だと思う人は 56.6%



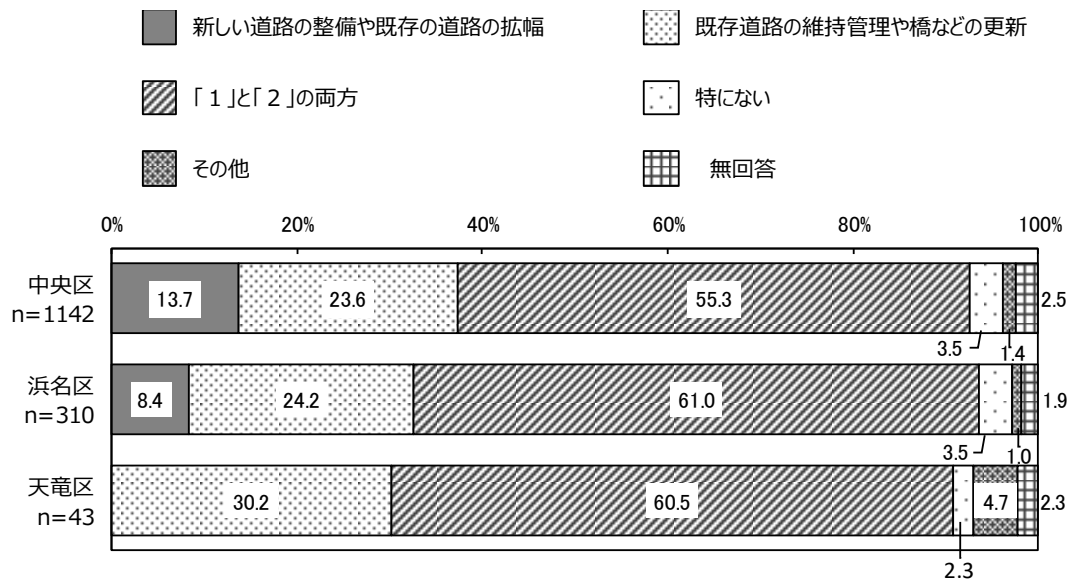
※「1」は「新しい道路の整備や既存の道路の拡幅」を、「2」は「既存道路の維持管理や橋などの更新」を示す。

- 「新しい道路の整備や既存の道路の拡幅」と「既存道路の維持管理や橋などの更新」の両方が 56.6%と最も高く、次いで「既存道路の維持管理や橋などの更新」のみが 23.9%と続く。
- 年代別でみると、すべての年代で「新しい道路の整備や既存の道路の拡幅」と「既存道路の維持管理や橋などの更新」の両方の割合が最も高くなった。「新しい道路の整備や既存の道路の拡幅」のみは 30 歳代で 20.9%と他の年代に比べ高い数値となった。
- 行政区別でみると、すべての区において、「新しい道路の整備や既存の道路の拡幅」と「既存道路の維持管理や橋などの更新」の両方の割合が最も高くなった。

【年代別】



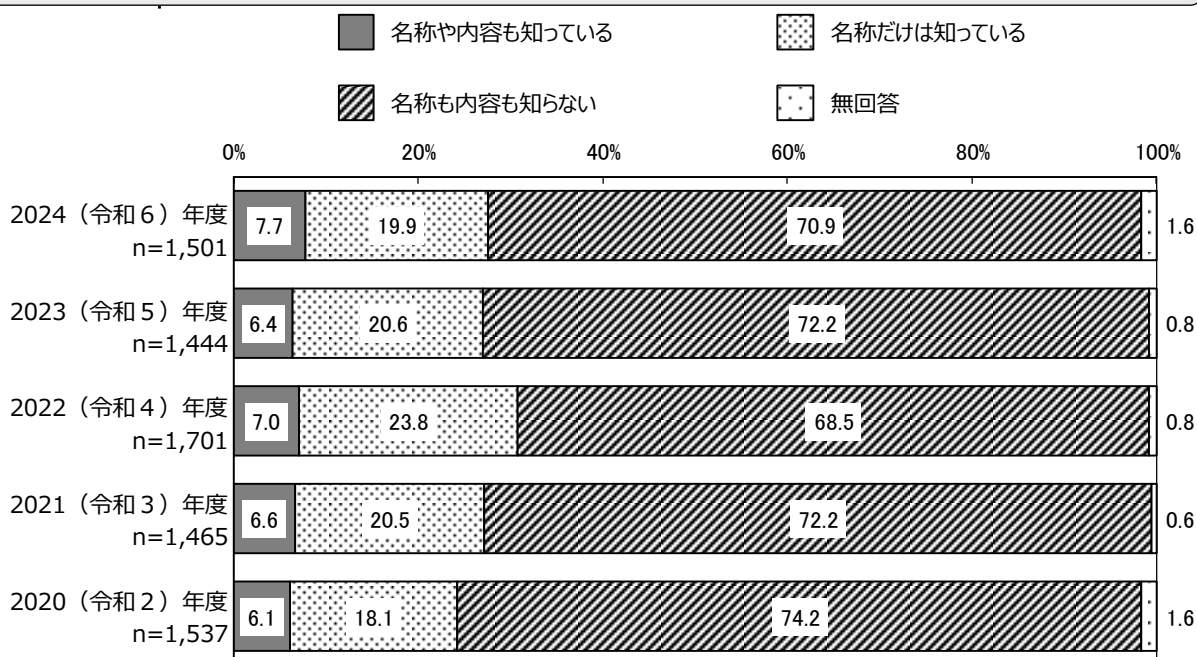
【行政区別】



3-7 FSC森林認証について

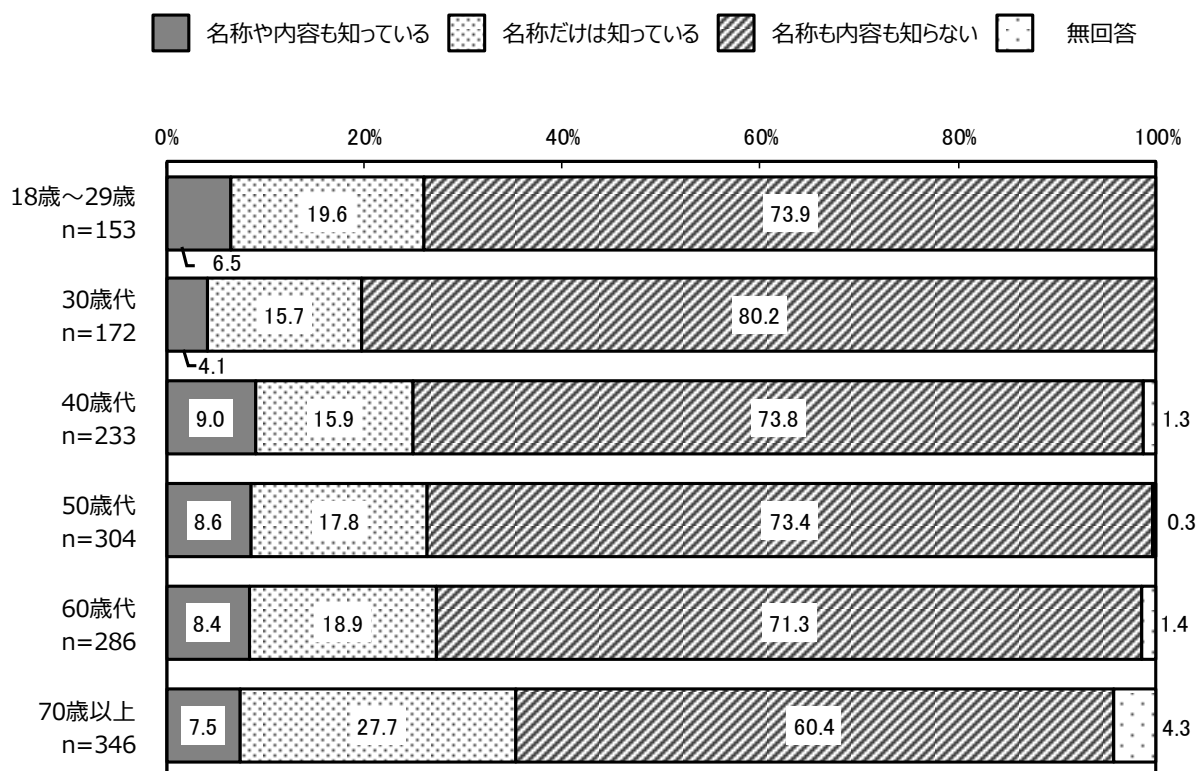
問 21 あなたは「FSC森林認証※」をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）
 ※「FSC森林認証」とは森林が適切に管理されているかを、世界基準に沿って審査、認証する仕組みです。

「FSC森林認証」を『知っている』人は27.6%

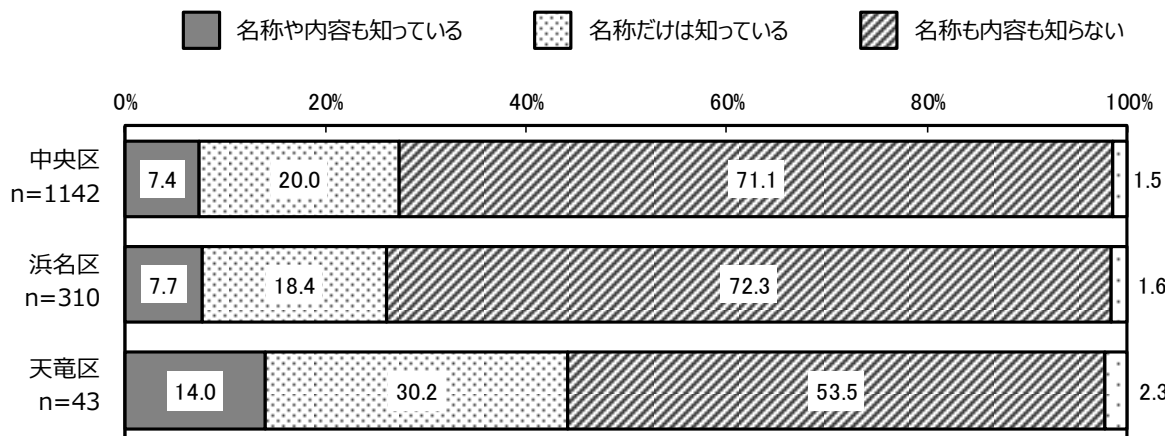


- 「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は27.6%となり、「名称も内容も知らない」の70.9%を43.3ポイント下回った。2023（令和5）年度との比較では、『知っている』は0.6ポイント増加となった。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、70歳以上が35.2%と最も高く、次いで60歳代が27.3%となった。最も低い30歳代が19.8%となり、最も高い70歳以上とは、15.4ポイントの差がみられた。
- 行政区別でみると、天竜区の『知っている』が44.2%と最も高い。次いで中央区が27.4%、浜名区が26.1%となった。

【年代別】

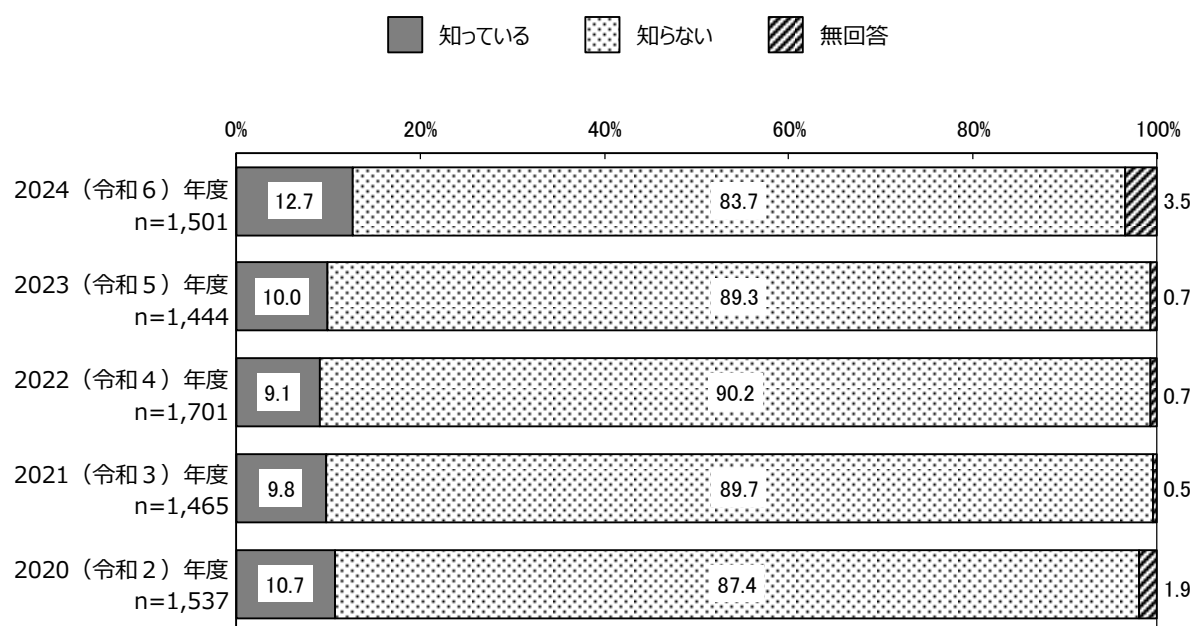


【行政区別】



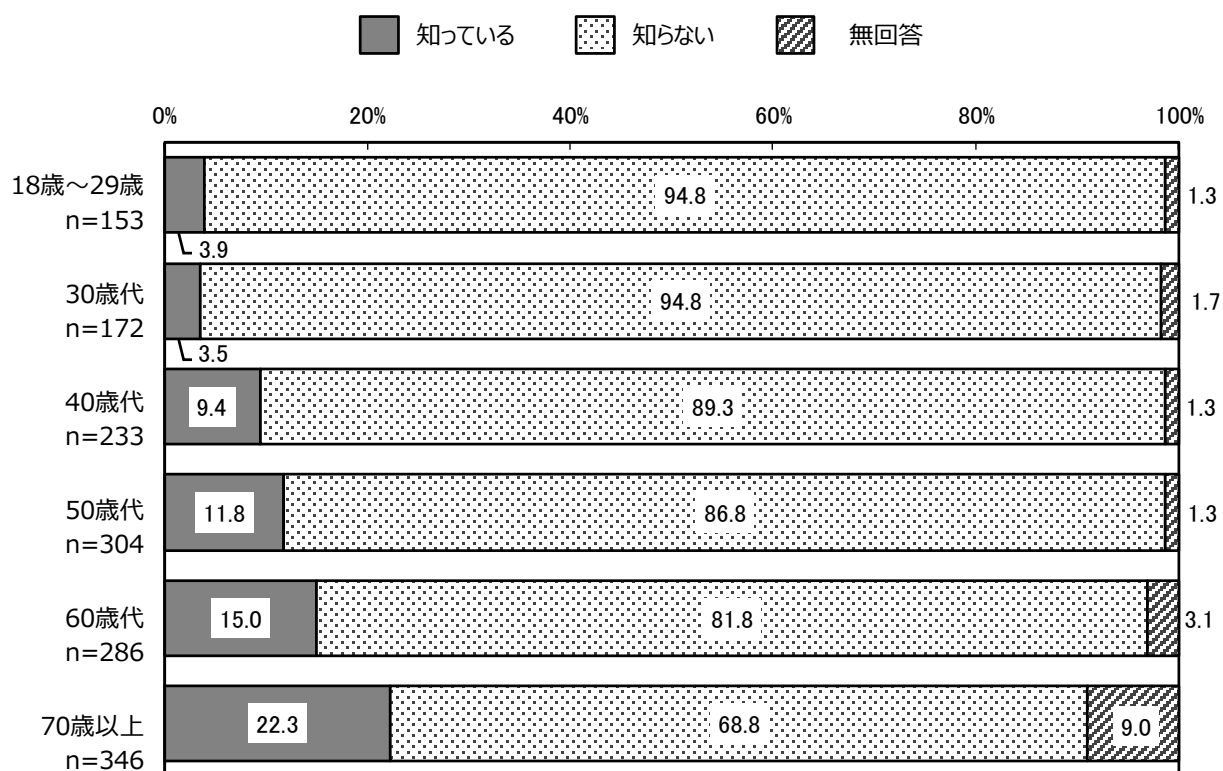
問 22 あなたは、浜松市が「F S C森林認証」の森林を市町村別で最も広い面積
 （約 49,703ha※）を有していることをご存じですか。（1 つだけ○を付けてください）
 ※2024（令和6）年4月1日現在

浜松市に市町村別で最も広い面積の「F S C森林認証」の森林があることを「知っている」
 人は 12.7%

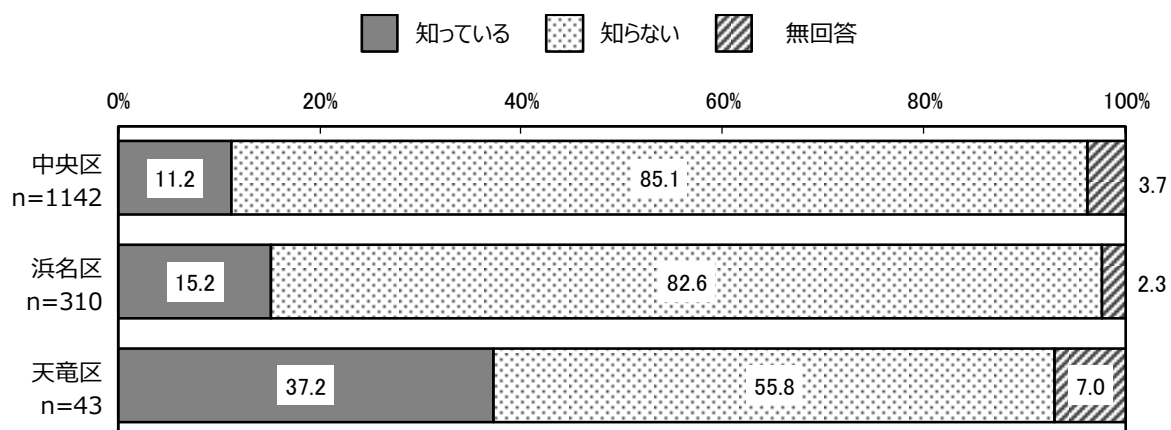


- 「知っている」が 12.7%となり、「知らない」の 83.7%を 71.0 ポイント下回った。2023（令和5）年度との比較では、「知っている」は 2.7 ポイント増加となった。
- 年代別でみると、「知っている」の割合は、70 歳以上が 22.3%と最も高く、次いで 60 歳代が 15.0%となった。最も低い 30 歳代が 3.5%となり、最も高い 70 歳以上とは、18.8 ポイントの差がみられた。
- 行政区別でみると、天竜区の「知っている」が 37.2%と最も高い。次いで浜名区が 15.2%、中央区が 11.2%となった。

【年代別】

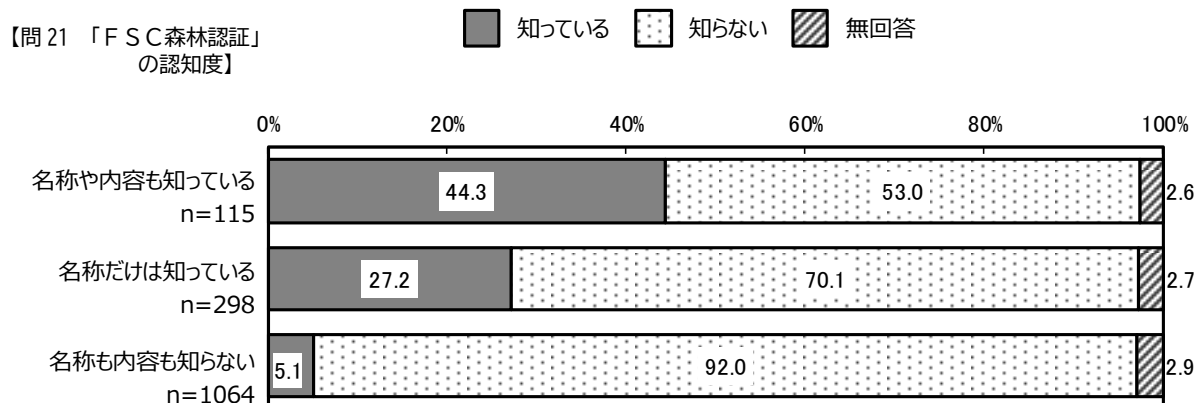


【行政区別】



【問 21 と問 22 の設問間クロス集計】

【問 22 浜松市に市町村別で最大面積の「F S C 森林認証」の森林があることの認知度】



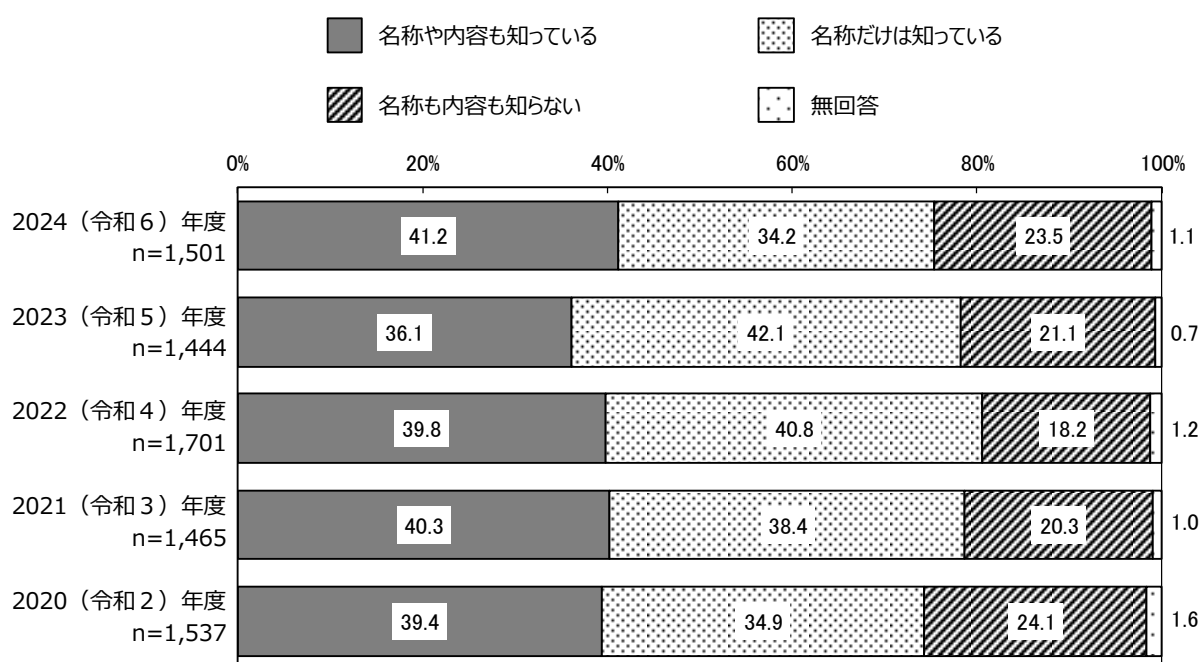
3-8 ユニバーサルデザイン・男女共同参画について

問 23 あなたは、「ユニバーサルデザイン※」を知っていますか。

(1つだけ○を付けてください)

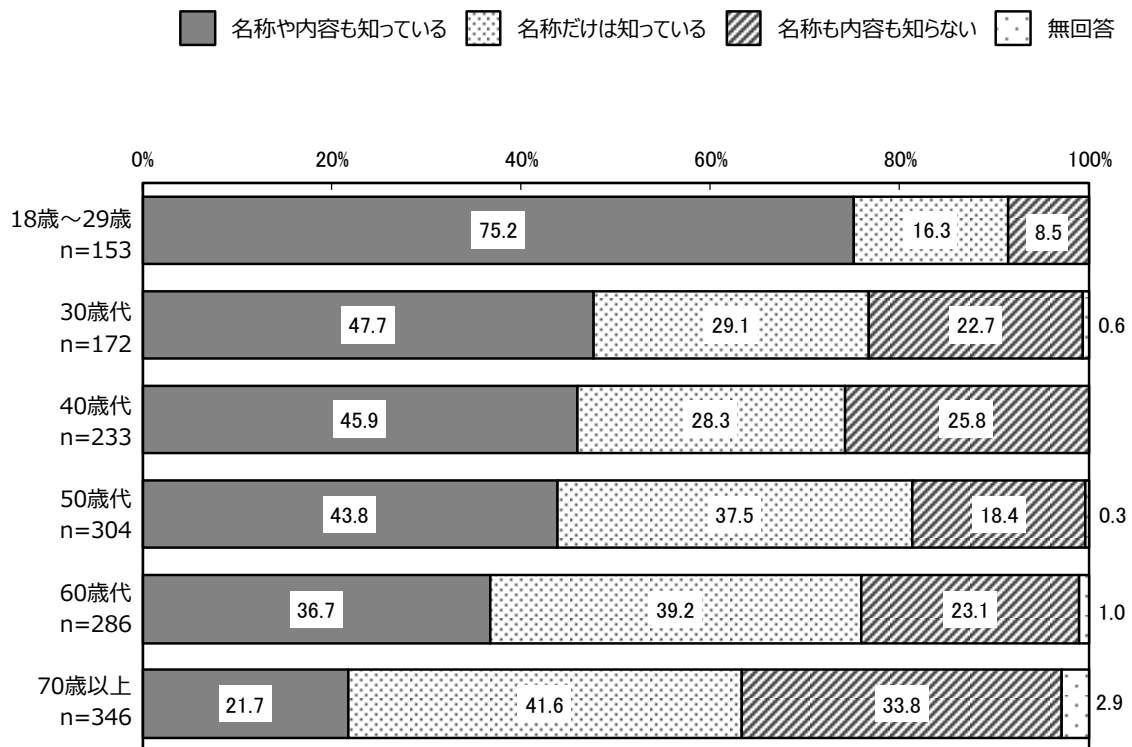
※ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、能力、国籍などに関係なく、誰もが安全、安心で快適な暮らしができるように「人づくり」や「ものづくり」、「環境づくり」を行っていこうとする考え方のことです。

「ユニバーサルデザイン」を『知っている』人は 75.4%

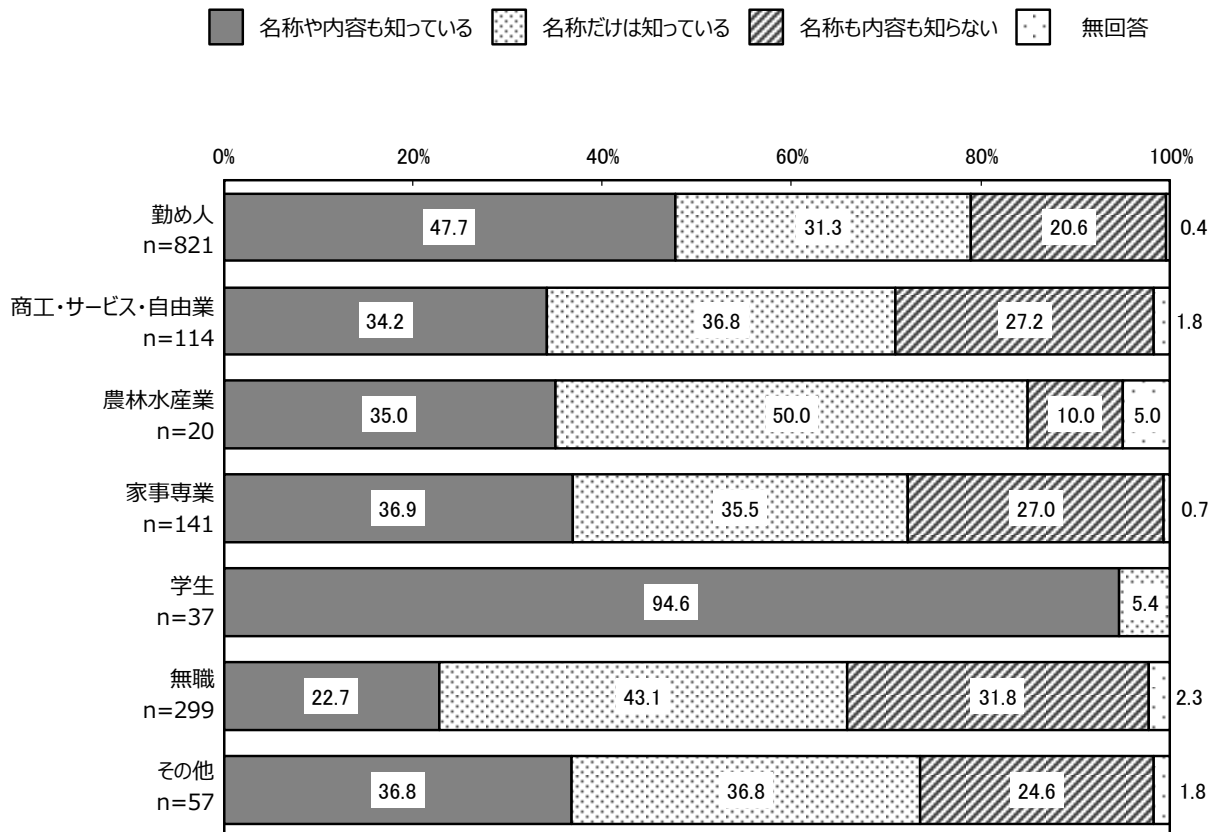


- 「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は 75.4% となり、「名称も内容も知らない」の 23.5% を 51.9 ポイント上回った。2023 (令和5) 年度との比較では、『知っている』は 2.8 ポイント減少したものの、「名称や内容も知っている」は 5.1 ポイント増加し、過去5年間で最も高い数値となった。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、18 歳～29 歳が 91.5% と最も高く、次いで 50 歳代が 81.3% となった。最も低い 70 歳以上が 63.3% となり、最も高い 18 歳～29 歳とは、28.2 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、『知っている』の割合は、学生が 100.0% と最も高く、次いで農林水産業が 85.0%、勤め人が 79.0% となった。最も低い無職が 65.8% となり、最も高い学生とは 34.2 ポイントの差がみられた。

【年代別】



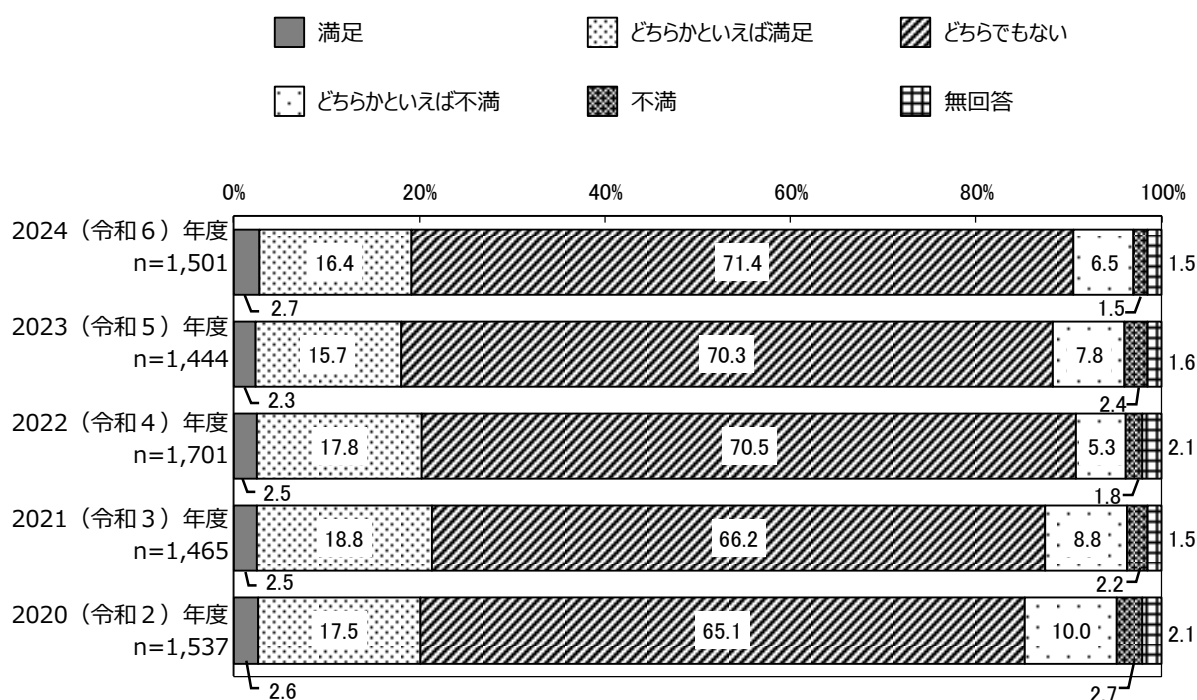
【職業別】



問 24 あなたは、浜松市のユニバーサルデザインによるまちづくり※についてどのように感じていますか。（1 つだけ○を付けてください）

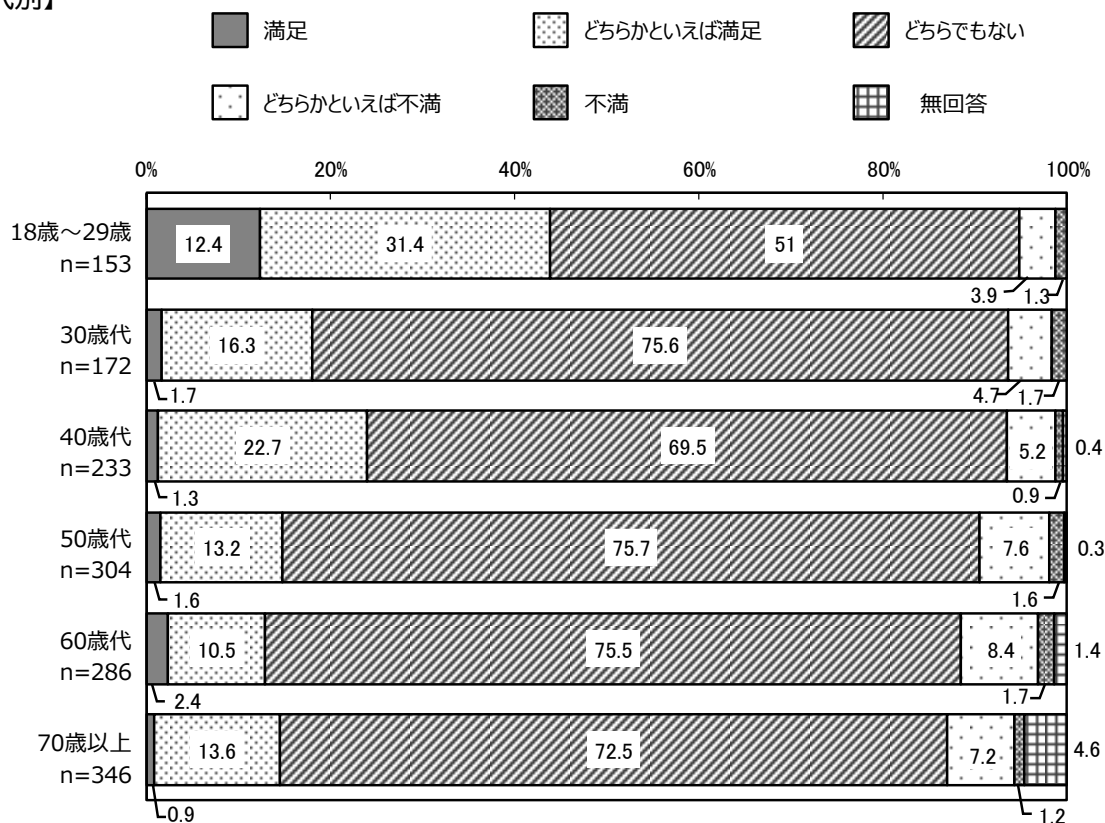
※浜松市では、施設や道路などにユニバーサルデザインを取り入れた環境を整備するとともに、市政情報や防災情報などの身近な生活情報を誰もが容易に受け取れるよう、さまざまな取り組みを行っています。

浜松市のユニバーサルデザインによるまちづくりについて『満足している』人は 19.1%

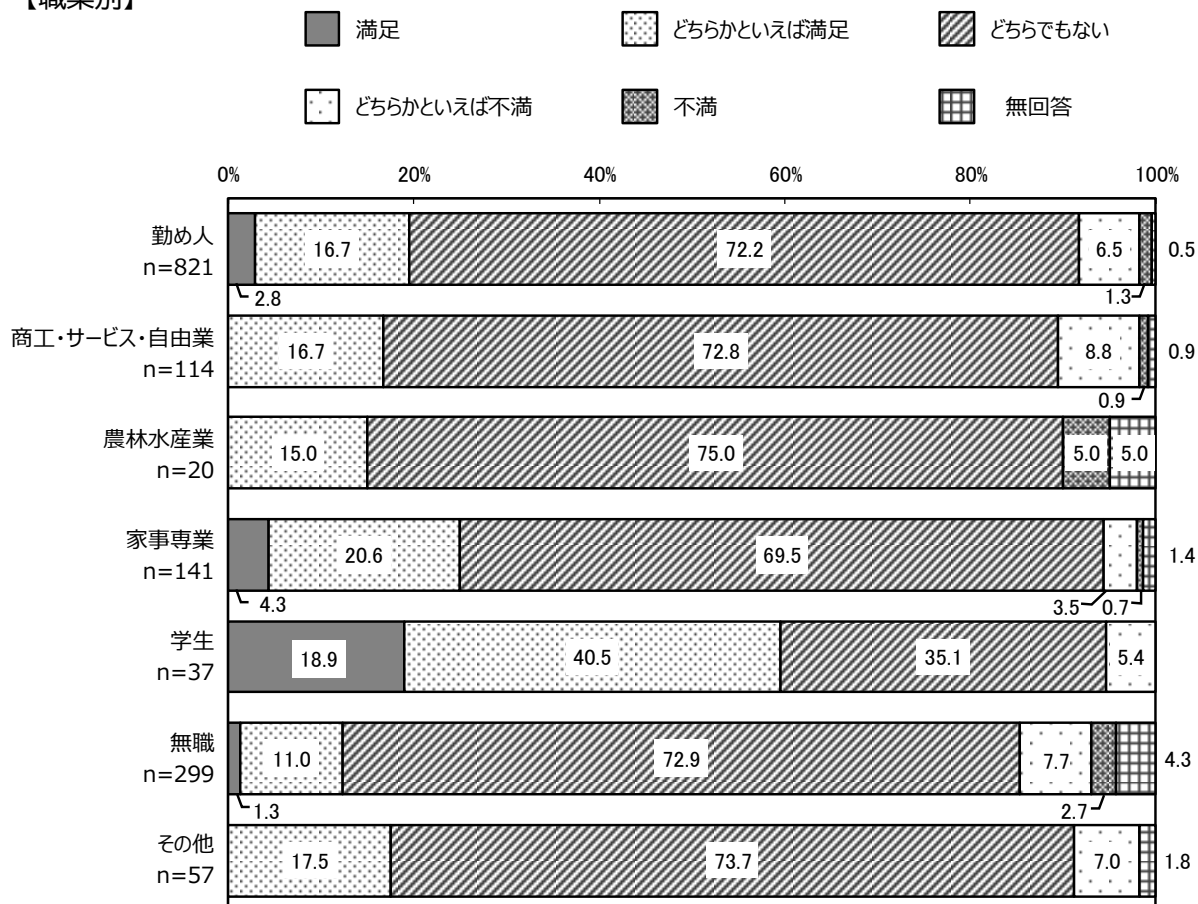


- 「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』は 19.1% となった。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満である』は 8.0% となり、『満足している』が『不満である』を 11.1 ポイント上回った。一方で「どちらでもない」は 71.4% を占めた。2023（令和5）年度との比較では、『満足している』が 1.1 ポイント増加した。
- 年代別でみると、『満足している』の割合は、18 歳～29 歳が 43.8% と最も高く、次いで 40 歳代が 24.0% となった。最も低い 60 歳代が 12.9% となり、最も高い 18 歳～29 歳とは、30.9 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、『満足している』の割合は、学生が 59.4% と最も高く、次いで家事専業が 24.9% となった。最も低い無職が 12.3% となり、最も高い学生とは、47.1 ポイントの差がみられた。

【年代別】

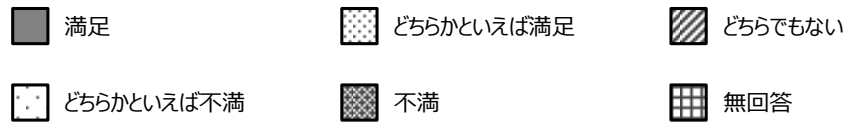


【職業別】

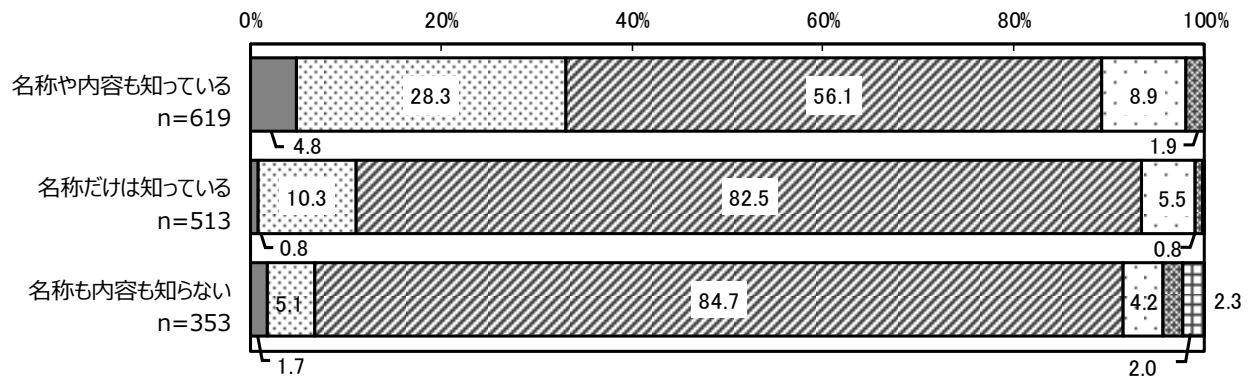


【問 23 と問 24 の設問間クロス集計】

【問 24 浜松市のユニバーサルデザインによるまちづくりについて】



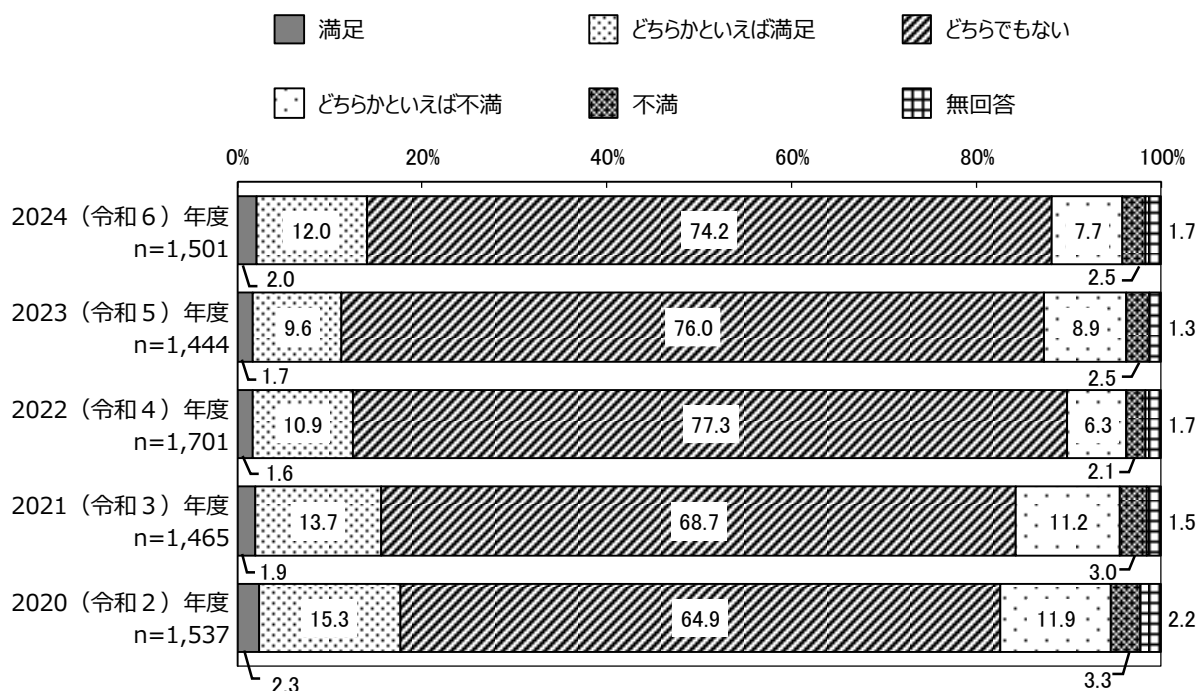
【問 23 ユニバーサル
デザインの認知度】



問 25 あなたは、浜松市の男女共同参画社会の実現に向けた取り組み※についてどのように感じていますか。（1 つだけ○を付けてください）

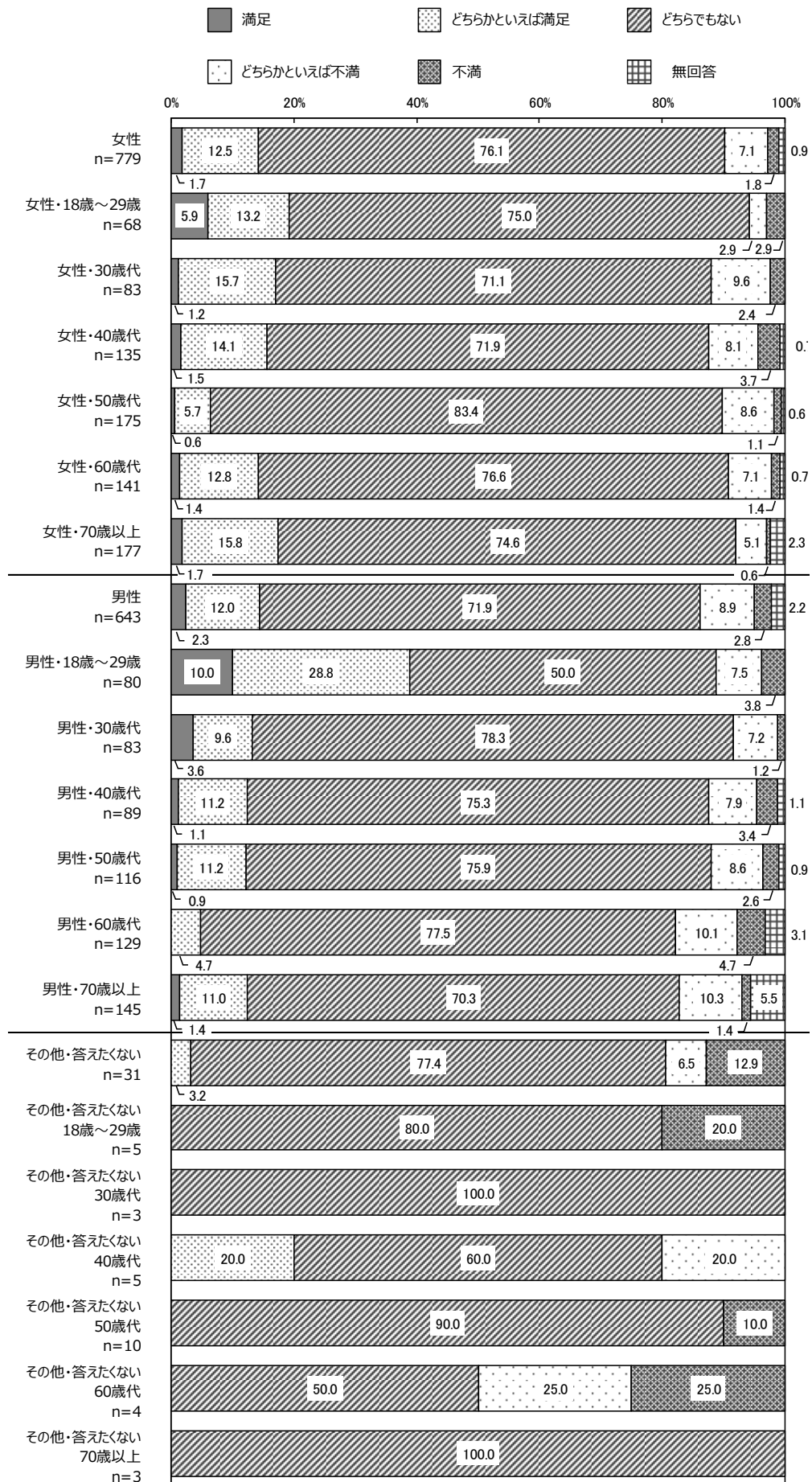
※浜松市では、男女共同参画を推進するための啓発講座や人材・団体育成支援、情報発信、相談事業など、さまざまな取り組みを行っています。

浜松市の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて『満足している』人は 14.0%



- 「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』は 14.0% となった。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満である』は 10.2% となり、『満足している』が『不満である』を 3.8 ポイント上回った。一方で「どちらでもない」は 74.2% を占めた。2023（令和5）年度との比較では、『満足している』は 2.7 ポイント増加、『不満である』は 1.2 ポイント減少、「どちらでもない」は 1.8 ポイント減少となった。
- 性年代別でみると、『満足している』は女性では 18 歳～29 歳が 19.1%、男性では 18 歳～29 歳が 38.8% と他の年代よりも高く、同じ 18 歳～29 歳では男性の方が女性よりも 19.7 ポイント高かった。女性では 18 歳～29 歳から 50 歳代にかけて、男性では 18 歳～29 歳から 60 歳代にかけて、年齢が高くなるほど『満足している』割合が下がった。

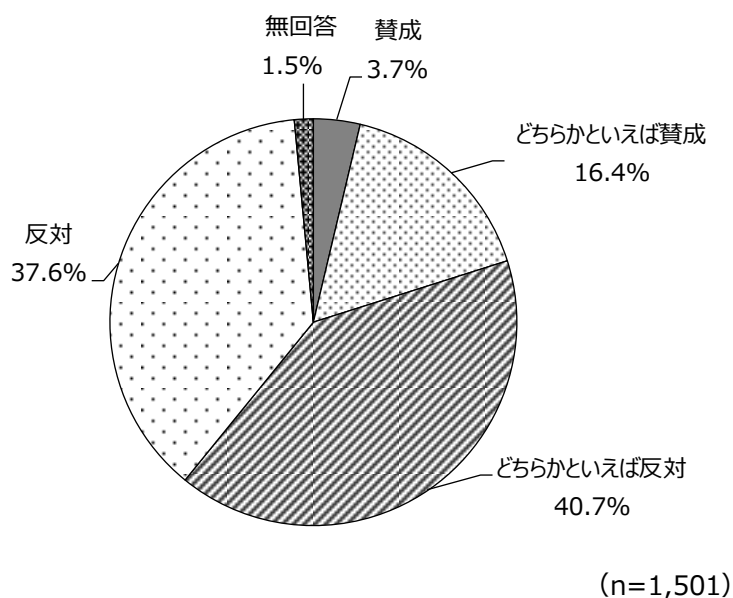
【性年代別】



問 26 男女共同参画に関わる意識の変化についてお聞きます。

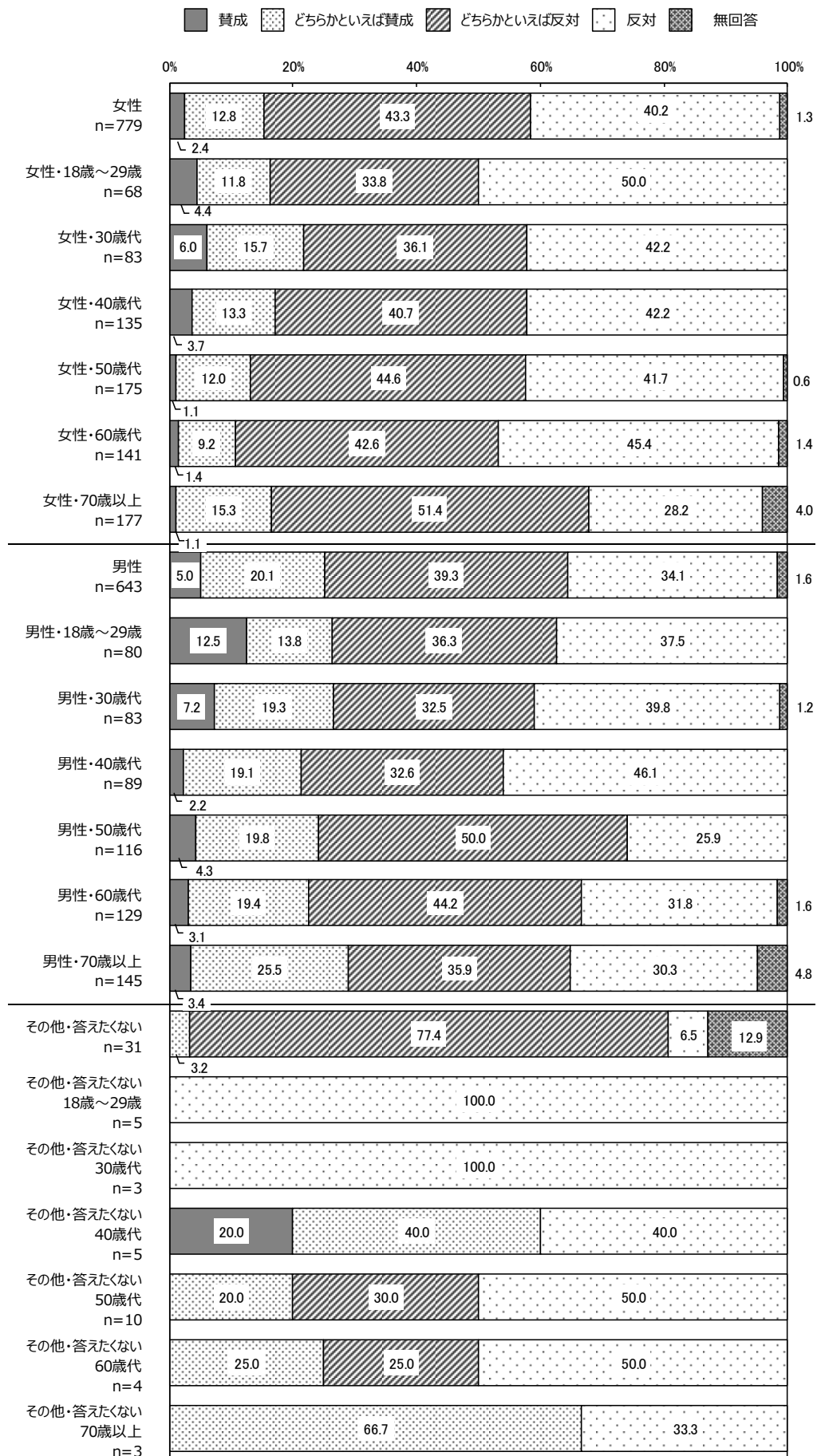
あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を
固定的に考えることについて、どのように思いますか。(1つだけ○を付けてください)

男女の役割を固定的に考えることについて『反対している』人は 78.3%



- 「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた『反対している』は 78.3%となり、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた『賛成している』の 20.1%を 58.2 ポイント上回った。
- 性年代別でみると、『賛成している』は女性では 30 歳代が 21.7%、男性では 70 歳以上が 28.9%で他の年代と比較して最も高かった。一方で、『反対している』は女性では 60 歳代が 88.0%、男性では 40 歳代が 78.7%で他の年代と比較して最も高かった。

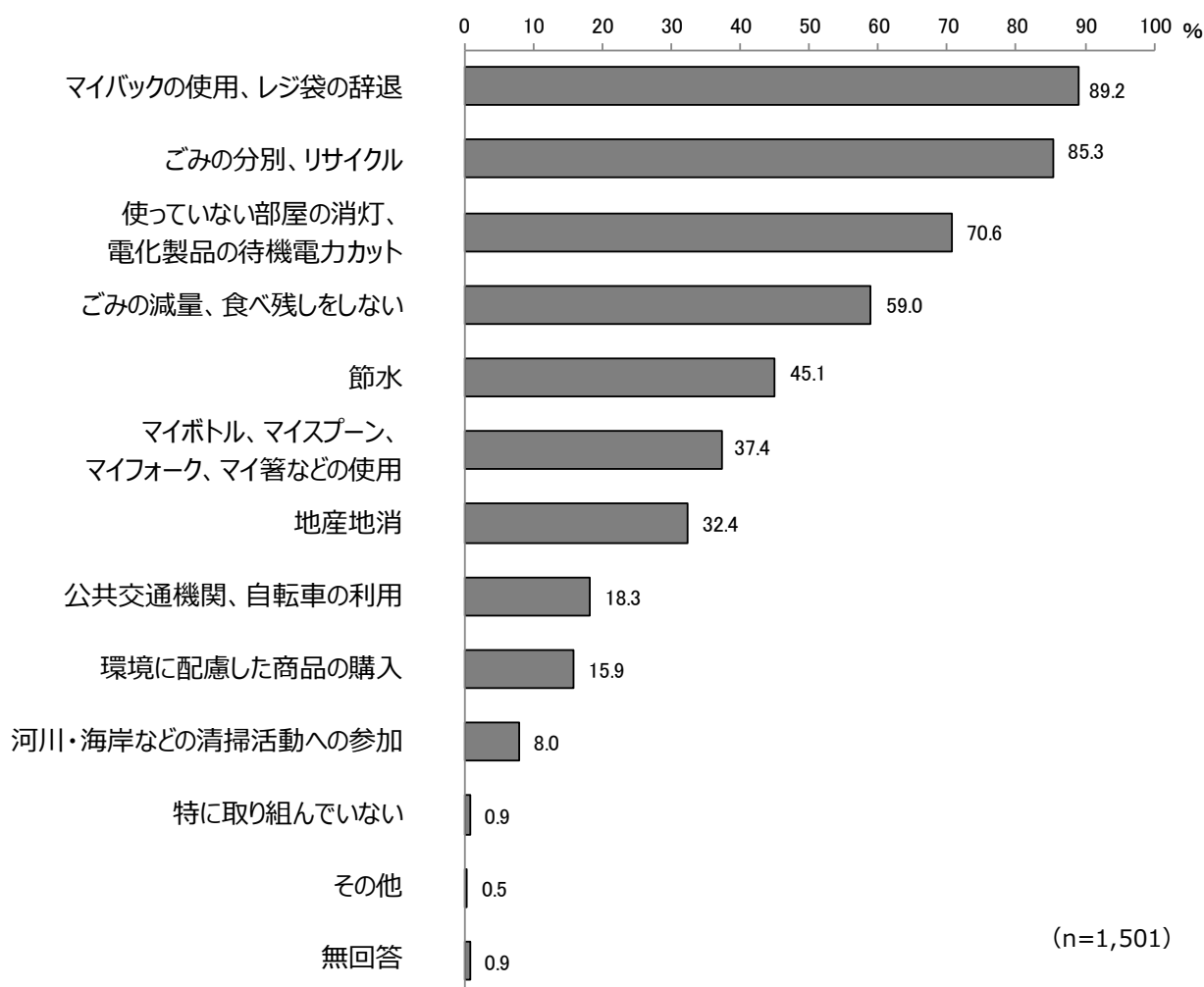
【性年代別】



3-9 環境活動の実践について

問 27 あなたは、日常生活でどのような環境にいい行動を実践していますか。
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

日常生活で環境にいい行動として「マイバックの使用、レジ袋の辞退」を実践している人は
89.2%



- 「マイバックの使用、レジ袋の辞退」が 89.2%と最も高く、次いで「ごみの分別、リサイクル」が 85.3%、「使っていない部屋の消灯、電化製品の待機電力カット」が 70.6%となった。
- 年代別でみると、「マイバックの使用、レジ袋の辞退」「ごみの分別、リサイクル」「使っていない部屋の消灯、電化製品の待機電力カット」はいずれも 60 歳代で最も高く、30 歳代以下では相対的に低い。
- 職業別でみると、「マイバックの使用、レジ袋の辞退」を含む 7 項目において、家事専業が最も高い。一方で、「節水」は勤め人が 39.7%と最も低く、他の職業と比べて差がみられた。

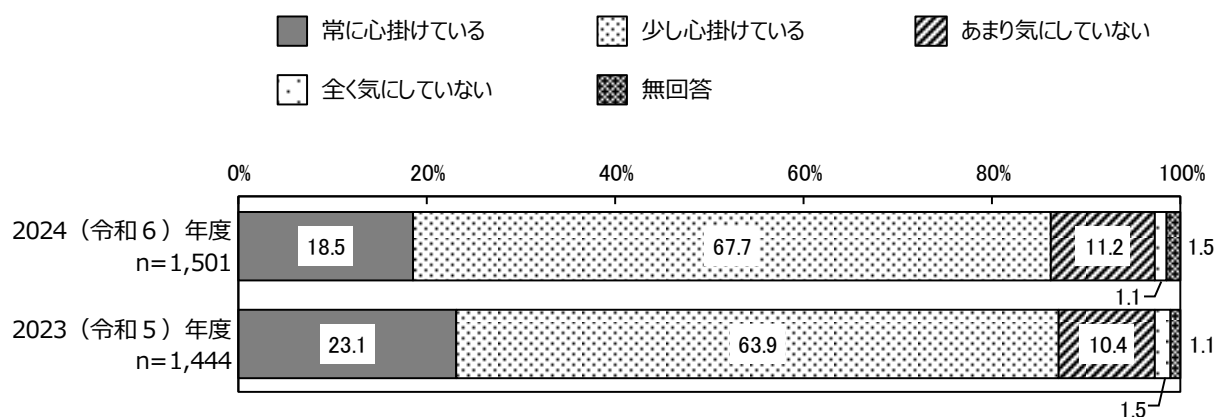
【年代別・職業別】

(単位：％)

		マイ バ ッ ク の 使 用 、 レ ジ 袋 の 辞 退	ご み の 分 別 、 リ サ イ ク ル	使 っ て い な い 部 屋 の 消 灯 、 電 化 製 品 の 待 機 電 力 カ ッ ト	ご み の 減 量 、 食 べ 残 し を し な い	節 水	マイ フ ォ ー ク 、 マイ ス プ ー ン 、 マイ 箸 な ど の 使 用	地 産 地 消	公 共 交 通 機 関 、 自 転 車 の 利 用	環 境 に 配 慮 し た 商 品 の 購 入	河 川 ・ 海 岸 な ど の 清 掃 活 動 へ の 参 加	特 に 取 り 組 ん で い な い	そ の 他	無 回 答
年 代	18歳～29歳 n=153	86.3	71.2	56.9	54.9	30.1	34.0	15.7	22.9	5.2	3.9	2.0	0.0	0.0
	30歳代 n=172	83.7	74.4	59.3	45.9	23.3	36.0	20.9	14.0	6.4	2.3	2.3	0.6	0.0
	40歳代 n=233	90.1	87.1	73.4	63.5	40.8	49.8	30.9	9.9	14.6	5.2	0.4	0.4	0.4
	50歳代 n=304	90.8	88.8	73.7	58.6	49.3	43.4	41.8	21.7	20.1	7.9	1.0	0.3	0.3
	60歳代 n=286	92.3	90.9	78.0	60.5	52.8	36.7	36.0	19.9	20.6	10.5	0.3	0.7	0.7
	70歳以上 n=346	89.3	88.4	71.7	64.2	55.5	26.0	35.3	19.7	18.2	12.7	0.3	0.6	2.6
職 業	勤め人 n=821	88.3	83.7	68.8	57.4	39.7	41.9	30.6	17.5	14.0	5.4	1.2	0.2	0.4
	商工・サービス・自由業 n=114	88.6	86.0	66.7	56.1	46.5	28.9	39.5	10.5	15.8	13.2	0.0	1.8	0.9
	農林水産業 n=20	80.0	80.0	80.0	55.0	45.0	40.0	25.0	5.0	10.0	15.0	0.0	0.0	5.0
	家事専業 n=141	96.5	94.3	82.3	75.2	63.1	41.1	49.6	22.0	27.0	10.6	0.0	0.0	0.7
	学生 n=37	91.9	67.6	73.0	62.2	40.5	45.9	16.2	43.2	8.1	5.4	0.0	0.0	0.0
	無職 n=299	89.3	88.0	69.6	58.5	49.8	24.7	30.1	19.4	16.1	11.4	0.7	0.7	2.3
	その他 n=57	89.5	91.2	78.9	56.1	56.1	38.6	31.6	21.1	24.6	12.3	0.0	1.8	0.0

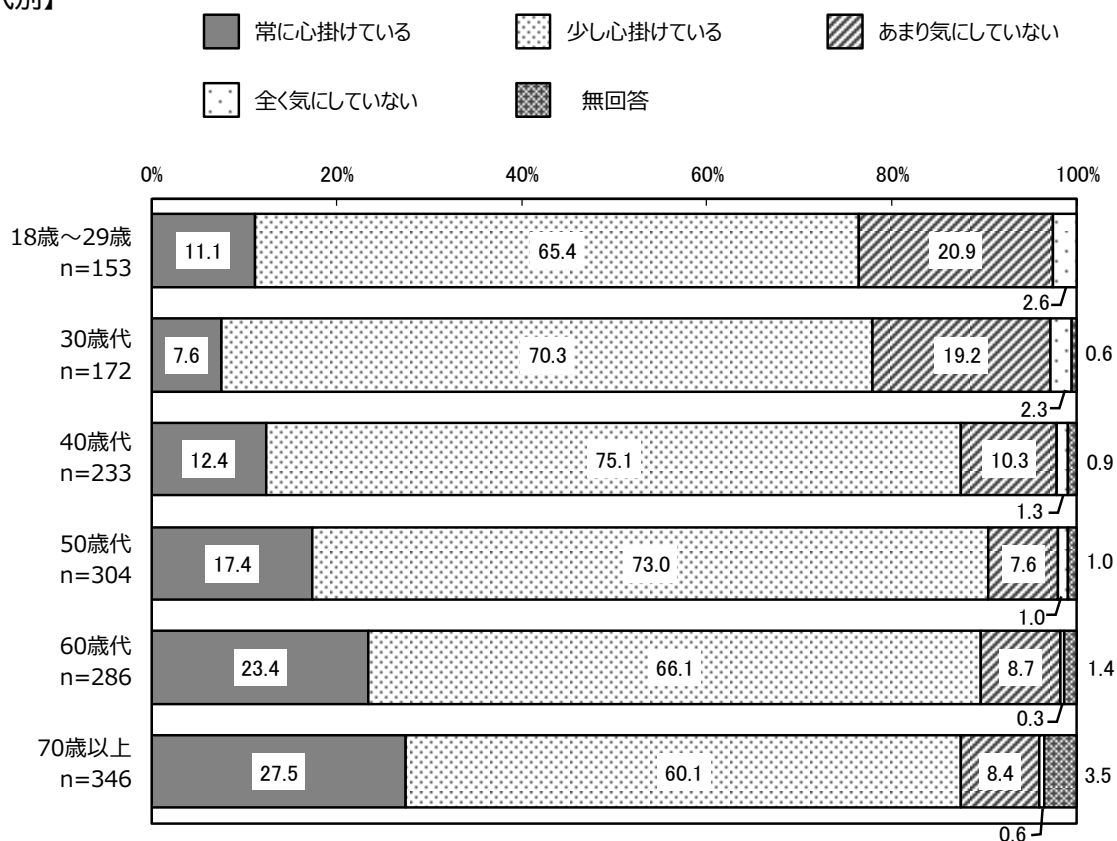
問 28 あなたは、日常の中で環境のことをどの程度心掛けて生活していますか。
(1 つだけ○を付けて付けてください)

環境のことを『心掛けている』人は 86.2%

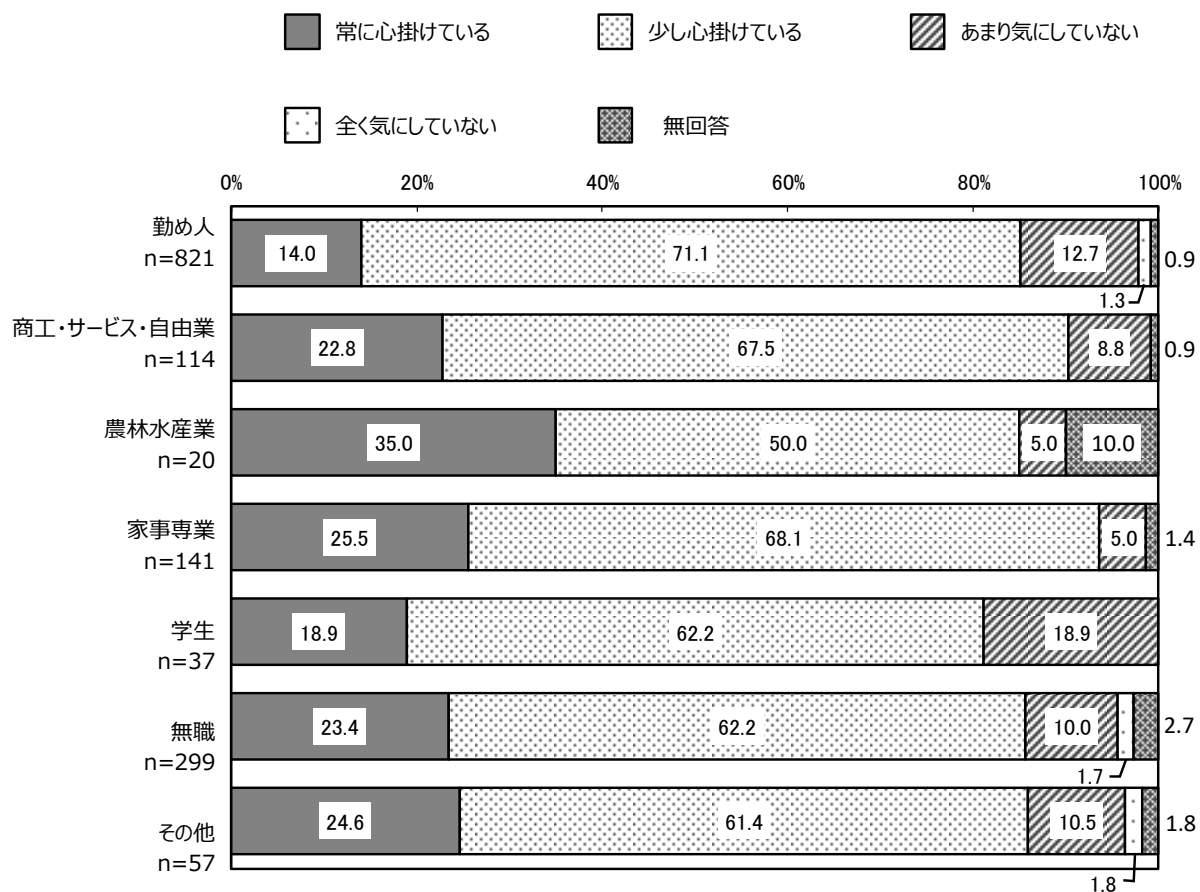


- 「常に関心している」と「少し関心している」を合わせた『心掛けている』は 86.2% となり、「あまり気にしていない」と「全く気にしていない」を合わせた『気にしていない』の 12.3% を 73.9 ポイント上回った。2023 (令和5) 年度との比較では、『心掛けている』は 0.8 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、『心掛けている』は 50 歳代が 90.4% と最も高く、次いで 60 歳代が 89.5% となった。最も低い 18 歳～29 歳が 76.5% となり、最も高い 50 歳代とは 13.9 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、『心掛けている』は家事専業が 93.6% と最も高く、次いで商工・サービス・自由業が 90.3% となった。最も低い学生が 81.1% となり、最も高い家事専業とは 12.5 ポイントの差がみられた。

【年代別】



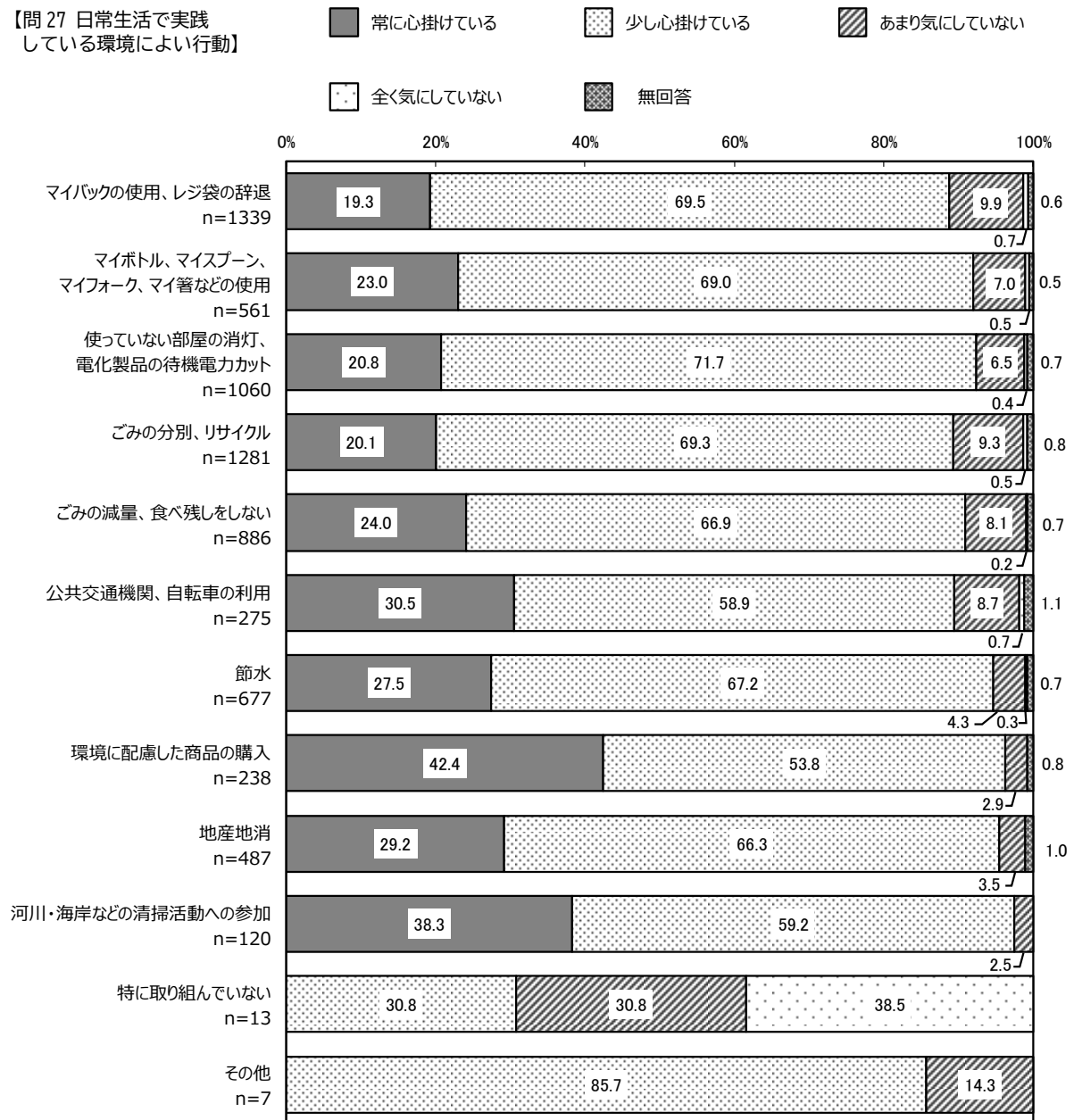
【職業別】



【問 27 と問 28 の設問間クロス集計】

【問 28 環境のことをどの程度心掛けて生活しているか】

【問 27 日常生活で実践
している環境に
よい行動】

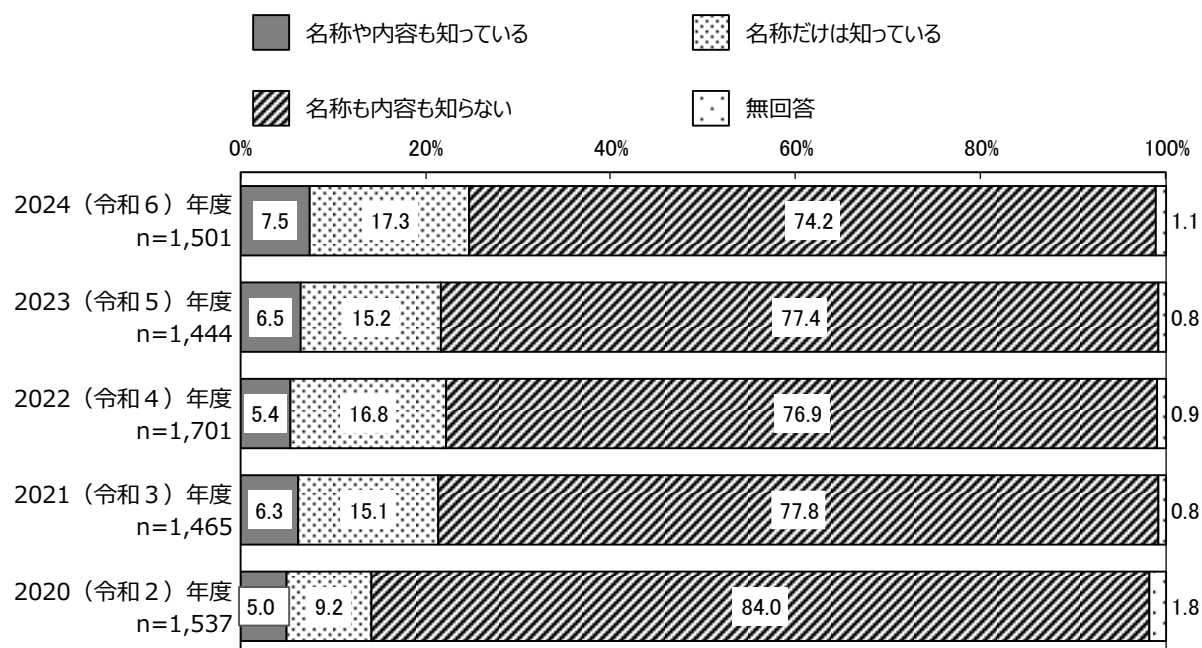


3-10 消費生活について

問 29 あなたは、「エシカル消費※」をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）

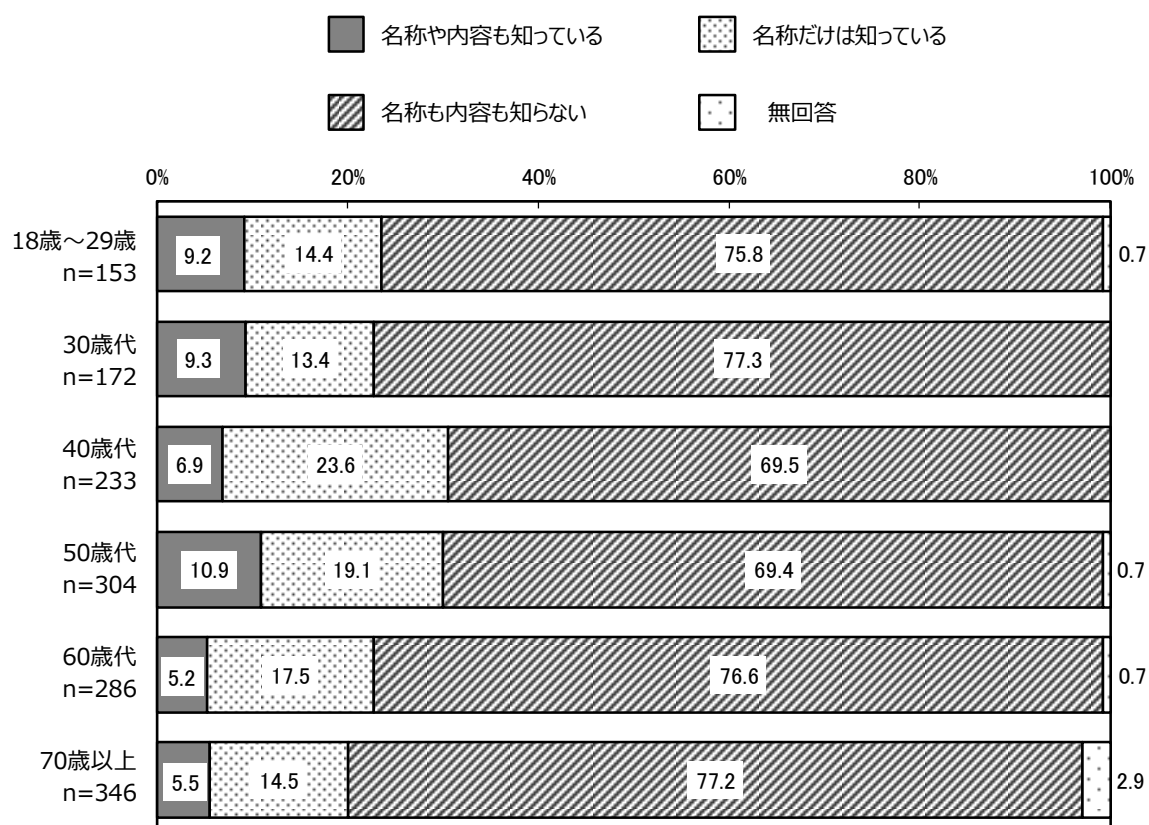
※エシカル消費とは、人や社会、地域、環境に配慮した買い物などの消費行動のことです。

「エシカル消費」を『知っている』人は24.8%

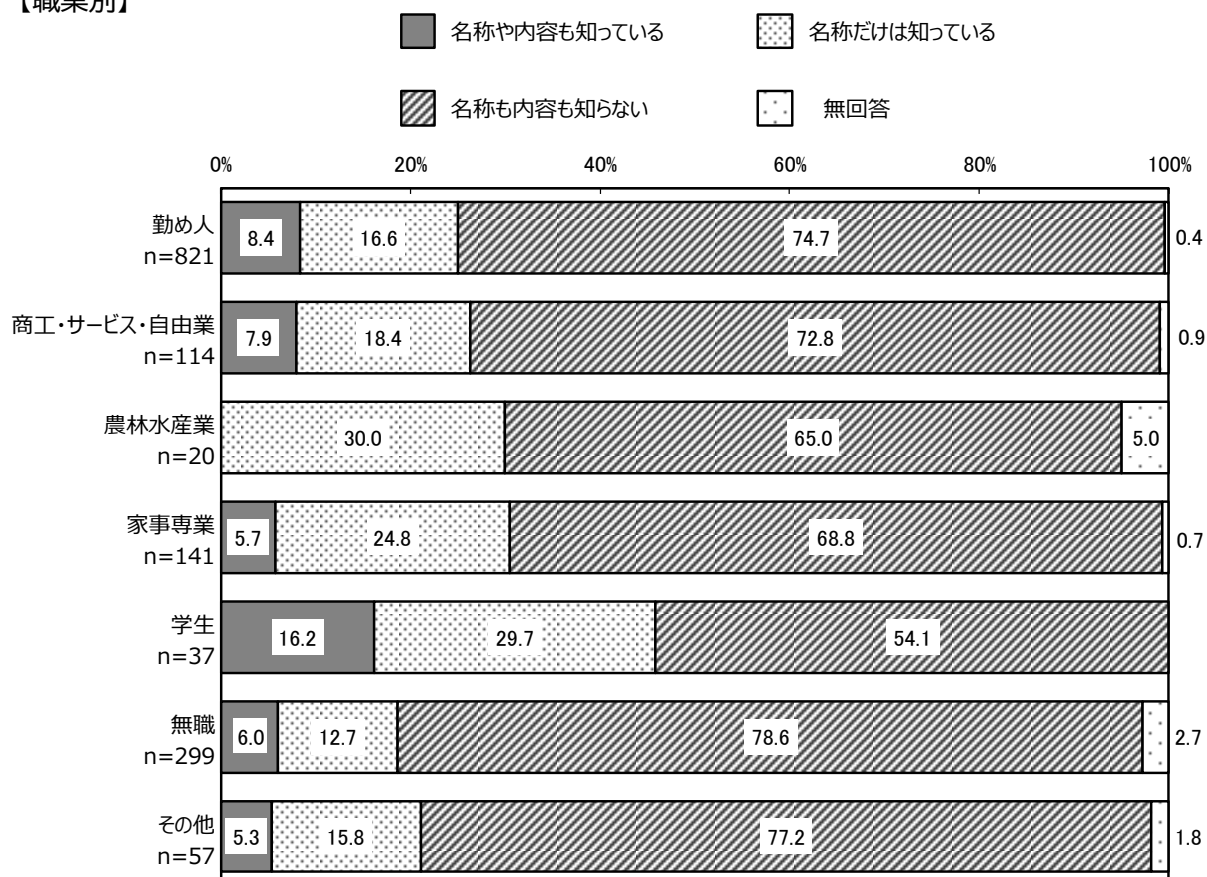


- 「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は24.8%となり、「名称も内容も知らない」の74.2%を49.4ポイント下回った。2023（令和5）年度との比較では、『知っている』は3.1ポイント増加となった。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、40歳代が30.5%と最も高く、次いで50歳代が30.0%となった。最も低い70歳以上が20.0%となり、最も高い40歳代とは、10.5ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、学生が45.9%と最も高く、次いで家事専業が30.5%となった。最も低い無職が18.7%となり、最も高い学生とは、27.2%の差がみられた。

【年代別】

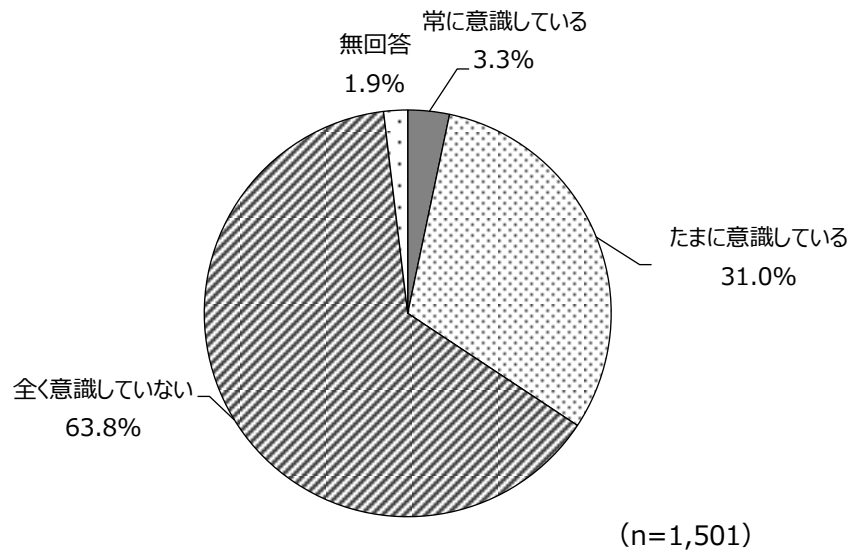


【職業別】



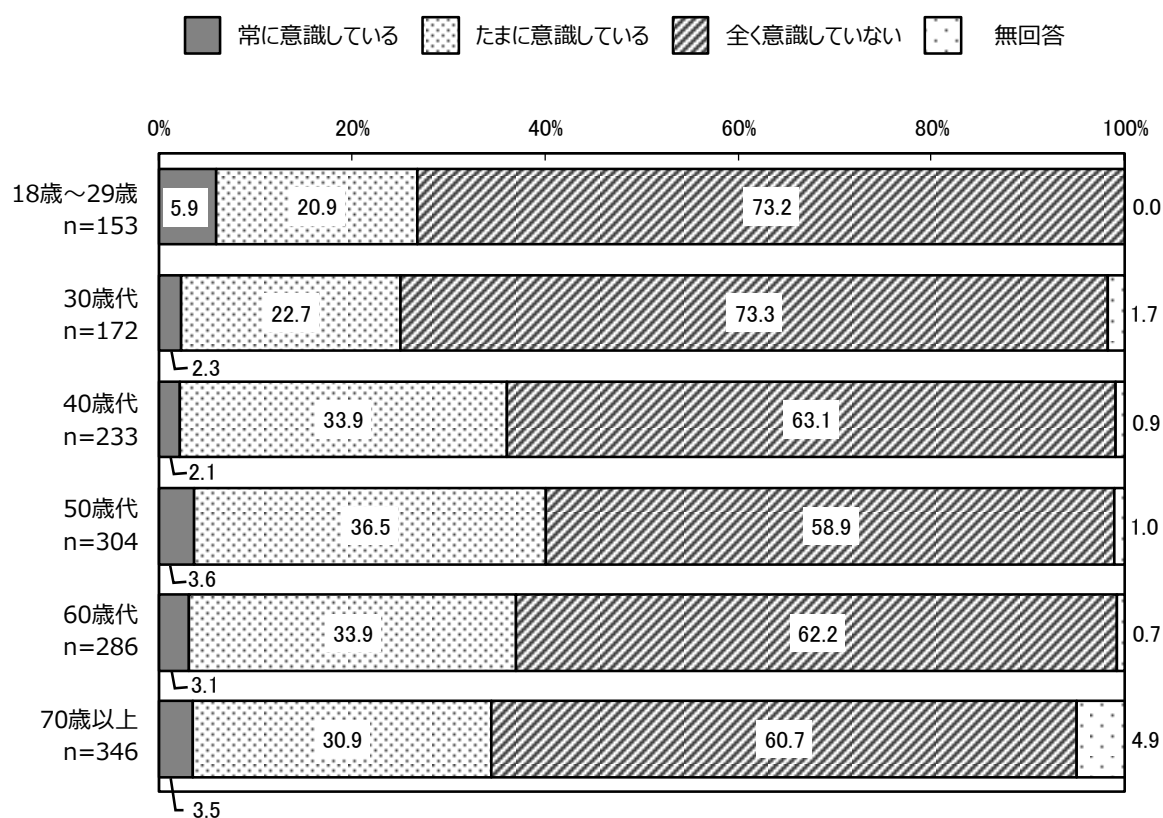
問 30 あなたは、買い物をするときにエシカル消費を意識して製品やサービスを選んでいますか。（1 つだけ○を付けてください）

買い物をするときにエシカル消費を『意識している』人は 34.3%

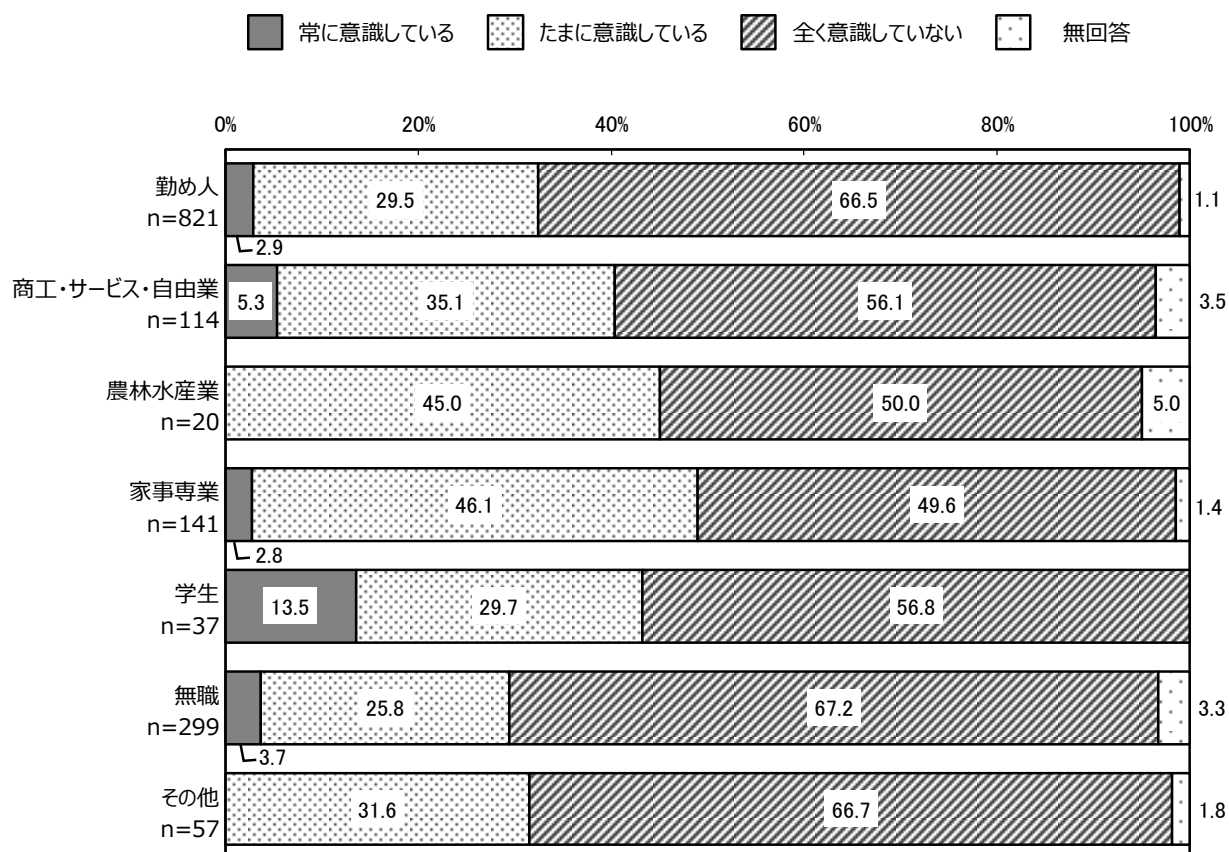


- 「常に意識している」と「たまに意識している」を合わせた『意識している』は 34.3%となり、「全く意識していない」の 63.8%を 29.5 ポイント下回った。
- 年代別でみると『意識している』の割合は、50 歳代が 40.1%と最も高く、次いで 60 歳代が 37.0%となった。最も低い 30 歳代が 25.0%となり、最も高い 50 歳代とは 15.1 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、家事専業が 48.9%と最も高く、次いで農林水産業が 45.0%となった。最も低い無職が 29.5%となり、最も高い家事専業とは 19.4 ポイントの差がみられた。

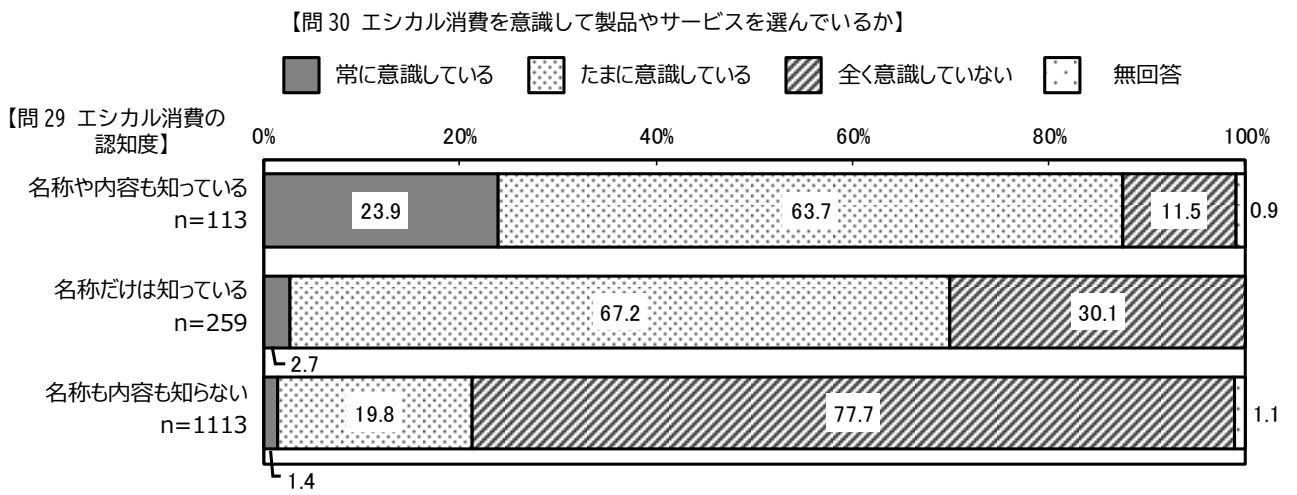
【年代別】



【職業別】



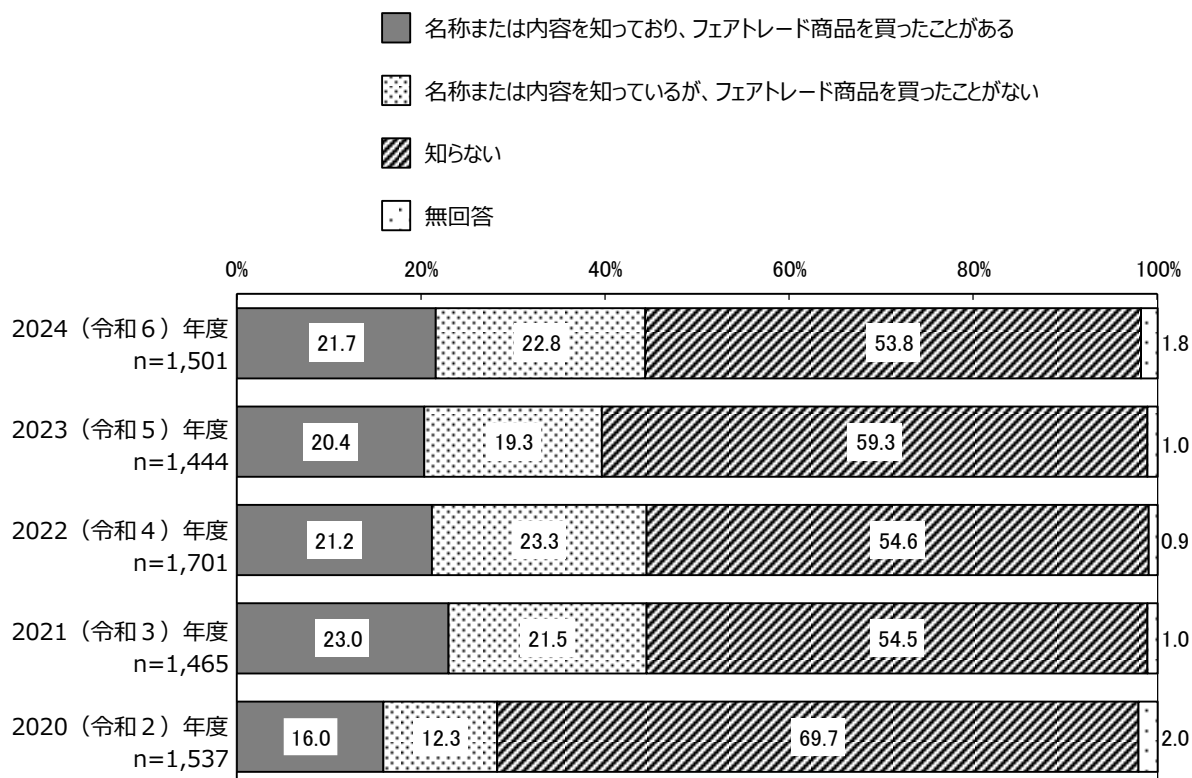
【問 29 と問 30 の設問間クロス集計】



問 31 あなたは、フェアトレード※をご存じですか。また、フェアトレード商品を買ったことがありますか。（1つだけ○を付けてください）

※フェアトレードとは、開発途上国で作られた作物や製品を「適正な価格」で「継続的に取り引き」する「貿易のしくみ」により、立場の弱い小規模生産者や労働者の生活改善と自立を目指す取り組みです。

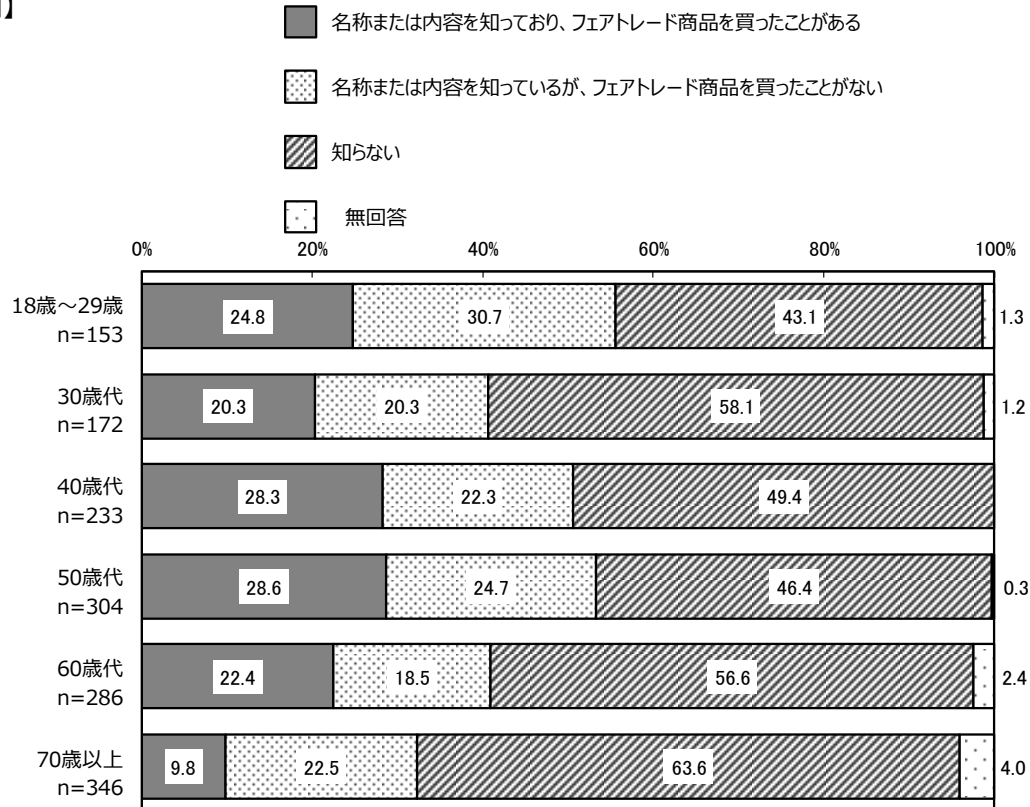
フェアトレードを『知っている』人は 44.5%



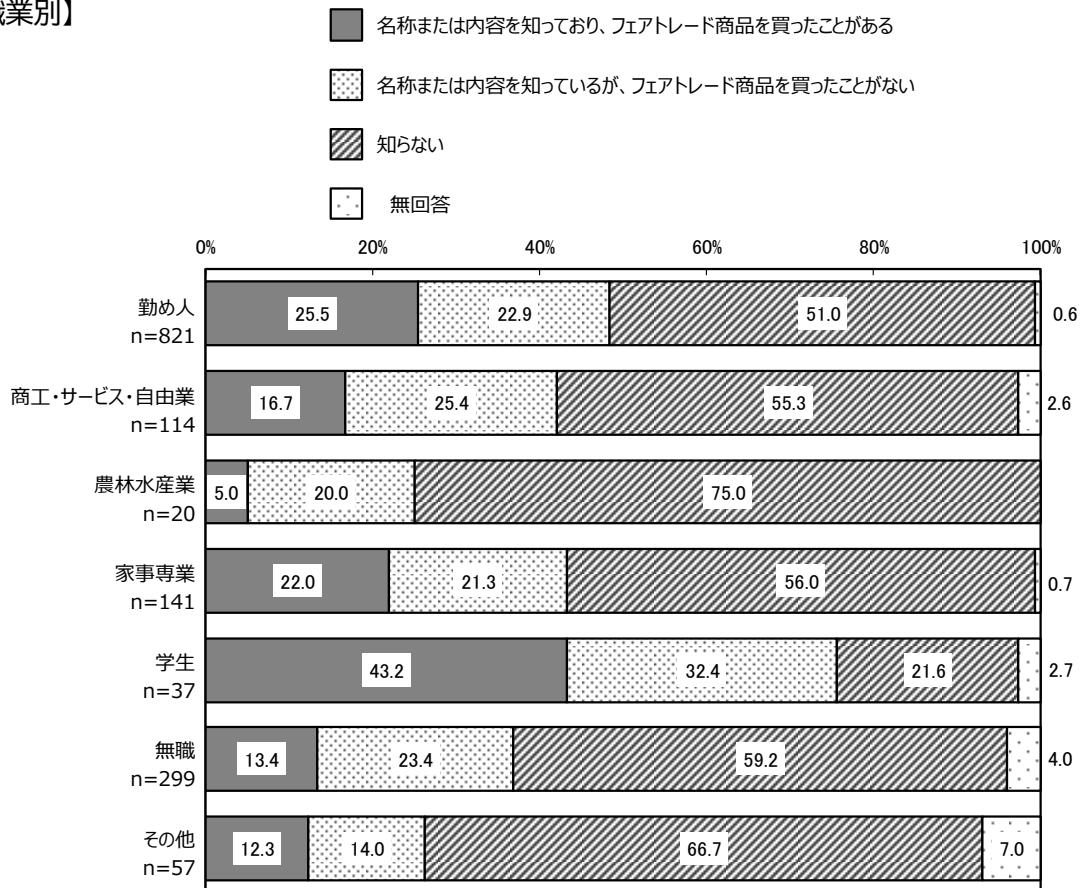
※2023（令和5）年度までの調査では、「名称または内容を知っており、フェアトレード商品を買ったことがある」を「（フェアトレード商品を買ったことが）ある」に、「名称または内容を知っているが、フェアトレード商品を買ったことがない」を「フェアトレードは知っているが、買ったことはない」に、「知らない」を「（フェアトレード商品を買ったことが）ない」にしていた。

- 「名称または内容を知っており、フェアトレード商品を買ったことがある」と「名称または内容を知っているが、フェアトレード商品を買ったことがない」を合わせた『知っている』は 44.5%となり、「知らない」の 53.8%を 9.3 ポイント下回った。2023（令和5）年度との比較では、『知っている』は 4.8 ポイント増加となった。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、18 歳～29 歳が 55.5%と最も高く、次いで 50 歳代が 53.3%となった。最も低い 70 歳以上が 32.3%となり、最も高い 18 歳～29 歳とは、23.2 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、学生が 75.6%と最も高く、次いで勤め人が 48.4%となった。最も低い農林水産業が 25.0%となり、最も高い学生とは、50.6 ポイントの差がみられた。

【年代別】



【職業別】

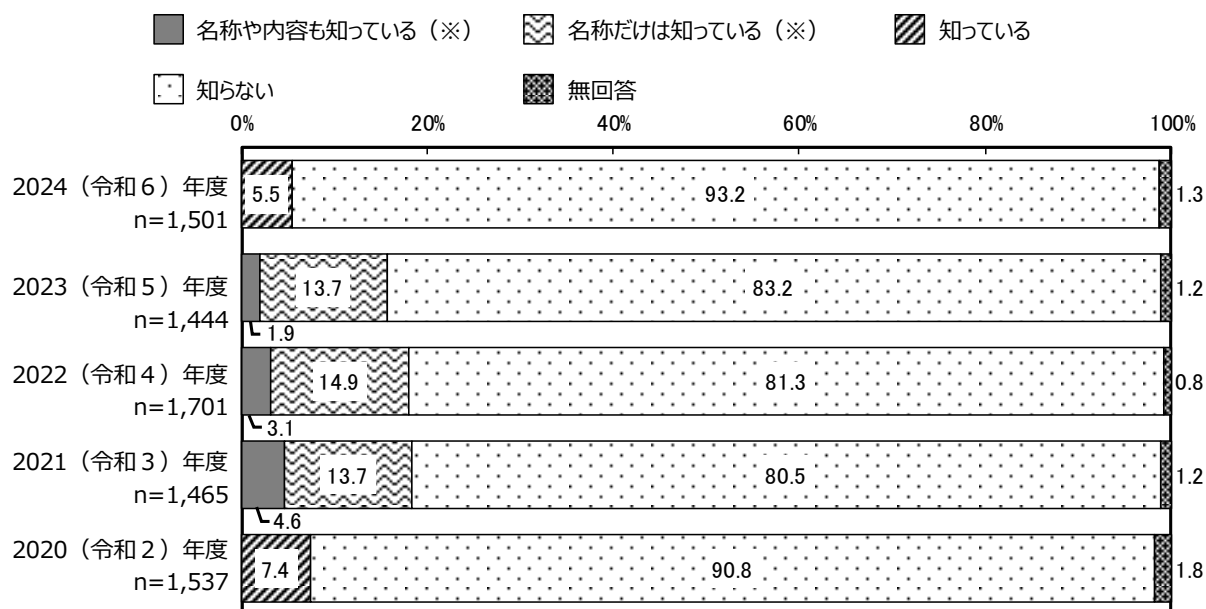


問 32 あなたは、浜松市がフェアトレードタウン※であることをご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

※フェアトレードタウンとは、市民団体や商店・企業・行政などが連携し、「まちぐるみ」でフェアトレードの輪を広げていく自治体のことです。

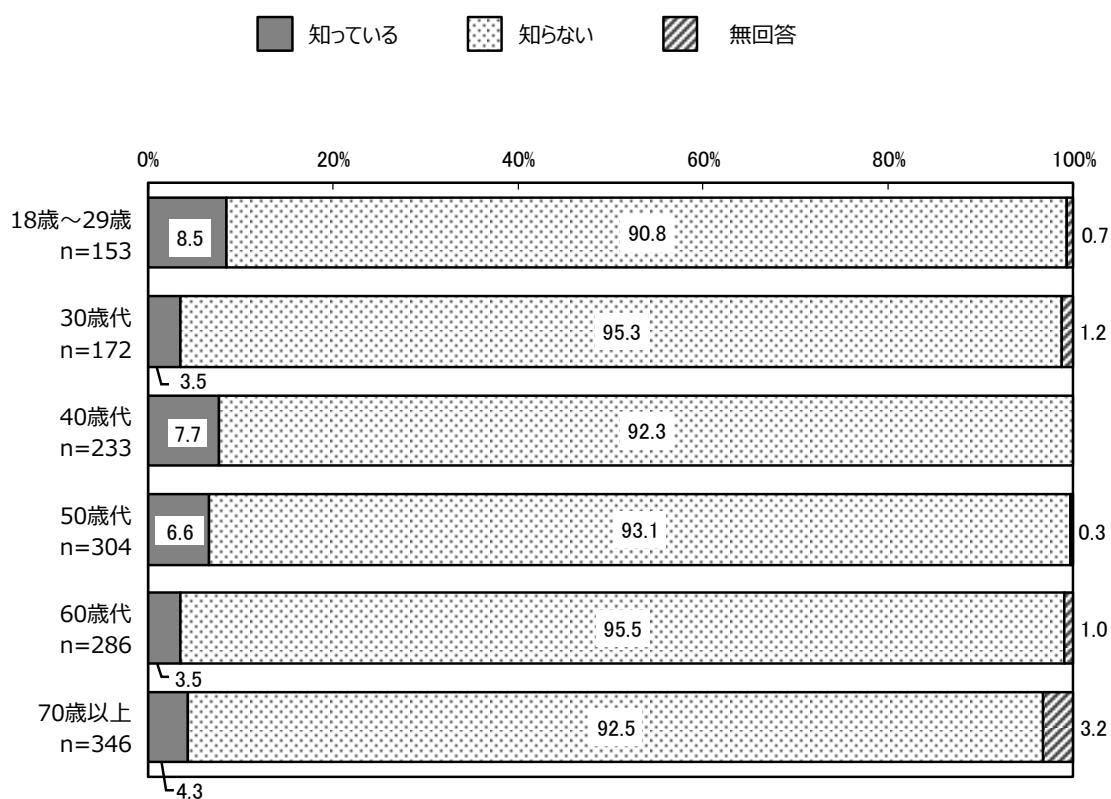
浜松市がフェアトレードタウンであることを「知っている」人は5.5%



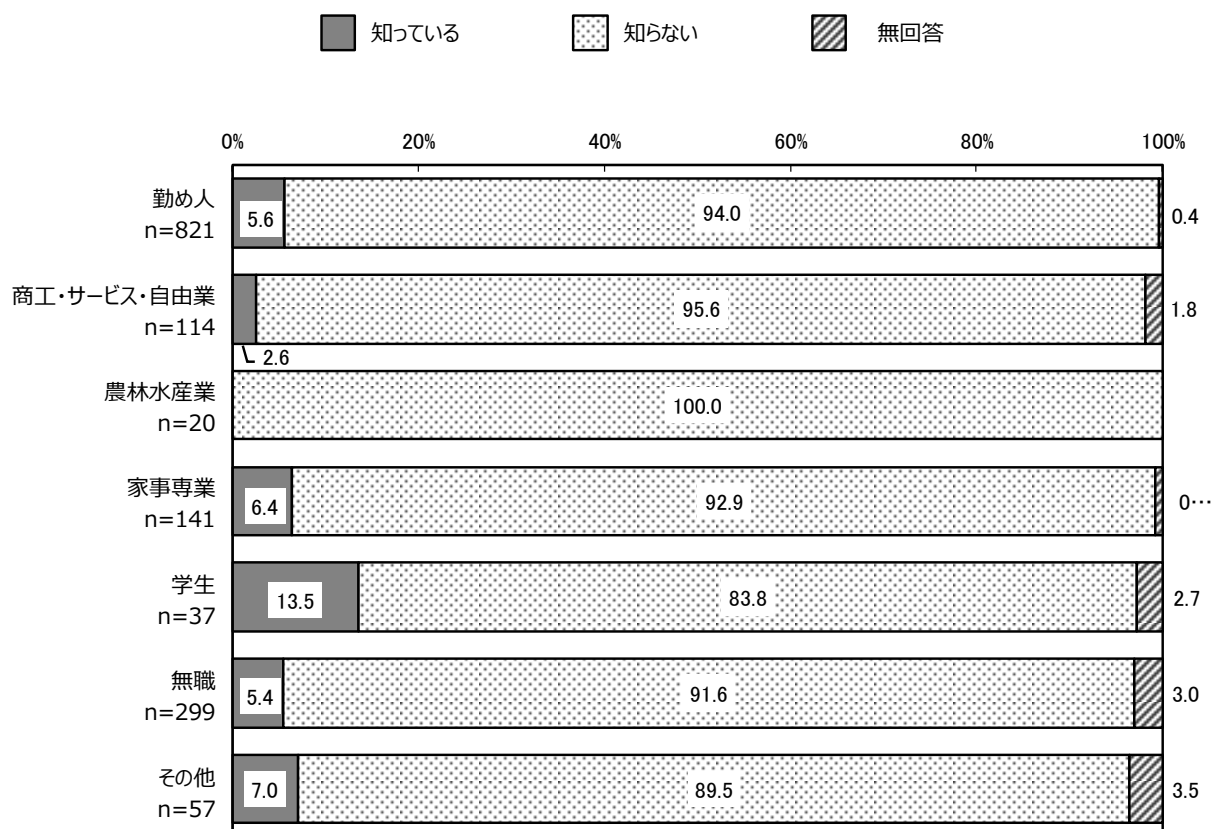
※2021 (令和3)～2023 (令和5) 年度の調査では、「知っている」を「名称や内容も知っている」「名称だけは知っている」に、「知らない」を「名称も内容も知らない」にしていた。

- 「知っている」は5.5%となり、「知らない」の93.2%を87.7ポイント下回った。2023 (令和5) 年度との比較では、「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた「知っている」と比較すると、10.1ポイント減少となった。
- 年代別でみると、「知っている」の割合は、18歳～29歳が8.5%と最も高く、次いで40歳代が7.7%となった。最も低い30歳代と60歳代が3.5%となり、最も高い18歳～29歳とは、5.0ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、学生が13.5%と最も高く、次いで家事専業が6.4%となった。最も低い農林水産業は0.0%となり、最も高い学生とは、13.5ポイントの差がみられた。

【年代別】



【職業別】



【問 31 と問 32 の設問間クロス集計】

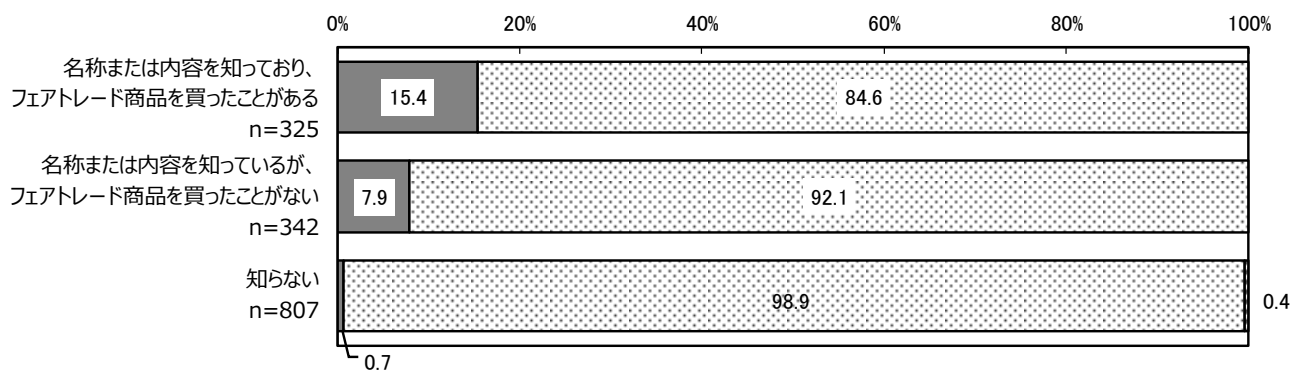
【問 32 浜松市がフェアトレードタウンであることの認知度】

【問 31 フェアトレード商品の
認知度と購入経験】

■ 知っている

■ 知らない

■ 無回答



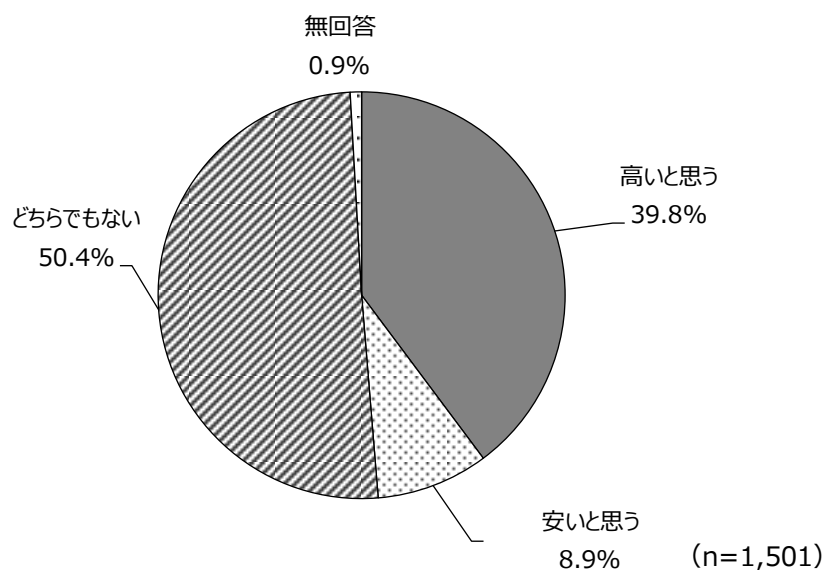
3-11 水道料金について

問 33 あなたは、現在のご家庭の水道料金※についてどのように感じていますか。

(1つだけ○を付けてください)

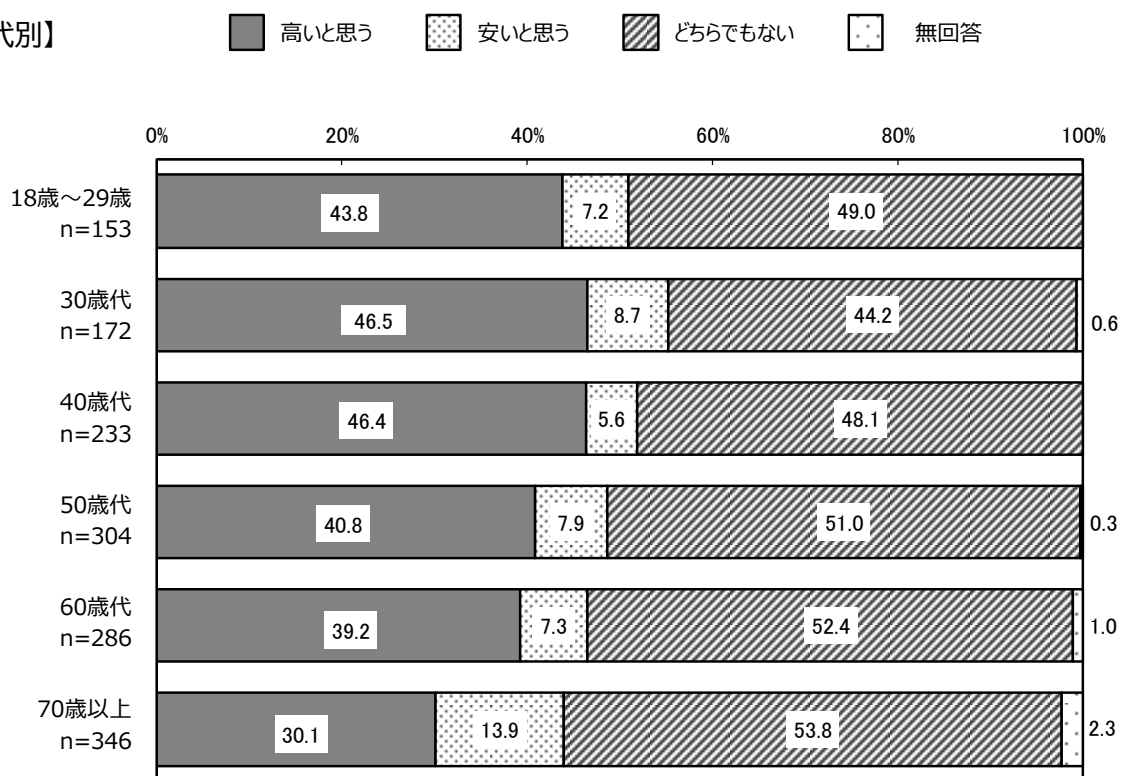
※浜松市の水道料金は料金区分によっては他都市と比較して安価であり、例えば、2022（令和4）年度時点で浜松市内の契約件数の27%を占める口径13mm、月20㎥を利用している家庭の場合、政令指定都市では2番目に安価、県西部地域の市町では最も安価です。

現在の家庭の水道料金について、「高いと思う」人は39.8%である一方で「どちらでもない」と感じる人は50.4%

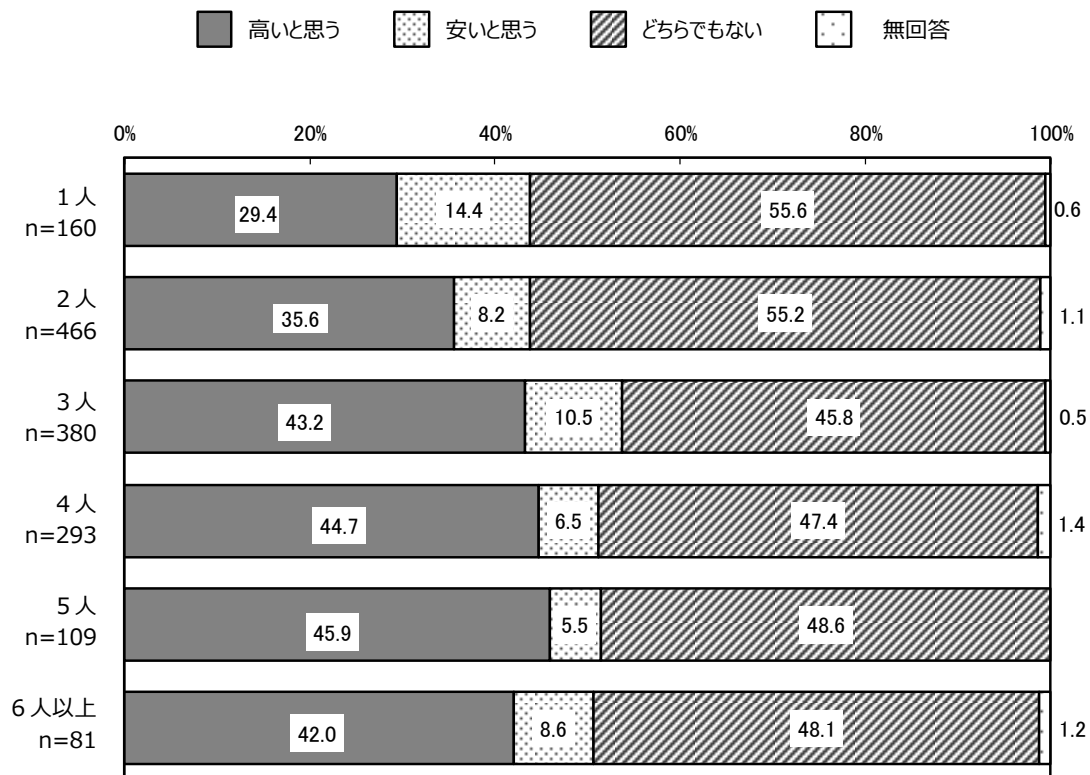


- 「どちらでもない」は50.4%となり、過半数を上回った。
- 「高いと思う」は39.8%となり、「安いと思う」の8.9%を30.9ポイント上回った。
- 年代別でみると、「高いと思う」は、30歳代が46.5%と最も高く、次いで40歳代が46.4%となった。最も低い70歳以上が30.1%となり、最も高い30歳代とは、16.4ポイントの差がみられた。
- 家族数別でみると、「5人」の45.9%が最も高く、次いで「4人」が44.7%、「3人」が43.2%となった。最も低い「1人」が29.4%となり、最も高い「5人」とは、16.5ポイントの差がみられた。「5人」以下では人数が少なくなるにつれ、「高いと思う」のポイントが低くなる傾向がみられた。

【年代別】

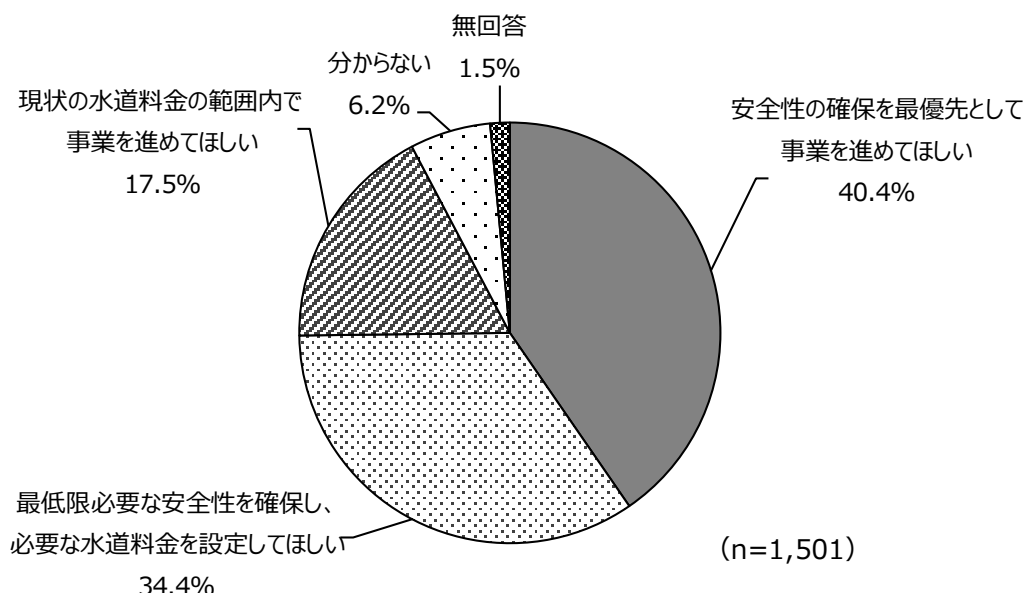


【家族数別】



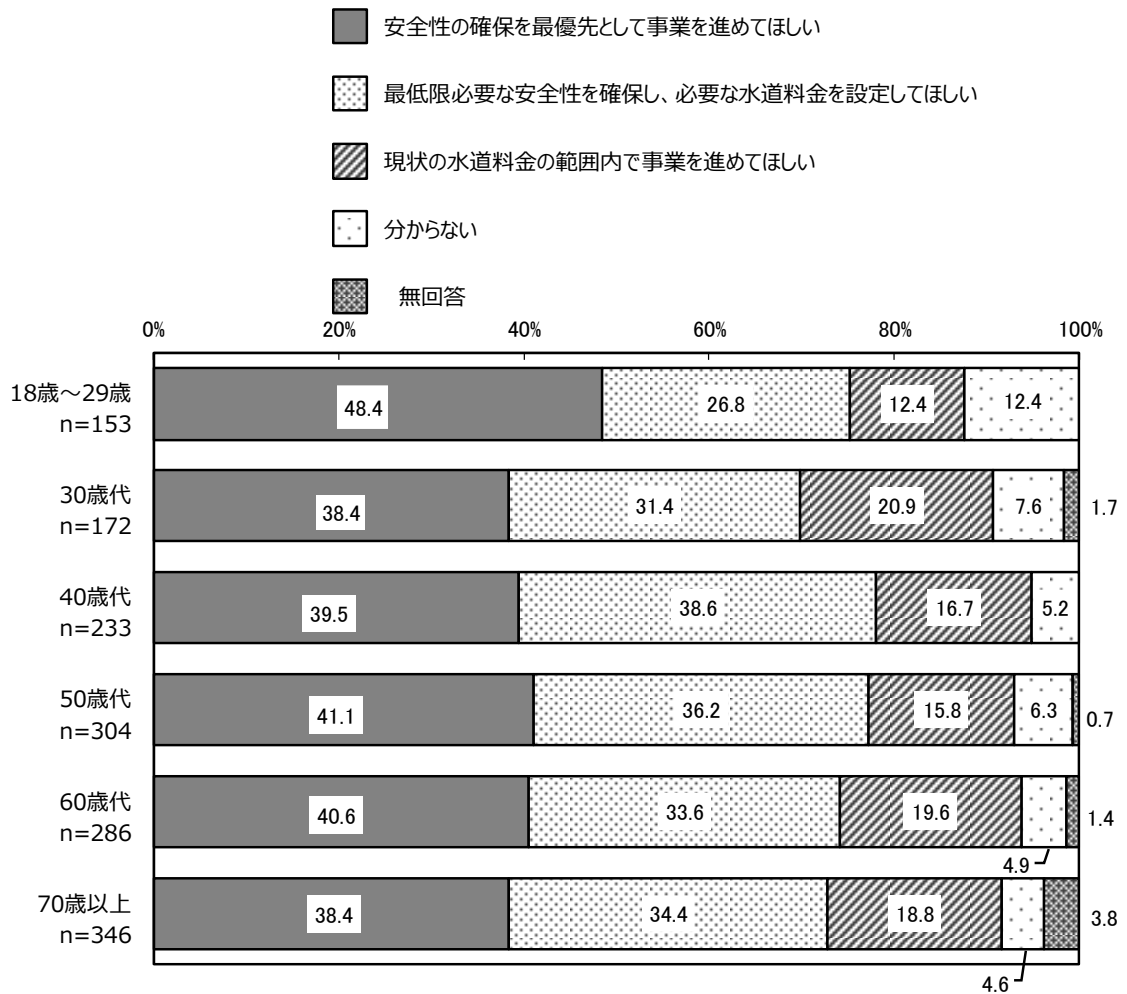
問 34 浜松市の水道管や給水施設の多くが更新期を迎えるとともに、災害時に備えた耐震化が必要となる一方、人口や水使用の減少により水道料金収入が減り続け、令和4年度から赤字決算となりました。あなたは、今後の水道事業についてどのように考えますか。
(1つだけ○を付けてください)

今後の水道事業について「安全性の確保を最優先として事業を進めてほしい」人は40.4%



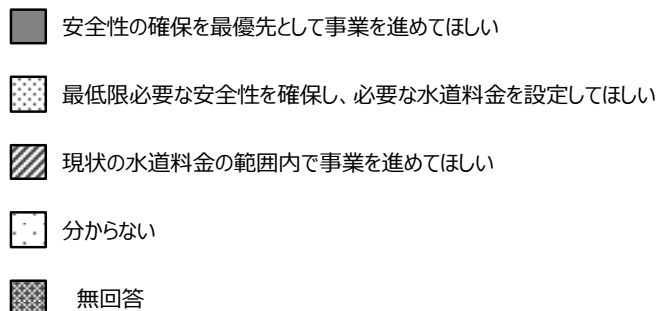
- 「安全性の確保を最優先として事業を進めてほしい」が40.4%と最も高く、次いで、「最低限必要な安全性を確保し、必要な水道料金を設定してほしい」が34.4%となった。
- 「安全性の確保を最優先として事業を進めてほしい」と「最低限必要な安全性を確保し、必要な水道料金を設定してほしい」の合計で74.8%を占める。
- 年代別でみると、「安全性の確保を最優先として事業を進めてほしい」は、18歳～29歳が48.4%と最も高く、次いで50歳代が41.1%となった。最も低い30歳代と70歳以上が38.4%となり、最も高い18歳～29歳とは、10.0ポイントの差がみられた。

【年代別】

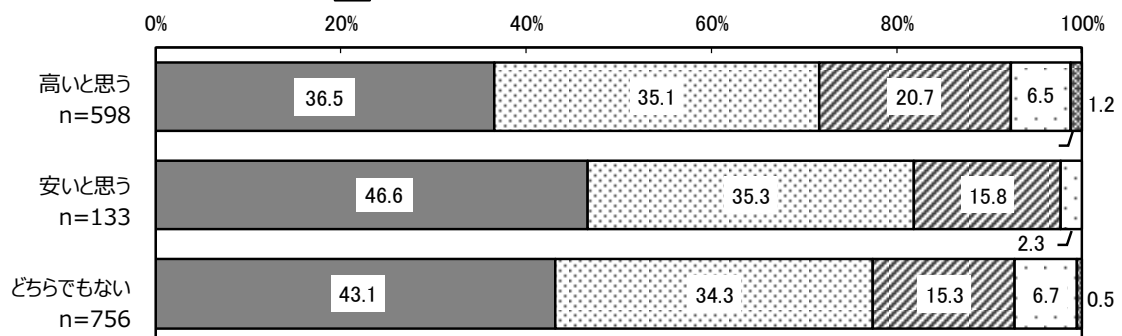


【問 33 と問 34 の設問間クロス集計】

【問 34 今後の水道事業についての考え】



【問 33 現在の家庭の水道料金についてどのように感じているか】

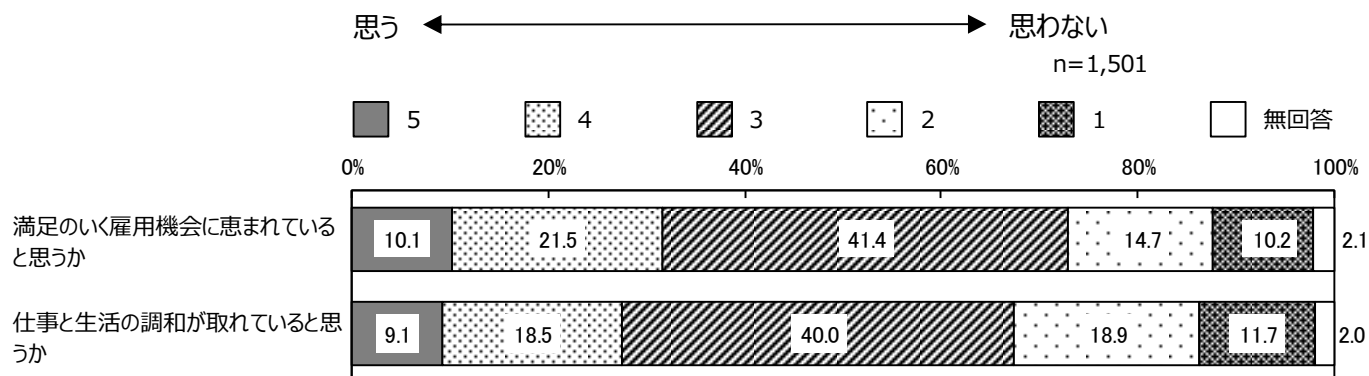


➤ 水道料金についてどのように感じていても、7割以上は安全性の確保を望んでいる。

4 浜松市戦略計画 2024 について

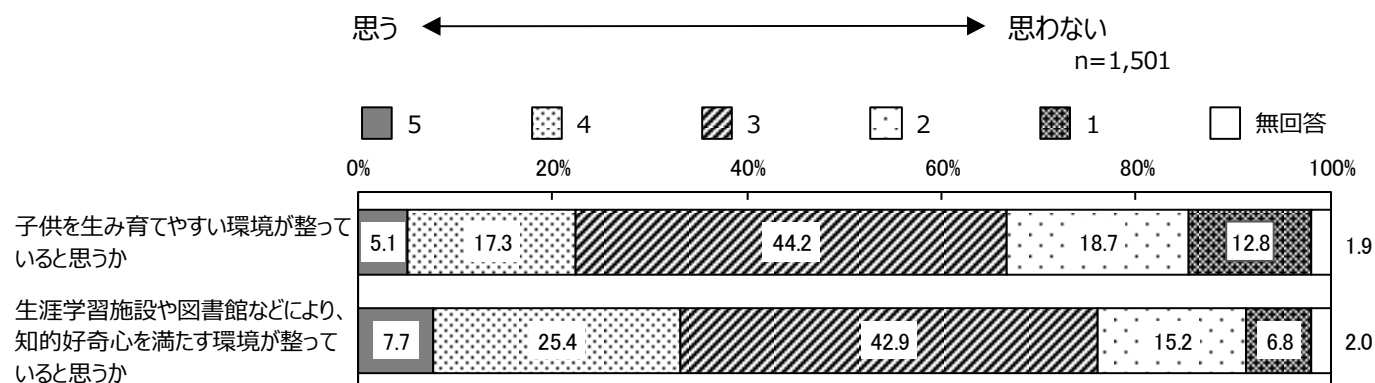
問 35 あなたは日常生活の中で、どのように感じていますか。各項目について「思う」から「思わない」まで5段階のうち、それぞれ1つだけ選び○を付けてください。

【若者がチャレンジできるまち】

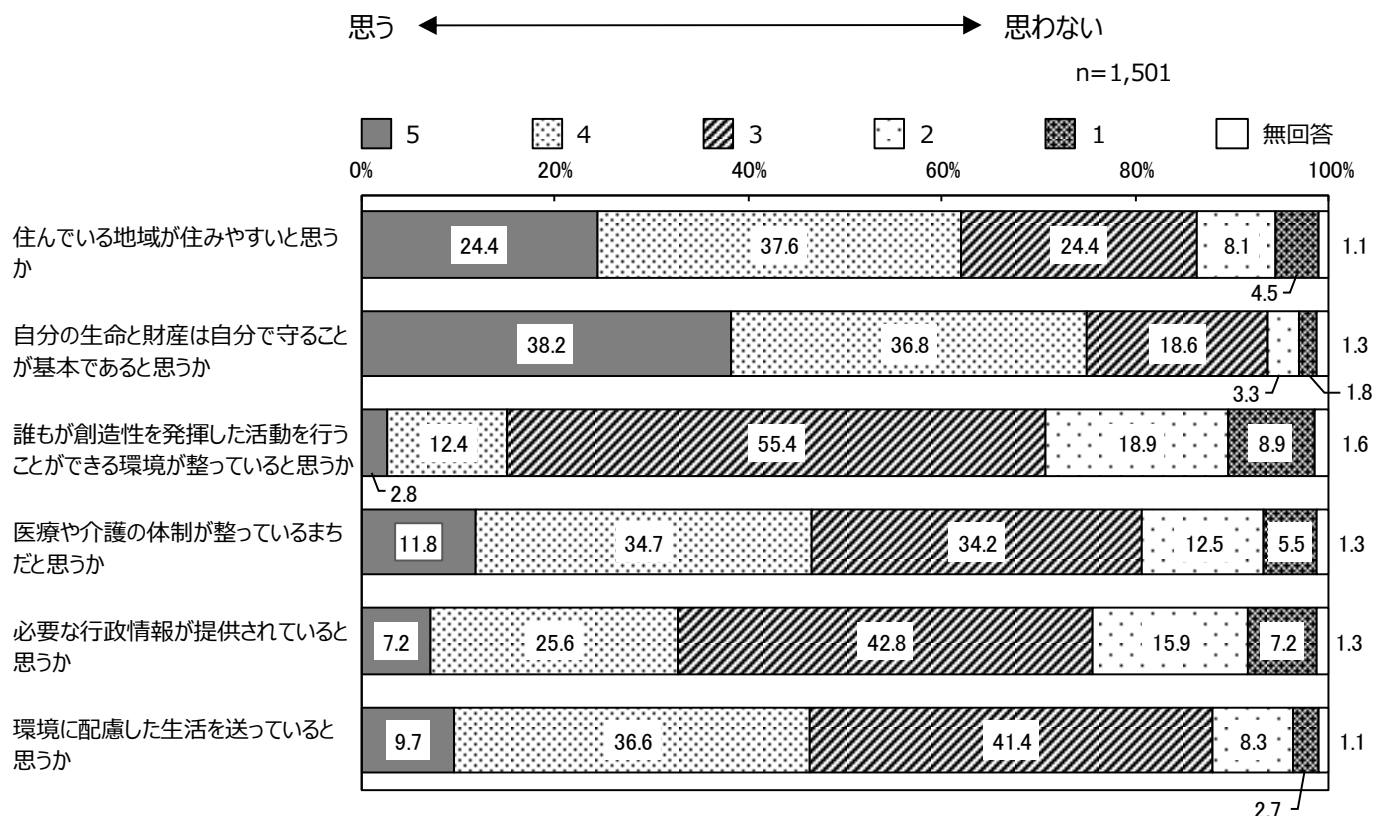


※ 仕事と生活の調和：仕事と家事・育児・介護などと両立すること。

【子育て世代を全力で応援するまち】



【持続可能で創造性あふれるまち】



※ 創造性を発揮した活動：固有の文化や産業などの地域資源を生かし、新たな価値やまちの魅力を生み出していく活動。

※ 行政情報：各種申請手続き、イベント、事業、予算など浜松市からの情報。

※環境に配慮：ごみの減量、リサイクルの推進、消費する電力の削減など。

- 評価が「5」と「4」を合わせた『思う』の割合が最も高かった項目は、「自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。」の75.0%であった。最も低かったのは「誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか。」の15.2%であった。

【過去調査との比較（プラス幅が大きい順）】

（単位：％）

	2024（令和6）年度 結果（A）	2023（令和5）年度 結果（B）	差 （A-B）	2022（令和4）年度 結果（B）
仕事と生活の調和が取れていると思いますか。	27.6	16.4	11.2	17.2
満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。	31.6	21.2	10.4	18.1
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。	33.1	29.5	3.6	29.2
子供を生み育てやすい環境が整っていると思いますか。	22.4	19.6	2.8	21.4
医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。	46.5	43.8	2.7	45.2
住んでいる地域が住みやすいと思いますか。	62.0	59.5	2.5	62.1
環境に配慮した生活を送っていると思いますか。	46.3	44.0	2.3	35.3
必要な行政情報が提供されていると思いますか。	32.8	31.1	1.7	30.5
誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか。	15.2	14.1	1.1	10.0
自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。	75.0	74.4	0.6	74.1

※ A・Bの数値は「5」と「4」を合わせた『思う』の割合

- 2023（令和5）年度と比較すると、全項目が上昇となった。最も上昇したのは「仕事と生活の調和が取れていると思いますか。」の11.2ポイントであった。
- 10項目中6項目は3年連続で上昇となった。2022（令和4）年度と比較すると最も上昇したのは「満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。」の13.5ポイントであった。
- 「仕事と生活の調和が取れていると思いますか。」「子供を生み育てやすい環境が整っていると思いますか。」「医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。」「住んでいる地域が住みやすいと思いますか。」の項目は、前回は下降したが、今回の調査では上昇となった。

※ 次ページの【性別・年代別・行政区別】の表は、評価が「5」を10点、「4」を7.5点、「3」を5点、「2」を2.5点、「1」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど思う度合が高くなる指数である。

【性別・年代別・行政区別】

◎＝6点以上 ＊＝4点以下（単位：点）

		若者がチャレンジできるまち		子育て世代を全力で応援するまち		持続可能で創造性あふれるまち					
		満足いく雇用機会に恵まれているか。	仕事と生活の調和が取れているか。	子供を生ま育てやすい環境が整っているか。	生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っているか。	住んでいる地域が住みやすいか。	自分の生命と財産は自分で守ることが基本であるか。	誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っているか。	医療や介護の体制が整っているか。	必要な行政情報が提供されているか。	環境に配慮した生活を送っているか。
性別	女性	5.0	4.8	4.7	5.5	◎6.8	◎7.6	4.6	◎6.0	5.4	◎6.2
	男性	5.4	5.0	4.5	5.2	◎6.8	◎7.8	4.5	5.9	5.1	5.9
	その他	*3.3	5.8	◎6.7	◎6.7	4.2	5.0	*2.5	*3.3	*2.5	◎6.7
	答えたくない	4.8	*4.0	*3.0	*3.9	5.3	◎7.9	*3.3	4.9	4.5	◎6.0
年代	10歳代	◎6.4	5.5	5.2	◎6.3	◎8.2	◎7.3	5.7	◎7.1	◎6.2	◎6.5
	20歳代	◎6.0	4.9	4.5	◎6.0	◎7.3	◎7.6	4.9	◎6.3	5.9	5.9
	30歳代	5.3	4.9	*4.0	4.9	◎6.7	◎7.6	*4.0	4.9	4.4	5.0
	40歳代	5.3	4.9	4.9	5.5	◎7.0	◎7.6	4.7	◎6.2	5.2	◎6.1
	50歳代	5.0	4.9	4.6	5.2	◎6.5	◎7.6	4.5	5.8	5.2	◎6.2
	60～64歳	4.9	4.7	*4.0	4.6	◎6.4	◎7.7	4.3	5.5	5.1	◎6.1
	65～69歳	5.1	5.0	4.7	5.5	◎6.9	◎7.8	4.4	5.9	5.0	◎6.3
	70～74歳	4.7	4.7	4.7	5.1	◎6.5	◎7.7	4.3	◎6.1	5.5	◎6.3
	75歳以上	5.0	4.9	4.9	5.5	◎7.0	◎8.1	5.0	◎6.3	5.8	◎6.4
行政区	中央区	5.3	4.9	4.6	5.4	◎6.9	◎7.7	4.5	◎6.0	5.3	◎6.0
	浜名区	4.8	4.6	4.3	5.2	◎6.3	◎7.7	4.6	5.6	5.2	◎6.2
	天竜区	5.2	5.0	4.6	4.9	◎6.1	◎8.1	4.1	5.1	4.4	5.8

- 年代別でみると、10歳代においては「住んでいる地域が住みやすいと思いますか。」の指数が最も高い。
- 「10歳代」以外の年代では「自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。」の指数が最も高い。
- 行政区別でみると、全ての区において「自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。」の指数が最も高い。
- 年代別でみると、10歳代から30歳代、60～64歳、75歳以上においては「子供を生ま育てやすい環境が整っていると思いますか。」の指数が最も低い。
- 40歳代から50歳代、70～74歳においては「誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか。」の指数が最も低い。

付録 調査票

【調査票】 令和6年度 市民アンケート調査（第51回）

～「市政運営」について～

問1 次にあげる取り組みについて、あなたは、どの程度満足していると感じていますか。
また、今後の取り組みとしてどの程度重要だと思いますか。それぞれの取り組みの現在の満足度と今後の重要度について、1～5のうちから1つずつ選び○を付けてください。

取り組み	選択肢									
	①現在の満足度					②今後の重要度				
	満 足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不 満	重 要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	分からない
(例) ○○に関する取り組み	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
①【地域活性】 魅力発信による交流拡大、にぎわいの創出など地域活性の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②【地域活性】 伝統・文化、スポーツ振興の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③【産業振興】 さまざまな産業の成長促進など産業振興の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④【移住・定住支援】 UIJ ターン、移住・定住支援の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤【子育て】 出会い、結婚、出産、子育ての取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥【教育】 安心して学ぶことができる教育・環境支援の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦【くらし】 健康の保持・増進など健康長寿への取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧【安心・安全】 災害に強いまちづくりの取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨【安心・安全】 道路整備、交通安全対策などの取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩【持続可能な都市】 行政の効率化など行財政改革の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

～あなたはご存じですか？～

問2 次の項目について、1～3のうちから1つ選んで○を付けてください。

① 市制記念日 ※浜松市では市制施行を記念して、7月1日を市制記念日として定めています。	1 知っている	2 知らない
② 市民マナー条例 ※「市民マナー条例」とは、「浜松市快適で良好な生活環境を確保する条例」の通称で、歩きタバコ・吸い殻や空き缶などのポイ捨て・落書きの禁止や、飼い犬・ねこのふんの適正な処理、身体障害者用駐車場の適正な利用を定めた条例です。	1 名称や内容も知っている	2 名称は聞いたことがある
③ ウエルネスシティ（予防・健幸都市） ※浜松市は、市民の皆様が病気を未然に予防し、いつまでも健康で幸せに暮らすことができるとともに、市民の皆様の健康が地域産業を支え、持続的に発展していく都市像を「ウエルネスシティ（予防・健幸都市）」として掲げています。	1 名称や内容も知っている	2 名称は聞いたことがある
④ 浜松市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」 ※浜松市では「ウエルネスシティ」の実現を目指す中、2022（令和4）年10月から「はままつ健幸クラブ」の運用を開始しました。毎日の歩数計測のほか、指定する健康イベントへの参加などでポイントがたまり、抽選で浜松市の特産品などが当たります。	1 知っており現在使用している	2 知っているが使用していない
⑤ SDGs（Sustainable Development Goals） ※2015（平成27）年に開催された国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標」のことで、2030（令和12）年までに達成すべき17の国際社会共通の目標です。 ※貧困や飢餓、経済成長、気候変動など、21世紀の世界が抱える問題を、世界中の人々、企業などが連携して解決することを目指しています。	1 名称や内容も知っている	2 名称だけは知っている
3 名称も内容も知らない		

～SDGsの達成に向けて～

浜松市は、SDGsの達成に向けて先進的な取り組みを行っている自治体として国より、「SDGs未来都市」に選ばれ、再生可能エネルギー、林業や多文化共生など、SDGsの達成に向けた取り組みを行っています。 ※本アンケートの各設問に、関連するSDGsのアイコンを表示しています。

《ごみ減量について》



12 つくる責任 つかう責任

関連事業：ごみ減量教育推進事業、生ごみ減量推進事業ほか

浜松市では、ごみを資源として生まれ変わらせる循環型社会の構築や二酸化炭素排出量の削減など、地球環境の保全を図る上で避けて通れない課題に対応するため、ごみの減量や資源化（リサイクル）などに取り組んでいます。

問3 あなたは、浜松市が推進している「Go！みんなで404チャレンジ※」をご存じですか。
(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 名称や取り組みの内容も知っている | 2. 名称だけは知っている |
| 3. 取り組みの内容だけは知っている | 4. 名称も取り組みの内容も知らない |

※「Go！みんなで404チャレンジ」とは、令和10年度までに一人1日あたりの家庭系ごみ排出量を404gまで減らす取り組みです。

問4 あなたは、ごみを減らす取り組みでどのようなことを実践していますか。
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 生ごみの水切り | 2. 生ごみ処理機の使用 |
| 3. 生ごみの堆肥化 | 4. プラマークやペットボトルの分別 |
| 5. 雑がみの分別（集団回収や回収ステーションへの持ち込み） | |
| 6. 古着のリサイクル | 7. 草木のリサイクル |
| 8. リユースサイトの利用 | 9. 何も実践していない |
| 10. その他（具体的に：_____） | |

問5 あなたは、生ごみ処理機※を使ってみたいと思いますか。
(1つだけ○を付けてください)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 使用しており、これからも継続して使用したい |
| 2. 使用しているが、今後買い替えてまで継続して使用するつもりはない |
| 3. 補助金があるなら購入したい |
| 4. 気軽に試せる機会があれば試してみたい |
| 5. 生ごみ処理機に関心がない |
| 6. 生ごみ処理機がどんなものかわからない |
| 7. その他（具体的に：_____） |

※浜松市では、生ごみ処理機を購入した世帯に対し補助金を交付しています。

《多文化共生について》



4 質の高い教育をみんなに

10 人や国の不平等をなくそう

17 パートナリーシップで目標を達成しよう

関連事業：外国人の子供の教育支援、国際交流連携推進事業、国際理解教育講座ほか

浜松市には2024（令和6）年4月1日時点で約29,000人の外国人が住んでいます。こうした中で、多様性を生かしたまちづくりを推進するとともに、国際機関への参画や都市間交流などによる世界とのつながりを通じて都市の魅力を高めています。

問6 あなたは、浜松市が取り組んでいる外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりについてどのように感じていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | | | |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. どちらでもない | 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|

問7 あなたは、浜松市が行っている国際化の取り組みのうち、最も力を入れるべきものはどれだと思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 海外の都市や国際機関などとの連携 | 2. 国際協力・国際貢献 |
| 3. 市内企業の海外進出・販路開拓支援 | 4. 海外からの観光インバウンドの推進 |
| 5. 国際的な音楽・文化・スポーツイベントの開催 | 6. 国際的な市民交流の支援 |

問8 あなたは、浜松市が取り組んでいる世界の人々との活発な市民交流について、どのように感じていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | | | |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. どちらでもない | 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|

《カーボンニュートラルについて》



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
13 気候変動に具体的な対策を
関連事業：太陽光発電の導入ほか

浜松市では、脱炭素社会の実現に向け、市民や事業者の皆さまとともに温室効果ガス削減に向けた意欲的な取り組みを実践し、2050（令和32）年までに「温室効果ガスの排出実質ゼロ」を目指しています。

問9 あなたは、温室効果ガス排出削減につながる次の取り組み（愛称：デコ活※）のうち、どのようなことを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 照明・エアコンなど電気の適切な使用 | 2. 太陽光発電などの再エネ機器の導入 |
| 3. 次世代自動車（電気・水素自動車など）の導入 | 4. サステナブルファッションに取り組む |
| 5. 地元産の旬の食材を選ぶ | 6. 徒歩・公共交通機関での移動 |
| 7. 宅配便は一度で受け取る | 8. はかり売りなどで必要な分だけ買う |
| 9. 節水できる機器、高効率給湯器の導入 | 10. 特に取り組んでいない |
| 11. その他（具体的に：_____） | |

※「デコ活」とは、二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)、環境に良いエコ(Eco)と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

問10 あなたは、住まいの快適性・省エネ効率を高めるために、どのようなことを行ったことがありますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 外壁、屋根などの断熱強化 | 2. 開口部（ドア、窓など）の断熱強化 |
| 3. 高効率給湯設備などへの更新 | 4. 空調設備の更新 |
| 5. 必要性は感じるが行っていない | 6. 必要性を感じないため行っていない |
| 7. その他（具体的に：_____） | |

問11 あなたは、どのような場合に環境に配慮した行動や製品・サービスの選択をしますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 暮らしが快適・便利になる | 2. 金銭的なメリットがある |
| 3. 病気予防など、健康増進につながる | 4. 温暖化防止に貢献できる |
| 5. 特に理由がなくても選択をする | 6. その他（具体的に：_____） |

《人権について》



16平和と公正をすべての人に
関連事業：人権啓発事業ほか

人権は「誰もが幸せに生きていく権利」で身近で大切なものです。浜松市では、お互いの人権が尊重された「思いやりあふれる社会の実現」に向けた取り組みを進めています。

問 12 あなたは、人権を尊重することは重要だと思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 非常に重要 | 2. どちらかといえば重要 | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり重要ではない | 5. 重要ではない | 6. 分からない |

問 13 あなたは、浜松市は人権尊重の意識が生活に定着していると思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|------------|---------------|--------------|
| 1. 思う | 2. どちらかといえば思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. 全く思わない | 6. 分からない |

問 14 あなたは、日常生活の中で、あなた自身またはあなたの周りの方（家族や友人、職場の同僚など）の人権が侵害されたと感じたことはありますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. 分からない |
|-------|-------|----------|

《デジタルを活用したまちづくりについて》



9産業と技術革新の基盤をつくろう

11住み続けられるまちづくりを

関連事業：デジタル・スマートシティ推進ほか

浜松市では、全ての市民が安全・安心で幸せに暮らし続けることができる持続可能な都市を築くため、デジタルを活用したまちづくりを推進しています。

問 15 あなたは、浜松市が 2022（令和4）年7月に「デジタルを活用したまちづくり推進条例」を策定するなど、「デジタルを活用したまちづくり」に取り組んでいることをご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | |
|---|
| 1. 取り組みを実施していることや、その取り組み内容もある程度は知っている |
| 2. 取り組みを実施していることは聞いたことがあるが、取り組み内容まではよく分からない |
| 3. 知らない |

問 16 あなたは、「デジタルを活用したまちづくり」について、どのような分野での取り組みに期待しますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 健康・医療・福祉（オンライン診療・医療データの活用など）
2. 防災・安全（センサーを活用した高齢者の見守りなど）
3. 教育・子育て（オンラインでの子育て相談など）
4. 交通（自動運転・ドローン配送など）
5. 観光・商業（人流データを活用した観光施策など）
6. エネルギー・環境・ごみ（利用データを活用したエネルギーの効率的な運用など）
7. 農林業（ドローンによる農薬散布など）
8. 産業（データやAIを活用した工場の生産性向上など）
9. 文化・スポーツ・生涯学習（スマートフォンの講習など）
10. 労働（テレワークの促進など）
11. 移住・定住（オンラインでの移住相談など）
12. 市役所の各種手続き（行政手続きのオンライン化など）
13. その他（具体的に： _____)

問 17 あなたは、ご家庭で保有しているインターネットに接続できる情報通信機器（家族で共通の1台を使用している方は、あなたご自身の使用頻度）をどの程度使用していますか。各機器について、1～6のうちから1つずつ選び○を付けてください。

情報通信機器	選択肢					
	使 っ て い る ほ ぼ 毎 日	使 っ て い る 週 に 数 回	使 っ て い る 月 に 数 回	使 っ て い る 年 に 数 回	使 っ て い ない ほ ぼ	持 っ て い ない
スマートフォン	1	2	3	4	5	6
スマートフォン以外の携帯電話	1	2	3	4	5	6
パソコン	1	2	3	4	5	6
タブレット型端末	1	2	3	4	5	6
ウェアラブル端末（スマートウォッチなど）	1	2	3	4	5	6
その他（具体的に： _____)	1	2	3	4	5	6

《みちづくりについて》



11 住み続けられるまちづくりを
関連事業：安全な生活基盤づくりの推進

浜松市では、市民の安全で安心な生活基盤づくりを目指して、道路事業を推進しています。

問 18 あなたは、道路整備において何を求めますか。

(2つまで○を付けてください)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 渋滞のない道路の整備 | 2. 歩行者が安全・快適に通行できる整備 |
| 3. 災害に強い道路の整備 | 4. 自転車が安全・快適に走行できる整備 |
| 5. 生活道路（自宅周辺の道路）の整備 | 6. 特にない |
| 7. その他（具体的に：_____） | |

問 19 あなたは、道路の維持管理において何を求めますか。

(2つまで○を付けてください)

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1. 走行や歩行の安全性・快適性の維持 | 2. 地震や豪雨などの災害時の通行機能の確保 |
| 3. 路面の異常・障害に起因する事故の防止 | 4. 沿道環境、見通しなどの維持・改善 |
| 5. 橋やトンネル、斜面などの損傷などに起因する事故の防止 | |
| 6. 特にない | 7. その他（具体的に：_____） |

問 20 あなたは、今後の道路整備の方向性として何が重要だと思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 新しい道路の整備や既存の道路の拡幅 | 2. 既存道路の維持管理や橋などの更新 |
| 3. 「1」と「2」の両方 | 4. 特にない |
| 5. その他（具体的に：_____） | |

《F S C森林認証について》



11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさも守ろう

関連事業：森林認証推進事業、FSC 認証材利用拡大推進事業

浜松市では、国際的な認証制度である F S C 森林認証に基づく持続可能かつ適切な森林経営と、天竜材・天竜材製品の流通・販路拡大に取り組んでいます。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では、関連施設（有明体操競技場、選手村ビレッジプラザなど）に浜松市の「F S C 森林認証」の森林から生産された木材が使用されました。

問 21 あなたは「F S C 森林認証※」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 名称や内容も知っている | 2. 名称だけは知っている | 3. 名称も内容も知らない |
|----------------|---------------|---------------|

※「F S C 森林認証」とは森林が適切に管理されているかを、世界基準に沿って審査、認証する仕組みです。

問 22 あなたは、浜松市が「F S C森林認証」の森林を市町村別で最も広い面積（約 49,703ha※）を有していることをご存じですか。 ※2024（令和6）年4月1日現在

（1つだけ○を付けてください）

1. 知っている

2. 知らない

《ユニバーサルデザイン・男女共同参画について》



3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

関連事業：ユニバーサルデザイン推進事業、男女共同参画推進事業ほか

浜松市では、誰もが安全、安心で快適に暮らすことができる「思いやりの心が結ぶ優しいまち」の実現を目指し、ユニバーサルデザインや男女共同参画社会※の推進に取り組んでいます。

※男女共同参画社会とは、男女が共に、対等の立場で、自らの意志によって社会のあらゆる分野に参画できる社会のことです。

問 23 あなたは、「ユニバーサルデザイン※」を知っていますか。

（1つだけ○を付けてください）

1. 名称や内容も知っている

2. 名称だけは知っている

3. 名称も内容も知らない

※ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、能力、国籍などに関係なく、誰もが安全、安心で快適な暮らしができるように「人づくり」や「ものづくり」、「環境づくり」を行っていこうとする考え方のことです。

問 24 あなたは、浜松市のユニバーサルデザインによるまちづくり※についてどのように感じていますか。

（1つだけ○を付けてください）

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらでもない 4. どちらかといえば不満 5. 不満

※浜松市では、施設や道路などにユニバーサルデザインを取り入れた環境を整備するとともに、市政情報や防災情報などの身近な生活情報を誰もが容易に受け取れるよう、さまざまな取り組みを行っています。

問 25 あなたは、浜松市の男女共同参画社会の実現に向けた取り組み※についてどのように感じていますか。

（1つだけ○を付けてください）

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらでもない 4. どちらかといえば不満 5. 不満

※浜松市では、男女共同参画を推進するための啓発講座や人材・団体育成支援、情報発信、相談事業など、さまざまな取り組みを行っています。

問 26 男女共同参画に関わる意識の変化についてお聞きします。

あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについて、どのように思いますか。

（1つだけ○を付けてください）

1. 賛成

2. どちらかといえば賛成

3. どちらかといえば反対

4. 反対

《環境活動の実践について》



12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう
関連事業：環境教育・環境学習推進事業

浜松市では、市民・事業者が日常生活の中で自らの問題として環境の保全に取り組むきっかけをつくるため、環境情報の発信、環境教育などにより、環境活動を実践する市民の育成に取り組んでいます。

問 27 あなたは、日常生活でどのような環境によい行動を実践していますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. マイバックの使用、レジ袋の辞退 | |
| 2. マイボトル、マイスプーン、マイフォーク、マイ箸などの使用 | |
| 3. 使っていない部屋の消灯、電化製品の待機電力カット | |
| 4. ごみの分別、リサイクル | 5. ごみの減量、食べ残しをしない |
| 6. 公共交通機関、自転車の利用 | 7. 節水 |
| 8. 環境に配慮した商品の購入 | 9. 地産地消 |
| 10. 河川・海岸などの清掃活動への参加 | 11. 特に取り組んでいない |
| 12. その他（具体的に：_____） | |

問 28 あなたは、日常の中で環境のことをどの程度心掛けて生活していますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 常に心掛けている | 2. 少し心掛けている |
| 3. あまり気にしていない | 4. 全く気にしていない |

《消費生活について》



12 つくる責任 つかう責任
関連事業：エシカル消費（フェアトレードなど）の普及・啓発ほか

浜松市では、私たちの消費行動が、現在および将来の社会・経済や環境に影響を及ぼすことを自覚して、公正かつ持続可能な社会となるよう積極的に関わる「消費者市民社会」の形成に取り組んでいます。

問 29 あなたは、「エシカル消費※」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 名称や内容も知っている | 2. 名称だけは知っている | 3. 名称も内容も知らない |
|----------------|---------------|---------------|

※エシカル消費とは、人や社会、地域、環境に配慮した買い物などの消費行動のことです。

問 30 あなたは、買い物をするときにエシカル消費を意識して製品やサービスを選んでいますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 常に意識している | 2. たまに意識している | 3. 全く意識していない |
|-------------|--------------|--------------|

問 31 あなたは、フェアトレード※をご存じですか。また、フェアトレード商品を買ったことがありますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 名称または内容を知っており、フェアトレード商品を買ったことがある |
| 2. 名称または内容を知っているが、フェアトレード商品を買ったことがない |
| 3. 知らない |

※フェアトレードとは、開発途上国で作られた作物や製品を「適正な価格」で「継続的に取り引き」する「貿易のしくみ」により、立場の弱い小規模生産者や労働者の生活改善と自立を目指す取り組みです。

問 32 あなたは、浜松市がフェアトレードタウン※であることをご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

※フェアトレードタウンとは、市民団体や商店・企業・行政などが連携し、「まちぐるみ」でフェアトレードの輪を広げていく自治体のことです。

《水道料金について》



6 安全な水とトイレを世界中に

関連事業：持続可能な水道事業経営

浜松市では、市民へ安全で安定した水の供給に努めています。

問 33 あなたは、現在のご家庭の水道料金※についてどのように感じていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 高いと思う | 2. 安いと思う | 3. どちらでもない |
|----------|----------|------------|

※浜松市の水道料金は料金区分によっては他都市と比較して安価であり、例えば、2022（令和4）年度時点で浜松市内の契約件数の27%を占める口径13mm、月20㎡を利用している家庭の場合、政令指定都市では2番目に安価、県西部地域の市町では最も安価です。

問 34 浜松市の水道管や給水施設の多くが更新期を迎えるとともに、災害時に備えた耐震化が必要となる一方、人口や水使用の減少により水道料金収入が減り続け、令和4年度から赤字決算となりました。あなたは、今後の水道事業についてどのように考えますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 安全性の確保を最優先として事業を進めてほしい |
| 2. 最低限必要な安全性を確保し、必要な水道料金を設定してほしい |
| 3. 現状の水道料金の範囲内で事業を進めてほしい |
| 4. 分からない |

～ 浜松市戦略計画 2024 について ～

浜松市では、基本的な方針として「元気なまち・浜松の実現」を掲げ、取り組みを進めています。
そこで、市民の皆さんの市政に関する現状認識を伺います。

問 35 あなたは日常生活の中で、どのように感じていますか。各項目について「思う」から「思わない」まで5段階のうち、それぞれ1つだけ選び○を付けてください。

項 目	選択肢				
	思 う	←	→	思 わ な い	
満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。	5	4	3	2	1
仕事と生活の調和*が取れていると思いますか。 ※仕事と家事・育児・介護などと両立すること	5	4	3	2	1
子供を生み育てやすい環境が整っていると思いますか。	5	4	3	2	1
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。	5	4	3	2	1
住んでいる地域が住みやすいと思いますか。	5	4	3	2	1
自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。	5	4	3	2	1
誰もが創造性を発揮した活動*を行うことができる環境が整っている と思いますか。 ※固有の文化や産業などの地域資源を生かし、新たな価値やまちの魅力を生み出し ていく活動	5	4	3	2	1
医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。	5	4	3	2	1
必要な行政情報*が提供されていると思いますか。 ※各種申請手続き、イベント、事業、予算など浜松市からの情報	5	4	3	2	1
環境に配慮*した生活を送っていると思いますか。 ※ごみの減量、リサイクルの推進、消費する電力の削減など	5	4	3	2	1

最後にあなたのことについて記入してください。

(項目別に1つだけ○を付けてください)

性別	1. 女性	2. 男性	3. その他	4. 答えたくない
年齢	1. 10 歳代 4. 40 歳代 7. 65～69 歳	2. 20 歳代 5. 50 歳代 8. 70～74 歳	3. 30 歳代 6. 60～64 歳 9. 75 歳以上	
国籍・地域	1. 日本 4. フィリピン	2. ブラジル 5. その他 ()	3. ベトナム	
職業	1. 勤め人 3. 農林水産業 (自営・家族従事者) 4. 家事専業 6. 無職	2. 商工・サービス・自由業 (自営・家族従事者) 5. 学生 7. その他 ()		
居住年数	あなたは浜松市 (合併前の旧市町村当時からも含みます) に住んで何年になりますか 1. 3 年未満 2. 3 年以上 5 年未満 3. 5 年以上 10 年未満 4. 10 年以上 20 年未満 5. 20 年以上			
家族数	あなたを含めて何人で住んでいますか 1. 1 人 2. 2 人 3. 3 人 4. 4 人 5. 5 人 6. 6 人以上			
居住形態	あなたのお住まいは 1. 持ち家 (一戸建て) 2. 持ち家 (集合住宅) 3. 借家 4. 賃貸アパート・賃貸マンション 5. 公営住宅 6. 社宅・寮 7. その他			
行政区	あなたがお住まいの行政区は 1. 中央区 2. 浜名区 3. 天竜区 行政区が分からない場合は、町名をご記入ください → ()			

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、8月19日(月)までにご投函ください。

令和6年度 市民アンケート調査 報告書

2024（令和6）年12月発行

発 行	浜松市 企画調整部 広聴広報課
住 所	〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2
電 話	053-457-2023
F A X	053-457-2028
U R L	https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp